brother

ファクシミリ取扱説明書
FAX-350CL/350CLW

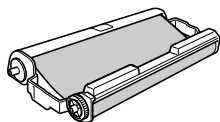
本書をよくお読みになって
製品をご利用ください。

お客様相談窓口
（コールセンター）
0120-161-170

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。
本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口（コールセンター）にお気軽にお申し付けください。
なお、ご利用の際は、おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間
月曜日～金曜日：
午前9：00～午後8：00
土曜日：
午前9：00～午後5：00

営業日
月曜日～土曜日
（日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。）

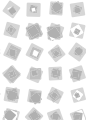
「リボンカートリッジ（PC-551）」は「当社指定品」をお使いください。当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。（詳しくは、133ページをご覧ください。）

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

特　長

ファクスが届いたらディスプレイで確認できます。印刷することもできますが、見るだけですませることもできるので紙とリボンのむだになりません。（「受けた内容をディスプレイで見る（みるだけ受信）／印刷する」☞ 69ページ ）

約6×8cmの液晶ディスプレイで操作の状況や、次に何をするのかがわかりやすく表示されます。（「ディスプレイ」☞ 25ページ）
電話帳表示では、お好みに合わせて大・中・小の文字サイズが選べます。（「ディスプレイの文字サイズ」☞ 26ページ）通信結果や、リボンの残量などもピクト（絵文字）でわかりやすくお知らせされます。

親機に32曲・18ボイス、子機に3曲の着信メロディがセットされています。（「着信音の設定」☞ 112ページ）子機には、親機に登録されている32曲の中からお好きなメロディを転送し、着信音やモーニングアラームとして使うことができます。（「子機にメロディを転送する」☞ 114ページ）
※子機は単音メロディです。

FAX-350CLWをお使いの場合や子機を増設しているときは、子機同士で通話（トランシーバー方式）ができます。（「子機と子機で話す（簡易子機間通話）」☞ 63ページ）
子機の電話帳には電話番号が最大100件まで登録できます。また、バックライト付の明るい液晶部分を見ながら簡単に検索することができます。

電話をかけてきた相手の電話番号だけでなく、名前も表示されるサービス「ネーム・ディスプレイ」に対応しています。（「ネーム・ディスプレイ（親機のみ）を利用する」☞ 103ページ）
※「ナンバー・ディスプレイ」のご契約と、「ネーム・ディスプレイ」のご契約が必要です。（有料）
※ 相手の名前を本機の電話帳に登録していなくても表示されます。
※子機は対応していません。

目　次

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

●記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）

「しなければいけないこと」を示しています。

「電源プラグを抜くこと」を示しています。

「アース線を接続すること」を示しています。

⃠記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）

「してはいけないこと」を示しています。

「さわってはいけないこと」を示しています。

「分解してはいけないこと」を示しています。

「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。

「水ぬれ禁止」を示しています。

誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

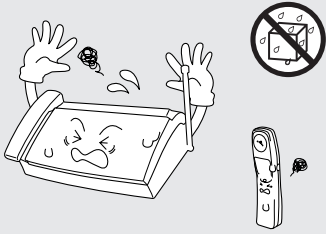
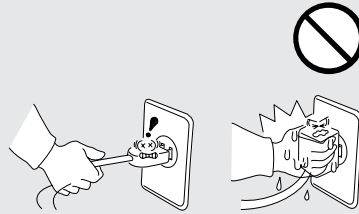
本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

〈お客様へのお願い〉

- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」までご連絡ください。
- お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- **電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください。**
（「電話帳リスト」☞ 122ページ、「受けた内容をディスプレイで見る（みるだけ受信）／印刷する」☞ 69ページ）
本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（「消耗品などのご注文について」☞ 169ページ）へご注文ください。

■ 設置、配線についてのご注意

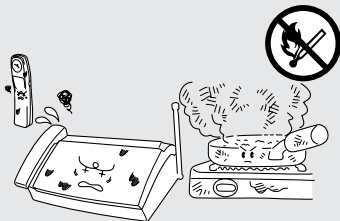
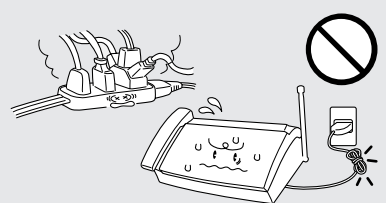
● 水のかかる場所（風呂場や加湿器のそばなど）や湿度の高い場所には設置しないでください。
漏電による感電、火災の原因となります。

● 電源コードやACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、必ず電源プラグまたはACアダプタの本体を持って抜いてください。
ぬれた手で電源コードやACアダプタを抜き差ししないでください。感電ややけどの原因となります。

● バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
● バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
● 専用の充電器を使用してください。

● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

● いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

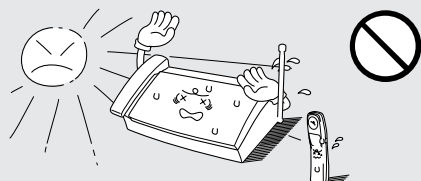
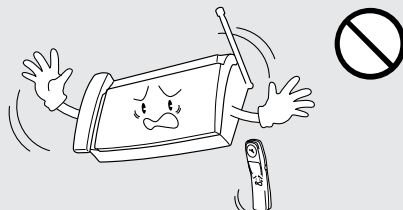
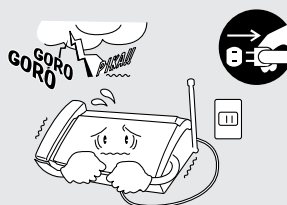
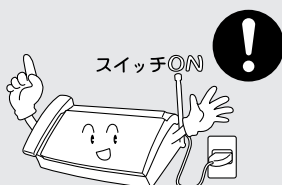
● 電源はAC100V 50Hz、または60 Hzでご使用ください。
それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。
● 国内のみでご使用ください。電波法上、海外ではご使用になれません。

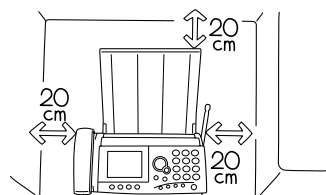
● 万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。
・ **アース線を取り付けられるところ**
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
接地工事（D種）が行われている接地端子
・ **アース線を取り付けてはいけないところ**
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

● 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

● たこ足配線はしないでください。
● 電源コードやACアダプタを破損するようなことはしないでください。
下記をしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
・ 加工する
・ 無理に曲げる
・ 高温部に近づける
・ 引っ張る
・ ねじる
・ たばねる
・ 重いものをのせる
・ 挟み込む
・ 金属部にかける
・ 折り曲げをくり返す

安全にお使いいただくために

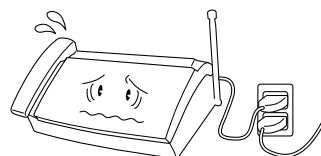
⚠注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形の原因となります。

● 直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

● 本機には電源スイッチがついていませんので、電源コードやACアダプタは抜きやすい場所にあるコンセントに確実に差し込んでください。
雷が鳴り始めたら安全のために電源コードやACアダプタをコンセントから抜き、電話機コードを本機から抜いてください。

● **本機をお使いいただける環境は次の通りです。**
温度：5～35℃
湿度：45～80%

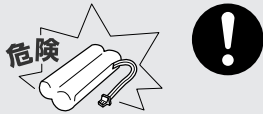
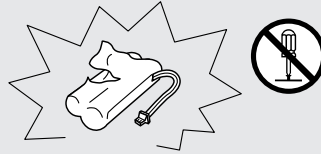
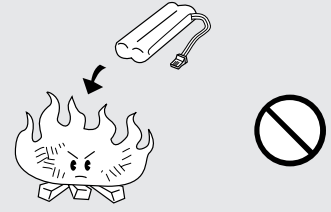
● **本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。**

● **電波障害時の対処**
本機の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。
・本機をテレビなどから遠ざける。
・本機、またはテレビなどの向きを変える。

● **以下のような場所には設置しないでください。**
故障や変形の原因となります。
・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
・エアコン、換気口など、風が直接あたる場所
・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
・換気の悪い場所

● **電源コンセントの共用にはご注意ください。**
コピー機などの高電圧機器や携帯電話の充電器と同じ電源は避けてください。

■ 使用する際のご注意

⚠危険

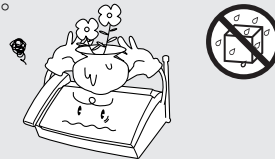
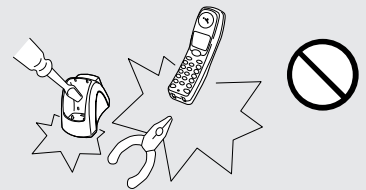
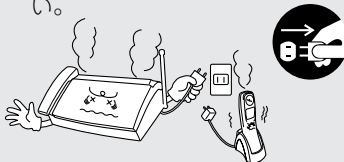
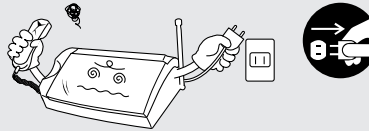
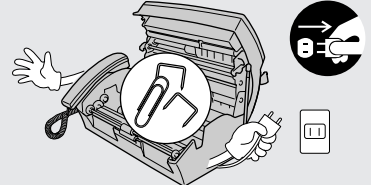
バッテリーについて

● 液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

● 分解、改造をしないでください。
● バッテリー端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。
● コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。

● バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。

● バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
● 湿度の高いところでは充電しないでください。
● 金属製品と一緒に保管しないでください。
● バッテリーの極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。
● 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

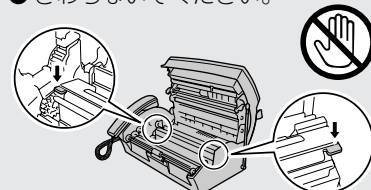
⚠警告

以下のように使用すると故障や火災、感電の原因となります。

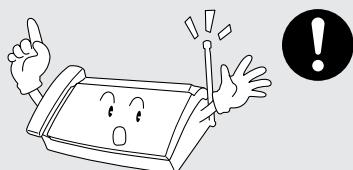
● 分解､改造をしないでください。（法律で罰せられることがあります。）修理などはコールセンターにご相談ください。

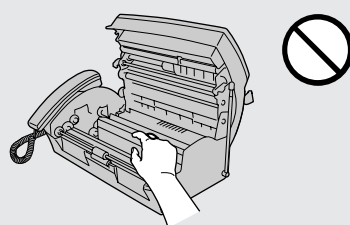
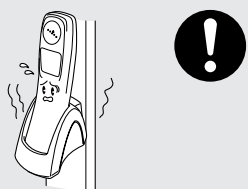
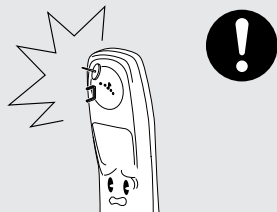
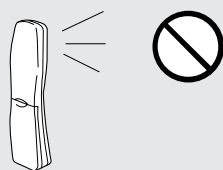
● 本機に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

● 充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。

● 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードやACアダプタをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

● 本機を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

● 異物が入ったときは、電源コードやバッテリーを外して、コールセンターにご相談ください。

● 火気を近づけないでください。

● 差し込み部のホコリなどは定期的にとってください。湿気などで、絶縁不良の原因となります。
電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

けがをするおそれがあります。
● さわらないでください。

安全にお使いいただくために

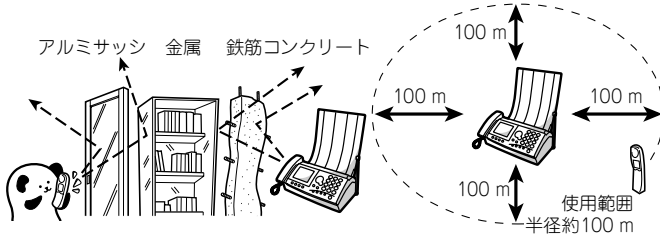
⚠注意

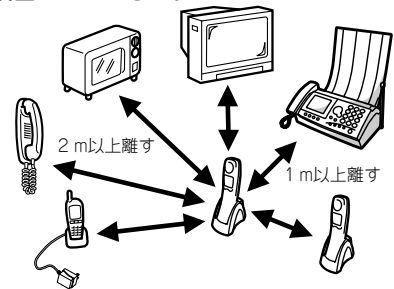
● 本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、けがや事故の原因となることがあります。

● 長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

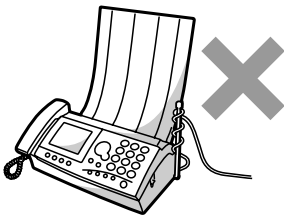
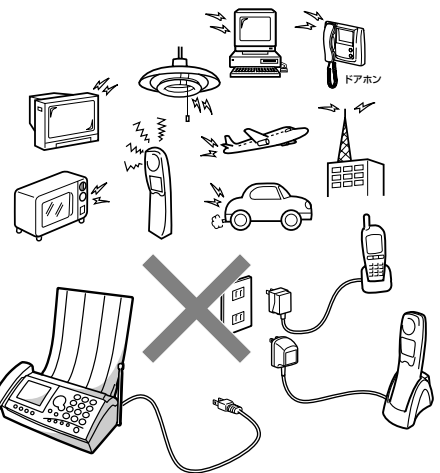
● 記録ヘッドは発熱している場合があります。手が直接記録ヘッドにさわらないようにしてください。また、カバーを閉めるときに指などをはさまないように注意してください。

● 子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、けがの原因となることがあるので、確実に取り付け･設置してください。(☞17ページ)

●子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片（ホチキスの針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。

● 待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やけが、聴覚障害の原因となることがあります。

- 落下、衝撃を与えないでください。
- 本機のディスプレイを持って移動させたり、引っ張ったりしないでください。
- 正常動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。
- 指定以外の部品は使用しないでください。
- 原稿排出の妨げになりますので、本機前方には物を置かないでください。
- 海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないときがあります。
- NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店・営業所へご相談ください。（116：無料）
- 本機に貼られているラベル類ははがさないでください。
- 雑音が入るときは、アース線を取り付けてください。
- バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用しないでお買い上げの販売店に持参してください。

■ 子機の設置、使用環境について

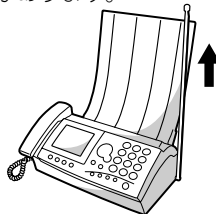
●子機の設置場所を確かめる

● 親機から障害物のない直線距離で約100 m以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が狭くなることがあります。
※ 親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

● 本機に他社の子機を増設することはできません。

● 親機、子機を電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン（ドアホンアダプタ）、携帯電話やPHSの充電器やACアダプタ、OA機器など）やガス検出器、セキュリティシステム、他の電話機および装置から2 m以上離して設置してください。
● 子機は親機や他の子機から 1m 以上離して設置してください。

●**通話が途切れたり、雑音が入る場合について**

● 電源コード､電話機コード､ACアダプタコードを､アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりすると、子機の着信音が鳴らなかったり､通話時に雑音が入ったりすることがあります。

● 以下のような場合は雑音が入ることがあります。
・ 電気製品（テレビ、OA機器、電子レンジ、ドアホン（ドアホンアダプタ）、携帯電話やPHSの充電器やACアダプタなど）の近くに設置しているとき
・ 放送局、高圧線などが近くにあるとき
・ 自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき
・ 蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
・ 携帯電話、PHS、水槽のポンプ、無線LAN機器などのACアダプタを親機の電源コードや子機用のACアダプタと同じコンセントに接続しているとき

● 移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

● ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

● 親機のアンテナを完全に伸ばしてください。アンテナが伸びていないと電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。

● 受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。

●**故障ではありません**

● 電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

●**“傍受”にご注意ください**

● この製品には、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。コードレス子機を使っての通話は電波を使っているので、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

“傍受”とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

安全にお使いいただくために

■ 停電になったとき

本機はAC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。

- 半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定してください。
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。

- 停電時のデータについて

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（子機）、ダウンロードしたメロディ（子機）
数時間以上経つと消去されるデータ※	着信履歴（親機）、発信履歴（親機）、通信管理レポート、メモリーに受信したファクス、音声メッセージ、モーニングアラーム設定内容（親機）
停電後すぐ消去されるデータ	読み取ったファクス原稿

※ただし、停電前に連続1週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。

- 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

● 停電回復時の動作

・停電回復時には、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されます。そのまま放置しておくと、約1分後にリボンカウンタはそのままでリボンを巻き取り、待機状態に戻ります。

■ コピーについて

● 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製はがき
・政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

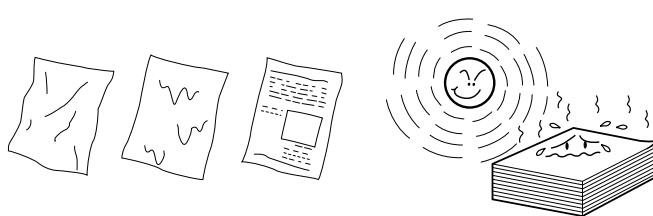
● 著作権のあるもの

・著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● その他注意を要するもの

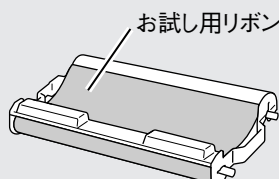
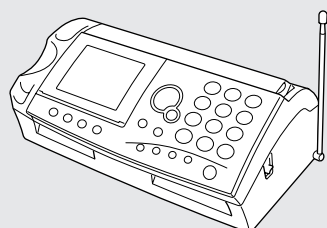
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
・政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

■ 記録紙について

- A4サイズ以外の紙、しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。

1章 準備する

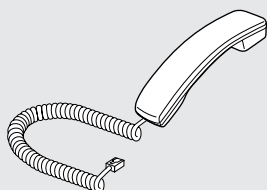
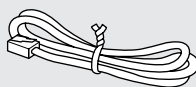
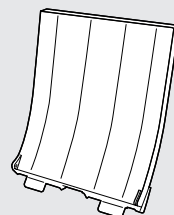
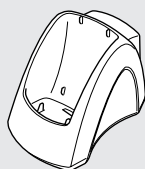
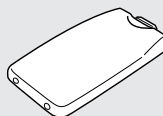
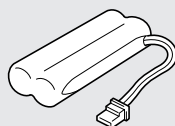
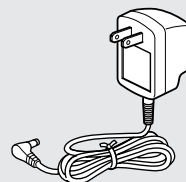
付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：
0120-161-170」にご連絡ください。

親機　1台　（リボンカートリッジ取り付け済み）

お試し用リボン

リボンカートリッジ
（PC-551）

※親機の中にはA4サイズで約30枚分印字可能なお試し用リボンカートリッジがセットされています。
※カバー開閉や電源コードを抜き差しなどの使用状況によってリボン残量が少なくなることがあります。

受話器　1台 （受話器コード取り付け済み）	電話機コード（1.5m）　1本	記録紙トレイ　1個 （ダストカバー付き）

取扱説明書　1部	かんたん設置ガイド　1部
保証書　1部	記録紙（A4）

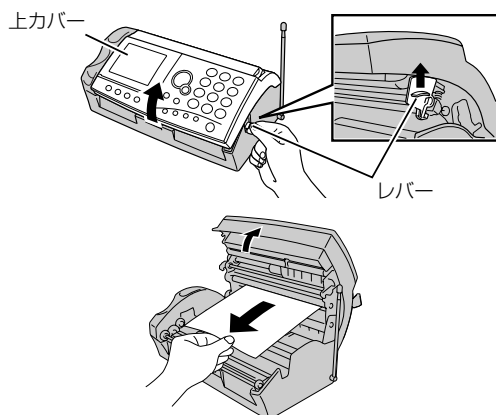
製品に付いている保護部材や青いテープなどは、設置前に取り除いてください。

親機を準備する

保護用紙を取り除く

本機には、出荷時に内部の機構を保護するための用紙がセットされています。
設置前に必ず取り除いてください。

1 上カバーを開けて、保護用紙を取り除く

青いテープを取ってから、本機右側のレバーを持ち上げてください。

2 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

(☞ 135ページ 手順7)

3 上カバーを閉める

補足

上カバーの両端を押して確実に閉めます。

接続する

電源を入れる前に、❶ 受話器コード、❷ 電話機コード、最後に❸電源コードの順に接続します。電源コードを接続すると、回線種別の設定が自動的に行われます。（接続の順番を間違えると、回線種別の設定が正しく行われないことがあります。）

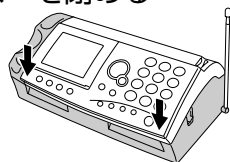
1 受話器コードを接続する

2 電話機コードを接続する

3 電源コードを接続する

注意

- 電話機コードと電源コードを一緒に束ねないでください。
- 電源コードを接続するときは、携帯電話の充電器などと同じ電源からとらないでください。通話時に雑音が入ることがあります。

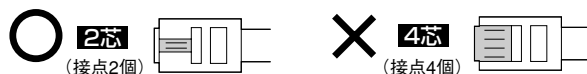
補足

電話コンセントがモジュラー式ではないとき

- 3ピンプラグ式の場合は､市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りの NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。

メモ

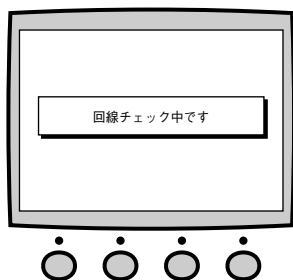
- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ったり、子機の誤鳴動することがあります。

○ 2芯（接点2個）　× 4芯（接点4個）

- ご使用のパソコンにPHONE端子またはTEL端子がある場合は一つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。接続のしかたは18、19ページを参照してください。

親機を準備する

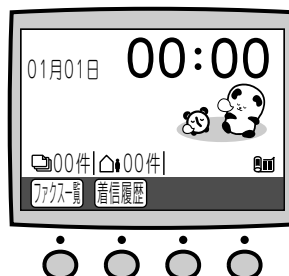
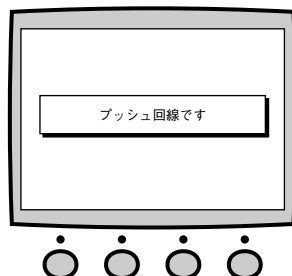
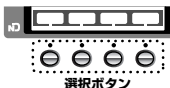
回線種別をチェックする（自動）

電源コードをコンセントに接続すると、自動的に電話回線の種別（NTT でご契約の回線状況：ダイヤル回線またはプッシュ回線）をチェックし、設定します。**ただし、ダイヤル回線10PPSを使用しているときは、必ず手動で「ダイヤル　10PPS」に設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13ページ）**

チェックしているとき

補足

「**電話機コードを接続してください**」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。そのままにしていると回線種別の判別ができません。

プッシュまたはダイヤル回線20PPSのどちらかに判別されます

チェック終了

補足

- 回線種別の設定が終了すると時計表示になります。
- 構内交換機（PBX）、マンションアダプタなど一般と異なる回線につないでいるときや自動設定できないときは、手動で回線種別を設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
- IP フォンアダプタをご使用の場合、アダプタを一時的に外し、電話回線に直接つないで電源コードを接続し直すと、自動設定できます。それでも自動設定できないときは、手動で設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
- 「回線を接続し機能ボタンから回線種別を設定してください」と表示されたあと、約30 秒経過するとデモ画面が表示されメロディが鳴ります。また、子機も連動してバックライトが点滅します。そのときは ○（停止）を押してデモ画面を終了し、回線種別を設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）

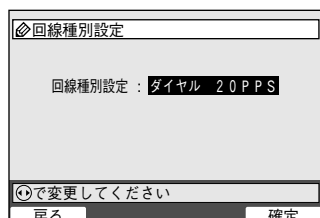
補足

- 回線の自動判別終了後、「117」（時報）につながるかご確認ください。（このとき通話料金がかかります。）つながらない場合は、手動で回線種別を設定し直してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
- デモ画面は、おもに販売店の店頭で使われるファクスの機能紹介画面です。デモ画面を表示するときは、○（消去/キャッチ）と ○（再生/録音）を同時に押します。中止したいときは、○（停止）を押してください。
- デモ画面が止まらないときは、○（停止）を押してデモ画面を終了し（機能）（発信履歴◀）（1）（1）（1）を押してください。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

手動で回線種別を設定する

電話回線に何らかの問題があり、自動で回線種別を設定できないことがあります。「回線種別が設定できませんでした」または「回線を接続し機能ボタンから回線種別を設定してください」とメッセージが表示されたときは、次の手順で設定してください。

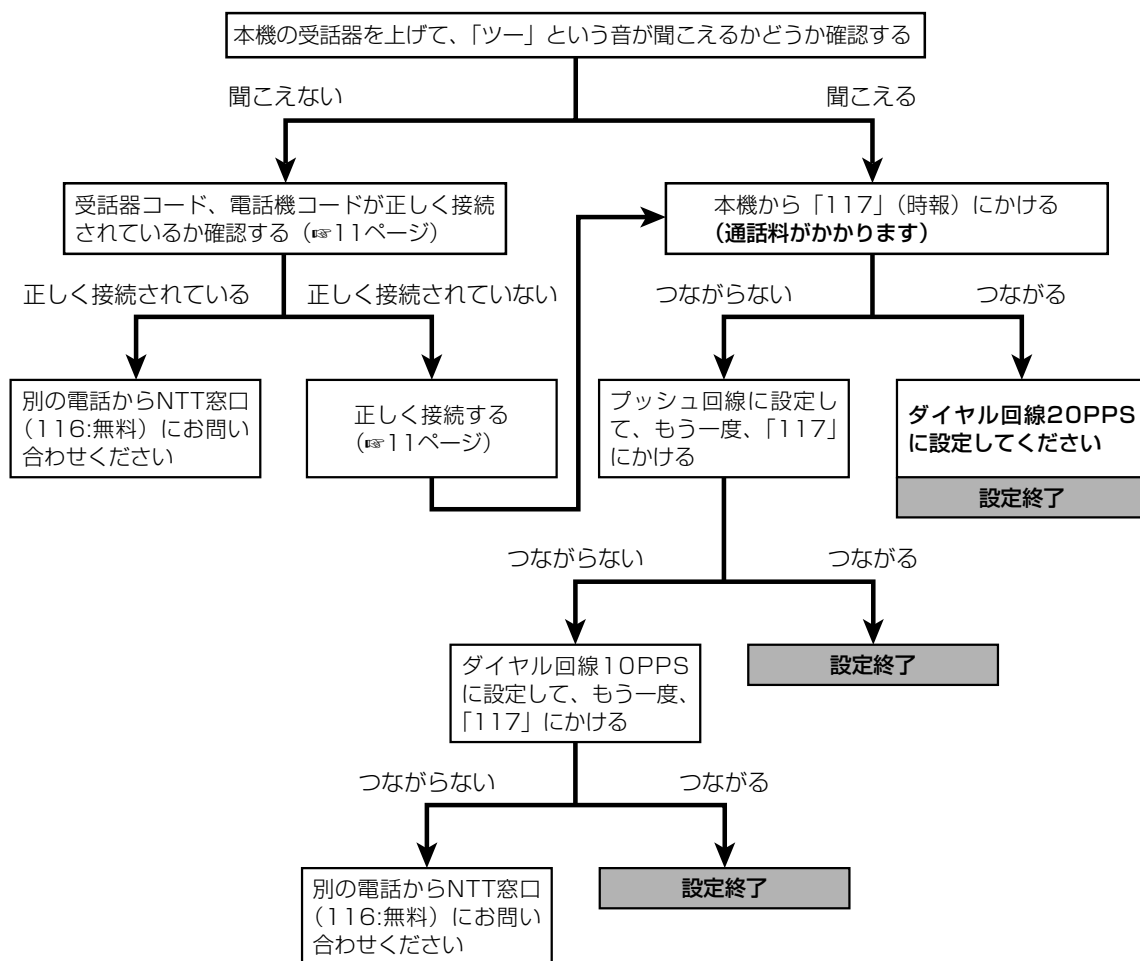
1 機能 1 1 を押す

2 ◀▶で回線の種類を選ぶ

プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS／自動設定

3 確定 を押す

4 停止 を押す

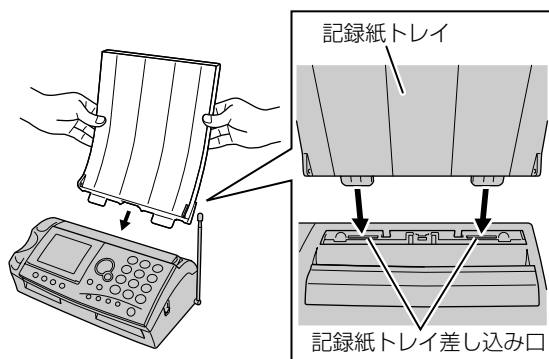
「受けつけました」と表示されます。

利用している電話回線の種別は次のようにして調べてください。もしもわからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。

本機の受話器を上げて、「ツー」という音が聞こえるかどうか確認する

- 聞こえない → 受話器コード、電話機コードが正しく接続されているか確認する（☞11ページ）
  - 正しく接続されている → 別の電話からNTT窓口（116:無料）にお問い合わせください
  - 正しく接続されていない → 正しく接続する（☞11ページ） → 本機から「117」（時報）にかける
- 聞こえる → 本機から「117」（時報）にかける（**通話料がかかります**）
  - つながる → **ダイヤル回線20PPSに設定してください** → **設定終了**
  - つながらない → プッシュ回線に設定して、もう一度、「117」にかける
    - つながる → **設定終了**
    - つながらない → ダイヤル回線10PPSに設定して、もう一度、「117」にかける
      - つながる → **設定終了**
      - つながらない → 別の電話からNTT窓口（116:無料）にお問い合わせください

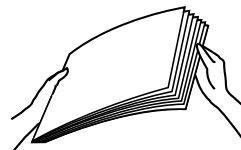
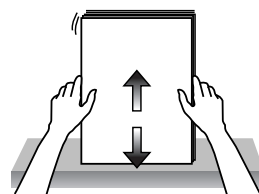
親機を準備する

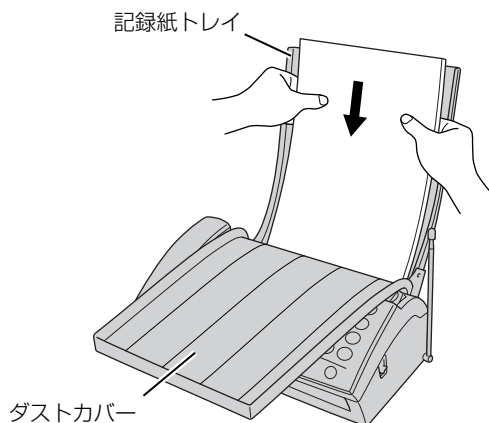
記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイを取り付ける

補足

- 記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。
- 記録紙トレイを取り外すときは、記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾けながら上側に取り外してください。

記録紙をセットする

1 記録紙をよくさばく

2 さばいた側を下にしてそろえる

3 記録紙トレイのダストカバーを開ける

4 印刷面を裏向きにし記録紙をそろえて静かにセットする

補足

- 紙をさばかずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。
- 紙づまりを防止するため、印刷された用紙を記録紙排出口の周りにためないよう取り除いてください。
- 記録紙を追加するときは、記録紙トレイに残っている記録紙をすべて取り除き、追加する記録紙と合わせてよくさばいてセットしてください。
- 印刷中に記録紙を追加しないでください。
- 厚さの異なる記録紙を混ぜてセットしないでください。

記録紙について

A4サイズのコピー用紙または普通紙を使ってください。

用紙のサイズと紙厚

- 用紙サイズ
  A4サイズ（210×297 mm）
- 重量
  64g/m^2（55kg紙）または81.4g/m^2（70kg紙）

用紙の厚さによってセットできる枚数が異なります。64g/m^{2}の用紙であれば約40枚、81.4g/m^{2}の用紙であれば約30枚セットできます。

使用できない紙

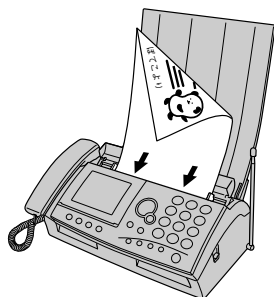
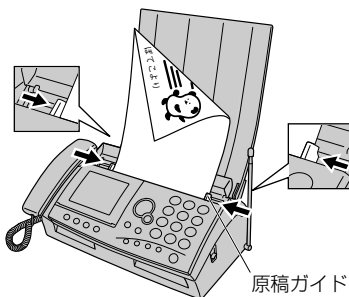
次のような用紙をセットしないでください。用紙がつまったり、故障の原因になります。

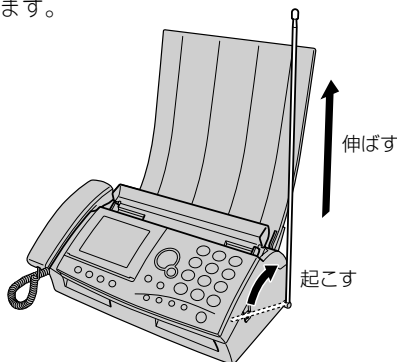
- そり、折れ、しわのある用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙
- 新聞広告（裏紙）
- すでに印刷されている用紙（裏紙）
- レポート用紙

原稿のセットのしかた

ファクスを送信するときやコピーするときは、原稿挿入口に原稿をセットします。

1 原稿カバーを開けて、原稿をセットする

原稿は送信する面（コピーする面）を必ず裏向きにセットしてください。

2 原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

親機のアンテナを伸ばす

親機のアンテナをいっぱいまで伸ばします。

伸ばす

起こす

補足

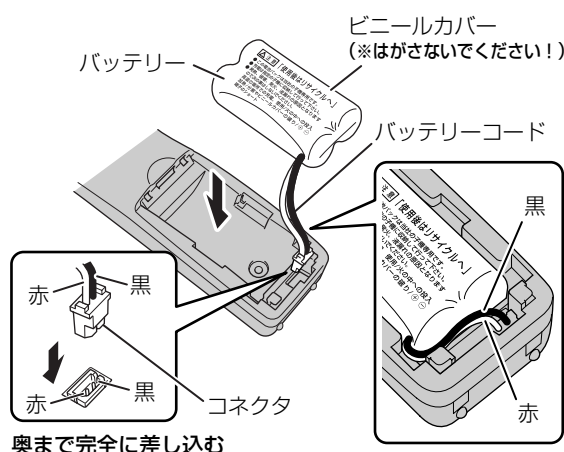
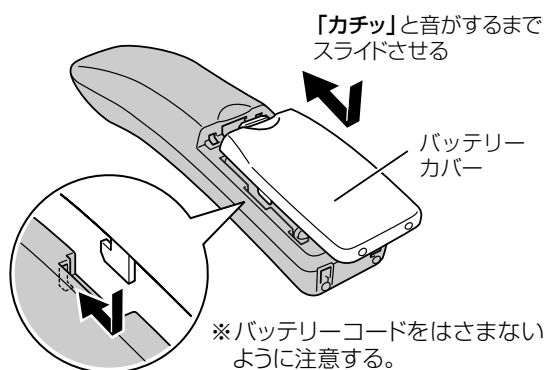
- 建物の構造によっては子機を使うと雑音が入ることがあります。そのときは通話をしながら親機のアンテナの角度を調整してください。
- 電波が極端に弱くなる場所では、子機の通話にノイズが入ったり、通話が切れることがあります。子機のご使用を避けてください。

子機を準備する

バッテリーをセットする

バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。

1 下図の向きにコネクタを差し込み、バッテリーをセットする

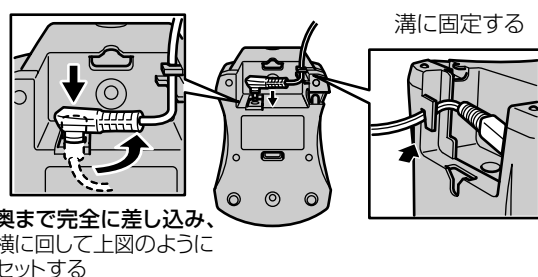
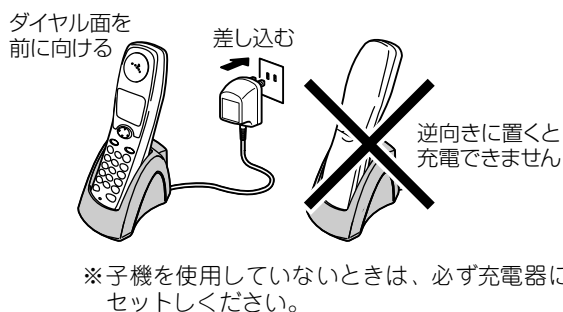
2 バッテリーカバーを閉める

※バッテリーコードをはさまないように注意する。

充電する

初めてお使いいただくときは、**必ず15時間以上**充電してください。

ACアダプタの電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。

1 ACアダプタの電源プラグを充電器に差し込む

2 ACアダプタをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

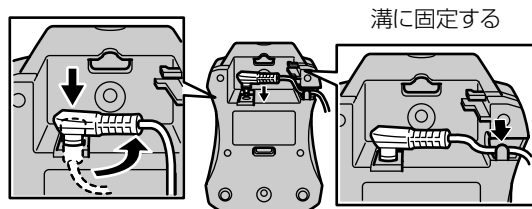
※子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしください。

補足

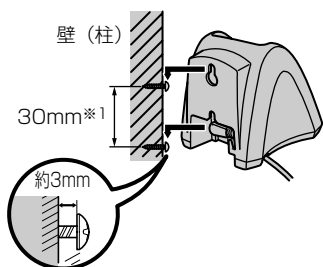
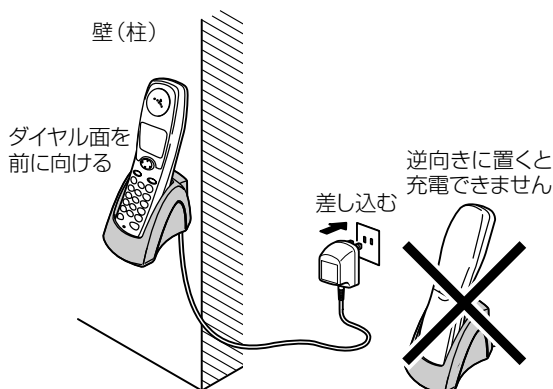
- バッテリーをセットすると、子機の時計をセットする画面が表示されます。(☞ 31ページ)
- 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」と表示され、[電池マーク]が点滅し、(切)が点灯します。
- バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」と表示されなかったり、(切)が点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
- 充電が完了するとディスプレイに[電池マーク]が点灯し「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」の表示と、(切)が消灯します。
- 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。(☞ 128ページ)
- 充電が完了するのに最長15時間かかることがあります。

- 子機のバッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店またはご注文シート（☞ 170ページ）でお求めください。
- 子機を充電器にセットしないで長時間放置しておくと、バッテリーが消耗して使用できなくなります。

壁に掛けて使用する

充電器は、市販されている木ネジ（2本）で壁や柱に取り付けて使用することができます。

1 ACアダプタの電源プラグを充電器に差し込む

奥まで完全に差し込み、
横に回して上図のように
セットする

2 市販されている木ネジ（2本）を壁や柱に差し込み、充電器を取り付ける

3 ACアダプタをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

※子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしください。

お願い

子機の設置、使用環境については7ページを参照してください。

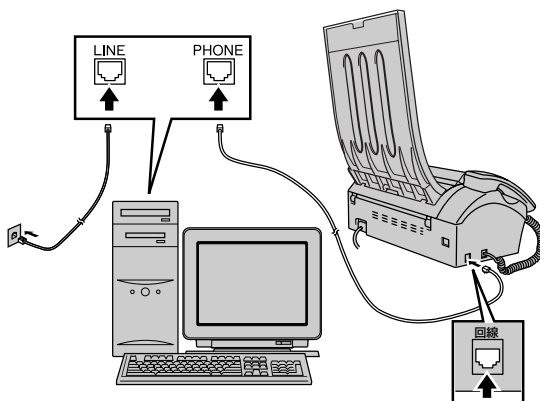
※1（木ネジを設置するときに目安としてお使いください。）

30mm

他の機器を接続して使う

電話回線にパソコンも接続する

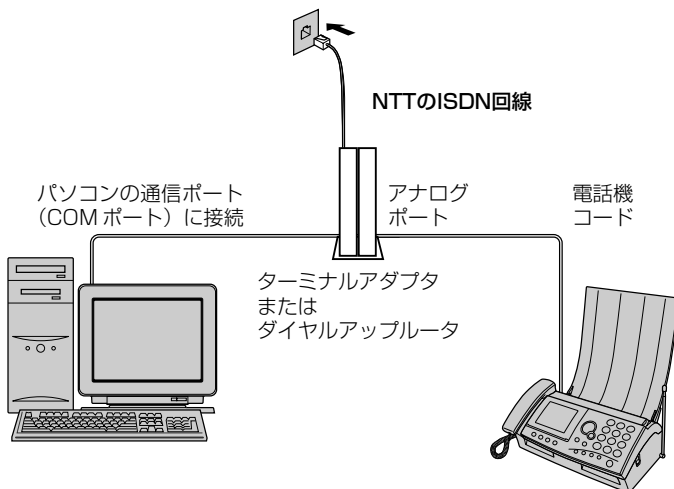
■ 一般回線でパソコンモデムを使う場合、PHONE（TEL）端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE（TEL）端子」がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機を下図のように接続していただくことができます。
ただし、1本の電話回線を利用していますので、同時に両方で電話回線をご利用いただくことはできません。

1本の電話回線に複数台の電話機を接続（ブランチ接続（並列接続））すると、ナンバー・ディスプレイなどに不具合が発生し、誤動作の原因となりますのでおやめください。（「ブランチ接続（並列接続）はしないでください」☞ 20ページ）

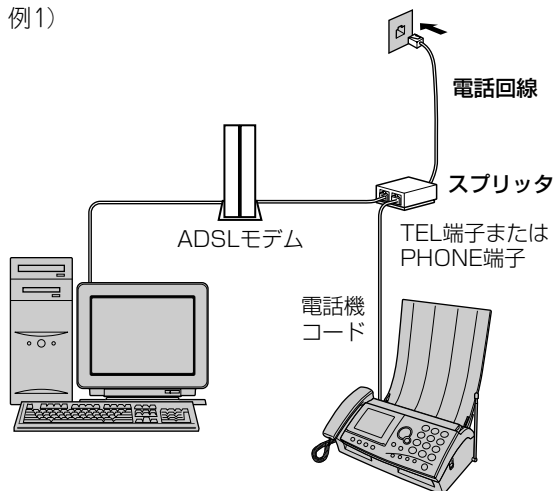
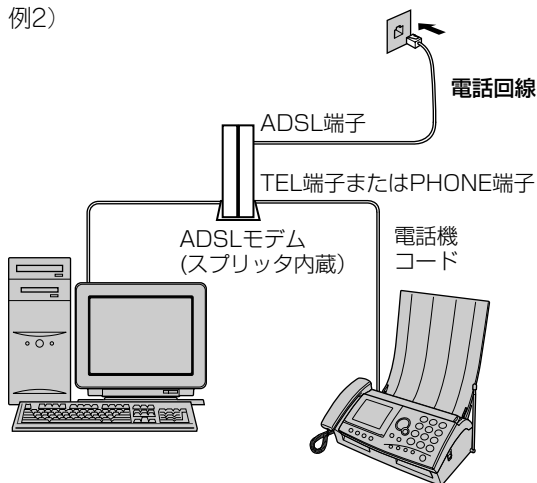
パソコン本体に「PHONE（TEL）端子」がない場合は、市販の自動切換機などをご利用ください。

■ ISDN 回線をご利用の場合

本機をISDN回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- ・本機　：回線種別を「プッシュ」に設定する
- ・ターミナルアダプタ　：本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

- ● 本機が使用できないときは、「故障かな？と思ったら」（☞ 142ページ）を参照してください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。
- ● ナンバー・ディスプレイにご契約されている場合は、ターミナルアダプタのデータ設定と本機の設定（「ナンバー・ディスプレイを設定する」☞ 97ページ）が必要です。
- ● ファクスの送受信がうまくいかないときは、「特別設定について」（☞ 152ページ）を参照してください。

■ ADSL 回線をご利用の場合

本機をADSL回線のスプリッタに接続するときは、スプリッタのTEL端子またはPHONE端子に接続してください。

- 例1で接続の場合、本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐するとブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。
- 通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる、誤ってダイヤルするなどの問題が発生した場合は、スプリッタを交換すると改善されることがあります。ADSL契約会社、またはスプリッタの製造メーカーへお問い合わせください。

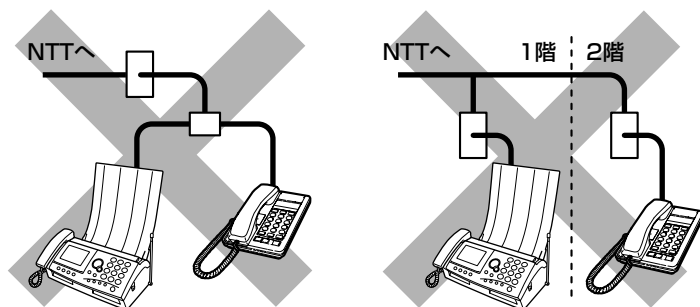
ADSL回線をご使用の場合、ノイズが多い・誤ダイヤル・声が小さいなどの障害が発生することがあります。

他の機器を接続して使う

接続に関する制限事項を確かめる

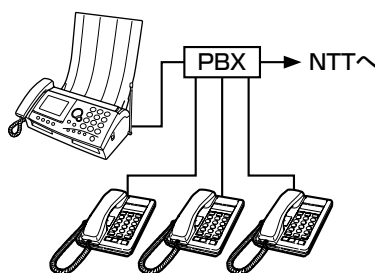
■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）されている電話機の受話器をとるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
- 電話がかかってきたとき、着信音が鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないことがあります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本機で保留にした場合、ブランチ接続（並列接続）された電話機では本機の保留状態を解除できません。
- ブランチ接続（並列接続）された電話機から親機や子機への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、ネームディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）とは
一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、本機の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。（☞ 152ページ）

例）構内交換機（PBX）の場合

ビジネスホンとは
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。
ホームテレホンとは
電話回線 1 本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。

2章
ご使用の前に

各部の名称とはたらき（親機）

正面図

背面図

受話器接続端子
受話器コードを接続します。

電源コード

回線接続端子
電話機コードを接続します。

拡張用端子
留守番センサー(別売)を接続します。

（裏面）

機能接地端子(銀色ネジ)

各部の名称とはたらき（親機）

操作パネル（親機）

	ボタン	名称／機能
❶	—	**ディスプレイ** 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。（☞ 25ページ）
❷	停止	**停止ボタン** 操作を途中で中止するとき、または待ち受け画面に戻るときに押します。
❸		**マルチセレクトボタン** ディスプレイの項目を選択します。
	電話帳	**電話帳ボタン** 電話帳を表示するときに押します。
	発信履歴	**発信履歴ボタン** 最後にかけた番号にかけ直すとき（☞ 40ページ）や発信履歴を表示するとき（☞ 47ページ）に押します。
	音量	**音量ボタン** 着信音量（☞ 108ページ）、受話音量（☞ 109ページ）、スピーカー音量（☞ 110ページ）を調整するときに押します。
❹	●マイク	**マイク** スピーカーホンで通話するときに使用します。（☞ 38、41ページ）
❺	機能	**機能ボタン** 機能を設定するときに押します。（☞ 164ページ）
❻	0 〜 9	**ダイヤルボタン** ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
❻	* トーン	**トーンボタン** 一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するとき（☞ 126ページ）に押します。
	# 記号	**記号ボタン** 記号を入力するときに押します。（☞ 158ページ）
	⏮ 1	**戻しボタン（留守番機能）** 録音された前のメッセージを聞くときに押します。（☞ 83ページ）
	⏭ 3	**送りボタン（留守番機能）** 録音された次のメッセージを聞くときに押します。（☞ 83ページ）
❼	●	**選択ボタン** 画面に表示された項目を選択します。（☞ 25ページ）
❽	スタート/コピー	**スタート／コピーボタン** 送信／受信するとき、またはコピーするときに押します。（☞ 94ページ）
❾	スピーカーホン	**スピーカーホンボタン** 受話器を持たずに通話するときに押します。（☞ 38ページ）
❿	保留/子機	**保留/子機ボタン** 保留にして相手にメロディを流すとき（☞ 46ページ）、または子機を呼び出すときに押します。
⓫	消去/キャッチ	**消去/キャッチボタン** メッセージ（☞ 83ページ）、着信履歴（☞ 105ページ）、発信履歴（☞ 47ページ）、または電話帳に登録された内容などを消去するとき（☞ 52ページ）に押します。また、キャッチホンを使うときに押します。（☞ 59ページ）
⓬	再生/録音	**再生/録音ボタン** メッセージを再生するとき（☞ 83ページ）、または通話を録音するとき（☞ 49ページ）に押します。
⓭	留守	**留守ボタン** 留守モードにするとき、または留守モードを解除するとき（☞ 82ページ）、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき（☞ 158ページ）に押します。

ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、次のように「**待ち受け画面**」が表示されています。表示の内容と意味は次の通りです。

〈ピクト（絵文字）〉

ファクス通信のあと、結果が表示されます。正常に送信できたときは、エラーが発生したときはが表示されます。

再ダイヤルの待機中に点灯します。

タイマー送信を設定しているときに点灯します。

留守録転送を設定しているときに点灯します。ファクス転送を設定しているときは、ファクス転送 が点灯します。

メモリーに受信したファクスの件数が表示されます。

録音されている音声メッセージの件数が表示されます。

モーニングアラームを設定しているときに点灯します。

留守番センサー（別売）のコミュニケーション機能を起動中に表示されます。

留守番センサー（別売）のあんしん機能を起動中に表示されます。

リボンの残量が表示されます。
（「リボンがなくなったら」☞ 133ページ）

メモ ディスプレイの右側面が強く光るのは、光源があるからです。故障ではありません。

ディスプレイと操作のしかた

本機では、ディスプレイに表示された項目を（マルチセレクトボタン）や選択ボタンで選択します。

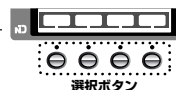
- 選択できる項目が表示されます。下記の方法で選択します。

選びかた1
で選び、下部の選択ボタンで操作を決定する。

選びかた2
ダイヤルボタン0～8で直接選ぶ。

- 次に行う操作が案内されます。
- 選択ボタンで選択できる操作が表示されます。（本文中では 確定 のように表記しています。）

- 選択ボタン

第1章 準備する
第2章 ご使用の前に
第3章 電話
第4章 ファクス
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 ナンバー・ディスプレイ
第8章 活用する
第9章 こんなときには
第10章 付録

各部の名称とはたらき（親機）

ディスプレイの文字サイズ

電話帳を表示しているときは、ディスプレイに表示されている文字のサイズを3段階に切り替えることができます。

表示「大」

▶電話帳

電話帳一覧　残り：70件
田中一郎
TEL1: 052961XXXX
で選択、スタートボタンでダイヤル
文字サイズ　転送　修正　新規登録

文字サイズを押す

表示「中」

電話帳一覧　残り：70件
田中一郎　TEL1: 052961XXXX
林　花子　TEL1: 066398XXXX
TEL2: 0906789XXX
で選択、スタートボタンでダイヤル
文字サイズ　転送　修正　新規登録

文字サイズを押す

表示「小」

電話帳一覧　残り：70件
田中一郎　TEL1: 052961XXXX
林　花子　TEL1: 066398XXXX
TEL2: 0906789XXX
山田太郎　TEL1: 035442XXXX
吉田商店　TEL1: 052456XXXX
料理クラブ　TEL1: 052789XXXX
で選択、スタートボタンでダイヤル
文字サイズ　転送　修正　新規登録

文字サイズを押す

各部の名称とはたらき（子機）

正面図

ディスプレイ

■ 表示の見かた

〈ピクト（絵文字）〉

バッテリーの残量の目安を表示します。
〈バッテリー残量の目安〉
① ：20%以上　② ：20%未満
③ ：10%未満　④ ：要充電

英 カナ　入力できる文字の種類が表示されます。
英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。
カナ：半角カタカナが入力できます。

着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。

モーニングアラームを設定しているときに表示します。

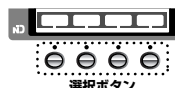
圏外　通話中、電波の届かない場所にいるときは の代わりに「圏外」が表示されます。ただし待機状態では表示されません。

通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。ただし待機状態では表示されません。

各部の名称とはたらき（子機）

操作パネル（子機）

	ボタン	名称／機能
A	—	**ディスプレイ** 操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。（☞ 27ページ）
B	発信履歴/P/文字切替	**発信履歴/P/文字切替ボタン** 最近かけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。
C	外線	**外線ボタン** 電話をかけるときや受けるときに押します。（☞ 42、45ページ）
D	0 ～ 9	**ダイヤルボタン** ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	トーン 記号1 ＊	**記号1／トーンボタン** 記号を入力するとき（☞ 160ページ）、または一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するとき（☞ 126ページ）に押します。
	記号2 #	**記号2ボタン** 記号を入力するときに押します。（☞ 160ページ）
E	（スピーカーホン）	**スピーカーホンボタン** 子機を持たずに通話するときに押します。（☞ 42、45ページ）
F	—	**スピーカーと受話口** 着信音や相手の声が聞こえます。
G	（マルチセレクト）	**マルチセレクトボタン** ディスプレイの項目を選択します。
	電話帳	**電話帳ボタン** 電話帳を表示するときに押します。
	音量	**音量ボタン** 着信音量（☞ 108ページ）、受話音量（☞ 109ページ）、スピーカー音量（☞ 110ページ）を調整するときに押します。
H	機能/確定	**機能/確定ボタン** 各機能を設定するとき、または設定内容や子機ライト（☞ 124ページ）を確定するときに押します。
I	切	**切ボタン** 電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。充電中は点灯しています。
J	内線/クリア 保留	**保留／内線/クリアボタン** 保留にして相手にメロディを流すとき（☞ 46ページ）、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。
K	子機間通話 キャッチ 着信履歴	**子機間通話／キャッチ／着信履歴ボタン** 子機同士で通話するとき（☞ 63ページ）、キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
L	—	**マイクと送話口** 子機を持って通話するとき（☞ 42、45ページ）、スピーカーホンで通話するときに使用します。（☞ 42、45ページ）

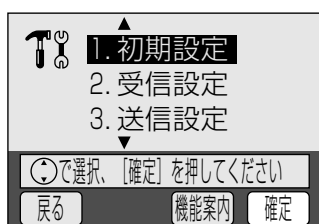
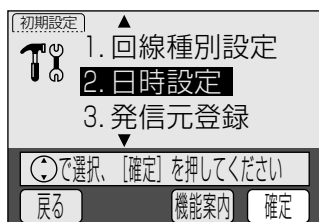
初期設定をする

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

現在の日付・時刻を設定する（親機）

日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したときの送り先の記録紙に送信日時が印刷されます。また着信履歴、発信履歴もこの設定日時に基づいて表示されるので必ず設定してください。

（例）「2005年08月03日 09：05」に設定します。

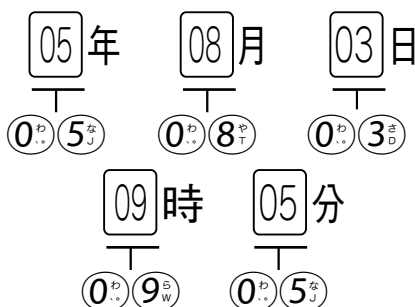
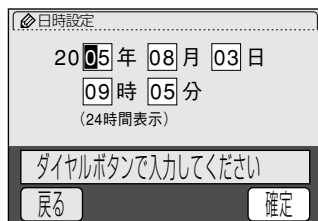
1 機能を押す

2 で「1. 初期設定」を選び 確定 を押す

3 で「2. 日時設定」を選び 確定 を押す

4 0～9で日時を入力する

- 機能 1 2 を続けて押しても下記の画面が表示されます。
- 「年」は西暦の下2桁を入力します。

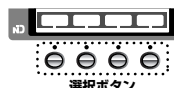
5 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 停止を押す

登録した日付と時刻が表示されます。

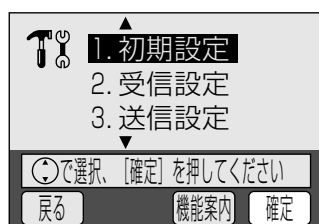
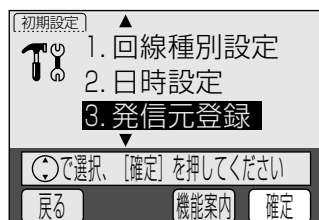
数字を入れ間違えたときは、一度すべて入力したあと、上書きして修正してください。

設定を途中で中止するときは停止を押してください。

初期設定をする

名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

発信元となるファクス番号のほか電話番号、名前を登録します。ファクスを送信したときに相手の記録紙に登録したファクス番号と名前が印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

1 機能を押す

2 ◇で「1. 初期設定」を選び 確定 を押す

3 ◇で「3. 発信元登録」を選び 確定 を押す

4 0～9でファクス番号と電話番号を入力する（ファクス番号を入力したら◇で電話番号入力枠に移動する）

- 機能 1 3 を続けて押しても下記の画面が表示されます。
- 入力できる文字数は20文字までです。
- 入力を間違えたときは◇で数字を選択し、［文字削除］を押します。
- 項目を移動するときは◇を押します。

補足

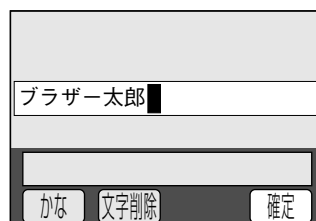
- 電話番号は「送付書」（☞ 73 ページ）に印刷されます。
- 番号が 1 つの場合はファクス番号と電話番号は同じ番号を入力してください。

5 ◇で名前の入力枠に移動し 入力 を押す

- 「文字の入れかた（親機）」☞ 158ページ
- ［入力］を押すとディスプレイの中央に名前の入力枠が表示されます。
- 名前として入力できる文字数は、全角で 16 文字、半角で32文字までです。
- 文字を入力したら［確定］を押します。

6 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止を押す

現在の曜日・時刻を設定する（子機）

曜日と時刻の設定をします。
モーニングアラームもこの設定に基づいていますので、必ず設定をしてください。

（例）「08時03分水曜日」に設定します。

1 機能/確定を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

2 で「ﾄｹｲｾｯﾃｲ」を選び、機能/確定を押す

ﾄｹｲ?
(月)15:35
▼ ▲ﾃﾞﾍﾝｺｳ

3 で曜日を選ぶ

ﾄｹｲ?
(水)15:35
▼ ▲ﾃﾞﾍﾝｺｳ

4 を押して、時刻を24時間制（4桁）で入力し機能/確定を押す

ﾄｹｲ?
(水)15:35
0~9 ﾃﾞﾍﾝｺｳ

（例） 午前8時3分のときは0 8 0 3と入力し機能/確定を押します。
（午後3時45分のときは1 5 4 5と入力し機能/確定を押します。）

-- ｺｷ1
--
(水) 08:03

- 「ﾄｹｲ ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ」と表示されます。
- 約 2 秒後に待ち受け画面に戻り、登録した曜日・時間が表示されます。

数字を入れ間違えたときは、で間違えた箇所まで_（カーソル）を移動し、入力し直してください。

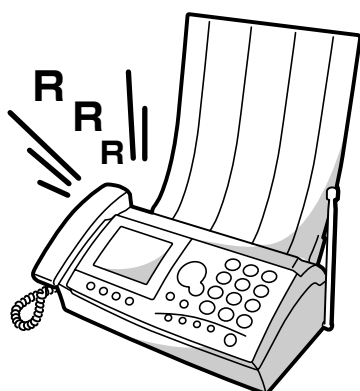
設定を途中で中止するときは(切)を押してください。

電話やファクスの受けかた

電話／ファクスを受信するときは、「在宅モード」と「留守モード」と大きく2つの種類があります。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音（ベル音）の回数を変えることができます。いろいろな用途に合わせて設定してください。（「呼出回数の設定」☞ 34ページ）

家にいるとき（在宅モード）

が 消灯している状態です。（お買い上げ時の設定です。）

電話もファクスも適度に使うとき

設定した呼出回数の着信音が鳴ります。

・お買い上げ時の呼出回数は8回に設定されています。（推奨設定値：4〜15回）
・ファクスが自動受信できないときには、呼出回数を6回以下に設定してください。

自動的に回線がつながります。（※ここから相手に料金がかかります。）

電話のとき

ベル音が鳴ります。

受話器をとってお話しください。

ファクスのとき

自動受信します。

呼出回数の設定（34ページ）を変更できます

再呼び出し設定（35ページ）を変更できます

補足

- 着信音をメロディまたはボイスに設定しているときでも、回線が再呼び出しに切り替わるとベル音が鳴ります。
- 「再呼び出し設定」を「相手にメッセージ」に設定している場合、自動的に回線がつながると相手には「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。そのあと、電話に出ないときは相手に「ただ今近くにおりません。後ほどおかけ直しください。」というメッセージを流して回線が切れます。

就寝時などで、着信音やファクス受信後の「ピー」という音を鳴らしたくない場合は以下の設定を行ってください。

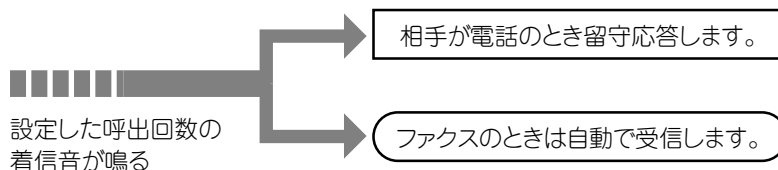
・親機、子機それぞれの着信音量、スピーカー音量、ボタン確認音量すべてを「OFF」に設定する。（「音量を設定する」☞ 108ページ）

いろいろな受信のしかた

在宅モードでは、呼出回数・再呼び出しの設定値によっていろいろな受信のしかたができます。
下記を参照に、使いかたに応じて、呼出回数・再呼び出しを設定してください。
（「呼出回数の設定」☞ 34ページ、「再呼び出し設定」☞ 35ページ）

呼出	再呼び出し	推奨設定値
ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する 着信音は鳴りません。 （自動的に回線がつながります。）	電話のときはベル音が鳴ります。電話をとってお話しください。 ファクスのときは自動で受信します。	呼出回数　0回 再呼び出し設定　ON ・ファクス受信後の「ピー」という音を鳴らしたくない場合は、「ボタン確認音量」を「OFF」に設定してください。（☞ 111ページ） ・着信音はメロディまたはボイスに設定しているときでも、回線が再呼び出しに切り替わるとベル音が鳴ります。
ファクス専用として使う 設定した呼び出し回数の着信音が鳴ります。この時点で電話をとると、お話しできます。 （自動的に回線がつながります。）	電話のときは電話をとることはできません。 ファクスのときは自動で受信します。	呼出回数　1～8回 再呼び出し設定　OFF（ファクス専用）
ここまでの呼出回数の設定は「呼出回数の設定」で設定してください。	ここからは「再呼び出し設定」で設定してください。	
電話として使う（ファクスのときは手動で受信する） 着信音が鳴り続けます。	電話のときはそのままお話しください。 ファクスのときは、スタート/コピーを押して受信します。	呼出回数　無制限
ここまでの呼出回数の設定は「呼出回数の設定」で設定してください。		

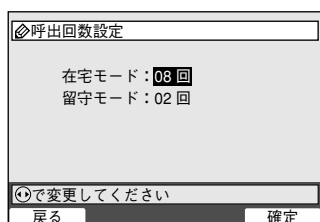
留守にするとき（留守モード）

（留守）が点灯している状態です。「留守番機能を利用する」☞ 82ページ

電話やファクスの受けかた

呼出回数の設定

着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。
お買い上げ時は「在宅モード」8回、「留守モード」2回に設定されています。

● 呼出回数を0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。（無鳴動受信）回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。

1 機能 2 1 を押す

2 で在宅モードの呼出回数を選び を押す

00～15／無制限

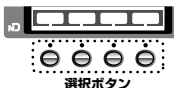
3 で留守モードの呼出回数を選び 確定 を押す

00～07／トールセーバー

「受けつけました」と表示されます。

4 停止 を押す

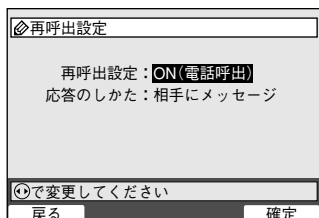
トールセーバー
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。
〈外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）〉
外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

メッセージがあるとき………呼出2回
メッセージがないとき………呼出5回
➡ 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、「リモコンアクセス」（☞ 88ページ）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

再呼び出し設定

在宅モードのときの受信のしかたや応対のしかたを選択します。
お買い上げ時は、「ON(電話呼出)／相手にメッセージ」に設定されています。

1 機能 2 2 を押す

再呼出設定
再呼出設定：ON(電話呼出)
応答のしかた：相手にメッセージ
で変更してください
戻る 確定

2 で在宅モードのときの受信のしかたを選ぶ

ON(電話呼出)／OFF(ファクス専用)

ON（電話呼出）を選んだときは、手順3へ進みます。OFF（ファクス専用）を選んだときは、手順6へ進みます。

ON（電話呼出）のとき

3 を押す

4 で在宅時の応答のしかたを選び 確定 を押す

相手にベル／相手にメッセージ

- 「相手にベル」：本機が電話を受けたとき、相手機側に「トゥルー、トゥルー」という呼出音が聞こえるように設定します。
- 「相手にメッセージ」：本機が電話を受けたとき、相手機側に設定した在宅応答メッセージを流します。お買い上げ時は「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。

補足

「相手にベル」のときは約30秒間、「相手にメッセージ」のときは約50秒間呼び出します。
そのあと、電話に出ないときは相手に「ただ今近くにおりません。後ほどおかけ直しください。」というメッセージを流して回線が切れます。

- 応答メッセージの内容は変更することができます。（「応答メッセージの設定」☞ 84ページ）
- 「受けつけました」と表示されます。

5 停止 を押す

設定を終了します。

OFF（ファクス専用）のとき

6 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止 を押す

設定を終了します。

基　本

応　用

電話をかける（親機）

受話器をとって電話をかける

1 受話器をとり、0～9で相手の電話番号を押す

2 通話が終わったら受話器を戻す

受話器をとらずに電話をかける

1 スピーカーホンを押し、相手の電話番号を押す

2 相手が出たら、マイクを使って話す

補足

- 周りの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話しください。
- 操作を途中で中止するとき、かけ直すときは、もう一度 スピーカーホン を押します。

3 通話が終わったら、スピーカーホン をもう一度押す

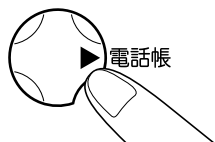
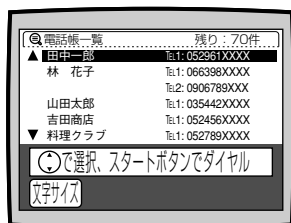
を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

名前で検索してかける

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。（「親機の電話帳」☞ 52ページ）

1 受話器をとる、または スピーカーホン を押す

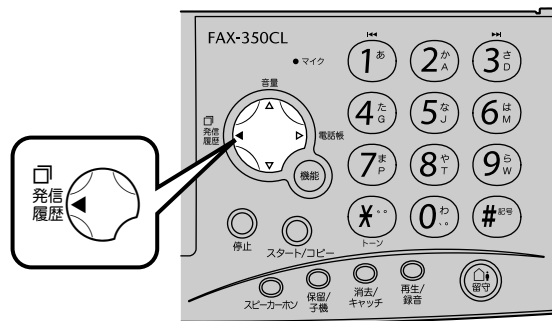
2 電話帳 を押す

3 で相手の名前を検索する

補足

- 画面の左側に「▲」または「▼」が表示されているときは、その方向に表示しきれていない相手先があることを示しています。
- 名前は登録した読み仮名で検索されます。
- ダイヤルボタンを押すと、相手の読み仮名の最初の 1 文字を含む行を画面の最上段に表示させることができます。
  例 1）「清水（シミズ）」を検索したいときは、3 を押します
  ➡「サ行」の先頭となる相手先が画面の最上段に表示されます。

4 スタート/コピー を押す

5 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンでかけた場合は スピーカーホン を押す）

最近かけた相手にかける

本機に記憶された発信履歴から電話をかけることができます。

「発信履歴を利用する」☞ 47ページ

補足

記憶している電話番号は最新の10件です。（親機、子機ごとにそれぞれ最新の 10 件を記憶しています。）

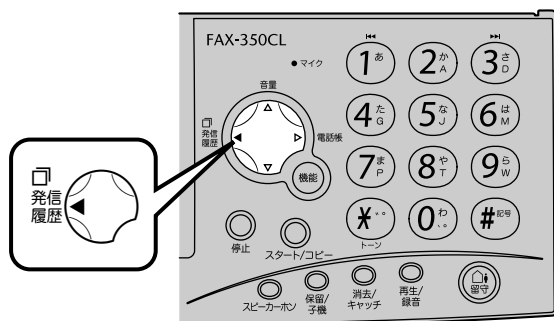
最近かかってきた相手にかける

ナンバー･ディスプレイにご契約いただいている場合は、本機に記憶された着信履歴から電話をかけることができます。

「着信履歴を利用する（親機）」☞ 105ページ

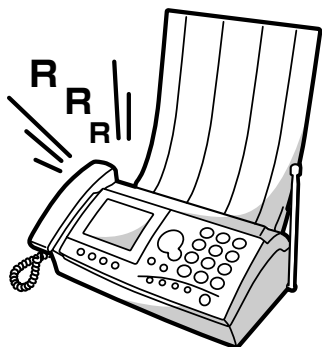
電話をかける（親機）

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル機能）

1 受話器をとる、または スピーカーホン を押し 発信履歴 を押す

2 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンでかけた場合は スピーカーホン を押す）

電話を受ける（親機）

受話器をとって電話を受ける

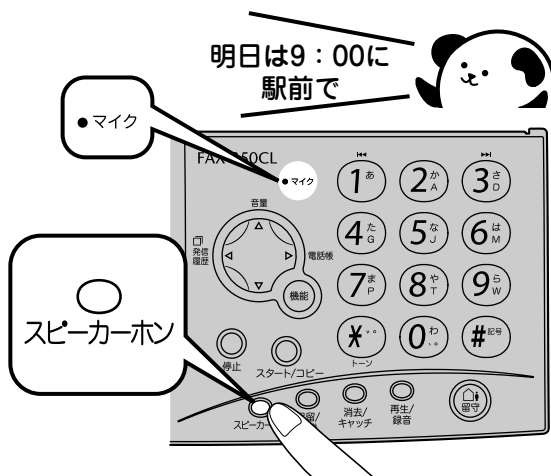
1 電話が鳴ったら、受話器をとって受ける

2 通話が終わったら受話器を戻す

受話器をとらずに電話を受ける

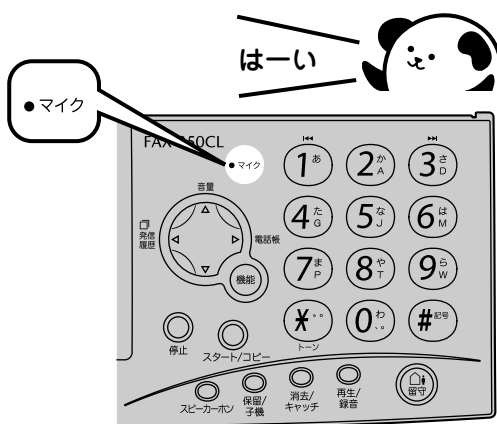
1 スピーカーホン を押し、本体のマイクを使って話す

補足

周りの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話しください。

2 通話が終わったら スピーカーホン を押す

「はーい」と返事するだけで受ける

ハンズフリー着信を設定しているときは、「はーい」と返事をするだけで電話を受けることができます。

「ハンズフリー着信を設定する」☞ 60ページ

電話をかける（子機）

子機をとって電話をかける

1 充電器から子機をとり、ワ0～WXYZラ9で相手の電話番号を押す

- 充電器から子機をとり、操作をせずに30秒経過すると外線ボタンが点滅して警告音が鳴り、ディスプレイには「ｶﾞｲｾﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。さらに30秒経過するとディスプレイには「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示され回線が自動的に切れます。
- ディスプレイに「ｶﾞｲｾﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」・「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示されているときは、もう一度外線ボタンを押してからダイヤルボタンを押してください。

補足

（外線）が点灯していなくても、相手の電話番号を押したあと、（外線）を押して電話をかけることができます。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す（または（切）を押す）

子機を置いたままかける

1 （スピーカー）を押し、ワ0～WXYZラ9で相手の電話番号を押す

2 相手が出たら、マイクを使って話す

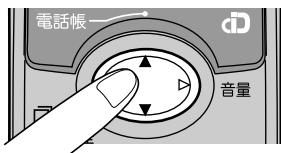
補足

- 周りの騒音などによって声が聞き取りにくいときは子機をとってお話しください。
- 操作を途中で中止するとき、かけ直すときは（切）を押します。

3 通話が終わったら（切）を押す

名前で検索してかける

子機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。（「子機の電話帳」☞ 55ページ）

1 充電器から子機をとり、（▲）または（▼）を押す

補足

登録した電話帳のリストが表示されます。

2 （▲▼）で相手の名前を検索し、（外線）を押す

補足

- 登録した番号が 1 つしかない場合は、相手の名前･電話番号をディスプレイに表示して（外線）を押すと電話がかかります。
- ダイヤルボタンで相手の名前（読み仮名）の最初の 1 字（かな）を入力し、（▲▼）を押すと入力した 1 字以降の電話番号のリストが表示されます。
- 名前の頭文字を入力しないときは、読み仮名が「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

3 TEL1 または 2 のどちらかの番号を（▲▼）で選び（外線）を押す

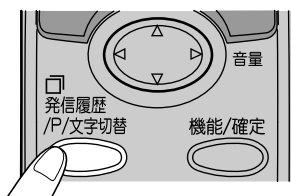
補足

- 電話番号は 1 件につき 2 番号まで登録することができます。（「子機の電話帳」☞ 55 ページ）
- 通話中に電話帳を表示させた場合は、（内線/クリア 保留）で通話画面に戻ります。

4 通話が終わったら子機を充電器に戻す（または（切）を押す）

電話をかける（子機）

最近かけた相手にかける

本機に記憶された発信履歴から電話をかけることができます。

「発信履歴を利用する」☞ 47ページ

補足

記憶している電話番号は最新の10件です。（親機、子機ごとにそれぞれ最新の 10 件を記憶しています。）

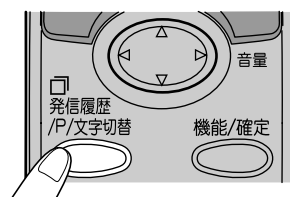
最近かかってきた相手にかける

ナンバー･ディスプレイにご契約いただいている場合は、本機に記憶された着信履歴から電話をかけることができます。

「着信履歴を利用する（子機）」☞ 106ページ

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル機能）

1 充電器から子機をとり、（発信履歴/P/文字切替）を押す

（外線）が点灯していないときは、押して点灯させます。

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す（または（切）を押す）

電話を受ける（子機）

子機をとって電話を受ける

1 充電器から子機をとる
（充電器に置いてないときは (外線) を押す）

2 通話が終わったら子機を充電器に戻す　（または(切)を押す）

子機を置いたまま受ける

1 子機を置いたまま(スピーカー)を押す

補足

周りの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話しください。

2 通話が終わったら(切)を押す

保留にするとき

■ 親機

1 通話中に 保留/子機 を押し、受話器を戻す

補足

- 保留にしている間は保留メロディが流れます。
- 受話器を戻さなくても通話は保留されています。

2 通話に戻るときは、もう一度受話器をとる

補足

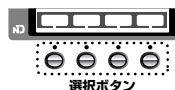
保留にしたあと、受話器を戻さなかったときはもう一度 保留/子機 を押すと通話に戻ることができます。

■ 子機

1 通話中に、 内線/クリア 保留 を押す

補足

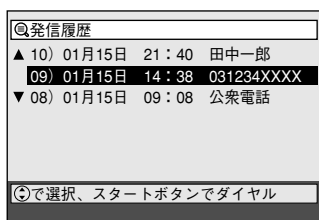
保留にしている間は保留メロディが流れます。

2 通話に戻るときは、もう一度 内線/クリア 保留 を押す（または 外線 を押す）

発信履歴を利用する

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

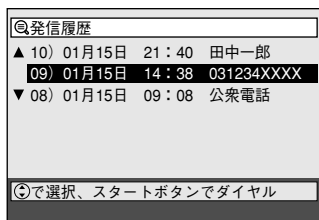
発信履歴

発信履歴を利用して電話をかけることができます。また、発信履歴を電話帳に登録することができます。（「親機の電話帳」☞ 52ページ）
操作を中止するには○停止を押します。

■ 親機

■ 電話する

1 発信履歴◁を押す

2 ◇で電話番号を選ぶ

3 受話器をとって○スタート/コピーを押す

■ 履歴を見る

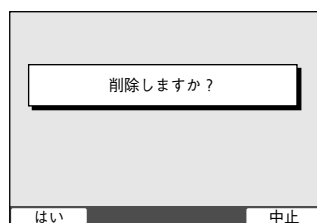
1 発信履歴◁を押す

2 ◇で発信履歴を確認する

○停止を押すと、元の表示に戻ります。

■ 履歴を削除する

1 発信履歴◁を押す

2 ◇で削除したい発信履歴を選び○消去/キャッチを押す

3 はいを押す

4 ○停止を押す

発信履歴を利用する

■子機

■ 電話する

1 （外線）が消灯していることを確認し（発信履歴/P/文字切替）を押す

2 （▲▼）で電話番号を選ぶ

補足

記憶している電話番号は最新の10件です。
（親機、子機ごとにそれぞれ最新の10件を記憶しています。）

3 （外線）を押す

■ 履歴を見る

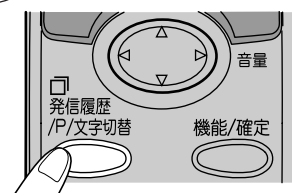
1 （外線）が消灯していることを確認し（発信履歴/P/文字切替）を押す

2 （▲▼）で発信履歴を確認する

（切）を押すと、元の画面に戻ります。

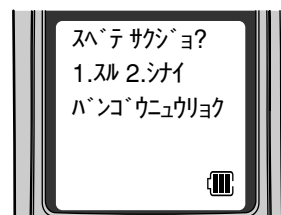
■ 履歴を削除する

● 発信履歴を個別に削除するときは

1 （外線）が消灯していることを確認し（発信履歴/P/文字切替）を押す

2 （▲▼）で電話番号を選ぶ

3 （内線/クリア 保留）を押す

● 発信履歴をすべて削除するときは

（機能/確定）を押し、（▲▼）で「ﾊｯｼﾝﾘﾚｷｸﾘｱ」を選び（機能/確定）を押します。
下の画面で（ｱ1）を押します。

通話を切り替える

受話器の通話とスピーカーホンの通話を切り替えます。

■ 親機

1 通話中に〔スピーカーホン〕を押し、受話器を戻す

スピーカーホンによる通話になります。

2 スピーカーホンの通話をやめるときは、受話器をとる

■ 子機

1 通話中に〔スピーカー〕を押す

スピーカーホンによる通話になります。

2 スピーカーホンの通話をやめるときは、もう一度〔スピーカー〕を押す

通話を録音する（親機のみ）

通話の内容を録音できます。

● 録音時間が設定できます。（「メッセージの録音時間の設定」☞ 86ページ）
● スピーカーホンで通話しているときは録音できません。

1 親機で通話中に〔再生/録音〕を押す

2 録音をやめるときは〔停止〕を押す

・ 録音した内容は留守録メモリーに記憶されます。
・ 設定した録音時間が過ぎると録音は自動的に終了します。
・ 録音した内容を聞くときは、受話器を戻し、〔再生/録音〕を押します。
・ 留守録メモリーがいっぱいのときは録音することができません。

通話のときは

電話を取り次ぐ

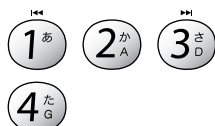
■用件を伝えてから電話を取り次ぐ

■ 親機から子機へ

親機でとった電話を子機に取り次ぎます。

1 電話中に（保留/子機）を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

・ 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは（保留/子機）を押します。
・ 子機が1台のときは（1あ）を押します。

3 子機に電話ということを伝える

4 取り次ぎ内容を伝えたら、親機の受話器を戻す

子機に外線がつながります。

取り次ぐのを中止し、再度、親機で保留にしている相手と通話するときは、子機の（切）を押します。

■ 子機から親機へ

子機でとった電話を親機に取り次ぎます。

1 電話中に（内線/クリア 保留）を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 親機の内線番号（0）を押す

保留している相手ともう一度話すときは（切）を押し、呼び出しを中止して（外線）を押します。

3 親機に電話ということを伝える

取り次ぐのを中止し、再度、子機で保留にしている相手と通話するときは、親機の受話器を戻します。

4 取り次ぎ内容を伝えたら、（切）を押す

親機に外線がつながります。

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

機種 ＼ 内線番号	0	1	2	3	4
FAX-350CL	親機	子機1	増設子機1	増設子機2	増設子機3
FAX-350CLW	親機	子機1	子機2	増設子機1	増設子機2

■ 子機 1 から子機 2 へ

FAX-350CLW をお使いの場合や子機を増設しているときは、子機でとった電話を別の子機にトランシーバー方式で取り次ぎます。（「子機と子機で話す（簡易子機間通話）」☞ 63ページ）

（例）ここでは子機1で受け、子機2へ取り次ぐ場合を説明しています。

1 電話中に 内線/クリア 保留 を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 取り次ぐ子機の内線番号 ABC カ 2 を押す

- 保留している相手ともう一度話すときは 切 を押し、呼び出しを中止して 外線 を押します。
- 子機 2 が充電器からとられるか、 内線/クリア 保留 または 外線 を押されると、子機 1、子機2のディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されます。

3 ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されたら、子機1の キャッチ を押す

4 「ピポッ」と音が鳴り、子機 1 のディスプレイに「ﾊｹｽ」と表示されたら、取り次ぎ内容を伝える

再度、保留している相手と通話するときは、キャッチ を押し、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」を表示させて 外線 を押します。

補足

子機2から子機 1へ話しかけるときは、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」表示中に子機2の キャッチ を押します。

5 取り次ぎ内容を伝えたら、切 を押す

取り次ぎ先の子機に外線がつながります。

■用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話を簡易的に取り次ぐことができます。

■ 親機から子機へ

1 電話中に 保留/子機 を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 親機の受話器を戻す

3 充電器から子機をとる（充電器に置いていないときは 外線 を押す）

子機に外線がつながります。

■ 子機から親機へ

1 電話中に 内線/クリア 保留 を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 子機を充電器に戻す

充電器に戻さないときは 切 を押します。

3 親機の受話器をとる

親機に外線がつながります。

■ 子機 1 から子機 2 へ

1 電話中に 内線/クリア 保留 を押す

こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 子機1を充電器に戻す

充電器に戻さないときは 切 を押します。

3 充電器から子機2をとる（充電器に置いていないときは 外線 を押す）

子機2に外線がつながります。

電話帳に登録する

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。さらに、ナンバー・ディスプレイにご契約いただいている場合は、迷惑電話など受けたくない電話を拒否できたり、相手先に応じた着信音の鳴り分けを設定できます。（☞ 98、99ページ）

親機の電話帳

電話帳には最大100件まで登録することができます。
お買い上げ時にはあらかじめ3件（「117（時報）」・「177（天気予報）」・「104（電話番号案内）」）が登録されています。（あらかじめ登録されている3件の番号は削除し、別の番号を登録することができます。）
電話帳に名前（全角10文字まで）・電話番号（20桁まで（数字、「＊」、「＃」、「p」（ポーズ）のみ））を登録します。
※ただし、「＊」、「＃」は電話番号の途中に入れないでください。
電話帳の内容は子機へ転送することができます。（「電話帳の転送」☞ 57ページ）
※ただし、着信音の設定は転送されませんので、転送後に設定し直してください。

■ 登録する

1 電話帳 を押す

2 新規登録 を押す

電話帳登録　残り：65件
名前：
ﾖﾐｶﾞﾅ：
[入力]を押すと、入力画面になります
戻る　入力　次へ

3 入力 を押す

4 名前を入力する

- 「文字の入れかた（親機）」☞ 158ページ
- 全角10文字まで入力できます。

ブラザー花子
かな　文字削除　確定

読み仮名は自動的に半角 16文字まで入力されます。

5 確定 を押す

読み仮名を修正するときは、名前と同様の手順で入力し直します。

6 次へ を押す

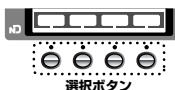
電話帳登録　残り：65件
TEL1：
TEL2：
ダイヤルボタンで入力してください
着信履歴　文字削除　連続登録　確定

7 「TEL１」に電話番号を入力し ▼ を押す

- 20桁まで入力できます。
- ［発信履歴］または［着信履歴］を押すと履歴から電話番号を選択することができます。
- 「TEL2」を入力しないときは［確定］を押します。

8 「TEL2」に電話番号を入力し 確定 を押す

- 「受けつけました」と表示されます。
- 続けて登録するときは［連続登録］を押します。

9 ◯（停止）を押す

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。
選択ボタン

■ 発信履歴から登録する

1 「■登録する（☞ 52ページ）」の手順1～手順6と同様の操作をする

2 発信履歴◁を押す

最近かけた電話番号が表示されます。

3 ◇を押し、登録したい電話番号を選択する

補足
記憶している電話番号は最新の10件です。

4 [確定]を押す

電話帳登録　残り：65件
TEL1：031234XXXX
TEL2：
ダイヤルボタンで入力してください
着信履歴　文字削除　連続登録　確定

「TEL2」を入力しないときは［確定］を押します。

5 電話番号を確認して[確定]を押す

- 「受けつけました」と表示されます。
- 続けて登録する場合は［新規登録］を押します。

6 ○（停止）を押す

■ 着信履歴から登録する

1 「■登録する（☞ 52ページ）」の手順1～手順6と同様の操作をする

2 [着信履歴]を押す

最近かかってきた電話番号が表示されます。

補足
ナンバー・ディスプレイのご契約をしていないとき、または着信履歴がないときは「ナンバー・ディスプレイの着信履歴がありません」と表示されます。

3 ◇を押し、登録したい電話番号を選択する

補足
記憶している電話番号は最新の30件です。

4 [確定]を押す

「TEL2」を入力しないときは［確定］を押します。

5 電話番号を確認して[確定]を押す

- 「受けつけました」と表示されます。
- 続けて登録する場合は［新規登録］を押します。

6 ○（停止）を押す

電話帳に登録する

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

■ 変更する

1 ▶電話帳を押す

読み仮名が「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

2 で変更したい電話帳データを選び 修正 を押す

以降の操作は、「■登録する（☞ 52ページ）」の手順2と同様の手順で変更します。

■ 削除する

1 ▶電話帳を押す

読み仮名が「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

2 で削除したい電話帳データを選び 消去/キャッチ を押す

確認メッセージが表示されます。

3 はい を押す

電話帳データが削除され「削除しました」と表示されます。

- 構内交換機（PBX）で「0」発信の場合には、「0」のあとに留守でポーズ(約3秒間の待ち時間）を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号のあとに留守でポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。
  例）①「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010＋国番号+留守+市外局番+電話番号
  ②「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録していない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）+010＋国番号+留守+市外局番+電話番号
  ※入力したポーズは「p」で表示されます。
- 国際電話のかけかたの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 操作を中止するには停止を押します。（登録中のデータは破棄されます。）

子機の電話帳

電話帳には最大100件まで登録することができます。
お買い上げ時にはあらかじめ3件(「117(時報)」・「177(天気予報)」・「104(電話番号案内)」)が登録されています。
(あらかじめ登録されている3件の番号は削除し、別の番号を登録することができます。)
電話帳に名前(16文字まで)・電話番号(20桁まで(数字、「*」、「#」、「p」(ポーズ)のみ))を登録します。
※ただし、「*」、「#」は電話番号の途中に入れないでください。
ナンバー・ディスプレイにご契約いただいている場合は、個別の着信音を指定することができます。(☞ 99ページ)

- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 電話帳の内容は親機へ転送することができます。(「電話帳の転送」☞ 57ページ)
  (ただし、着信音の設定は転送されませんので、転送後に設定し直してください。)

■ 登録する

1 機能/確定 を押す

2 (上下キー) で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ」を選び 機能/確定 を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾉｺﾘ XXｹﾝ」と登録可能な件数が表示されます。

3 名前を入力し 機能/確定 を押す

・「文字の入れかた(子機)」☞ 160ページ
・ 16文字まで入力できます。

ﾅﾏｴ?
ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾅｺ
ﾆｭｳﾘｮｸ+ｶｸﾃｲ

4 TEL1を入力し 機能/確定 を押す
(履歴から電話番号を登録する場合は キャッチ/着信履歴 または 発信履歴/P/文字切替 を押して (上下キー) で選び 機能/確定 を押す)

20桁まで入力できます。

TEL1?
052123XXXX_
ﾆｭｳﾘｮｸ+ｶｸﾃｲ

5 TEL2を入力し 機能/確定 を押す
(履歴から電話番号を登録する場合は キャッチ/着信履歴 または 発信履歴/P/文字切替 を押して (上下キー) で選び 機能/確定 を押す)

登録する電話番号が1つのときは何も入力しないで 機能/確定 を押します。

6 (切) を押す

- 構内交換機(PBX)で「0」発信の場合には、「0」のあとに 発信履歴/P/文字切替 でポーズ(約3秒間の待ち時間)を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号のあとに 発信履歴/P/文字切替 でポーズ(約3秒間の待ち時間)を入れてください。
  例)①「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+国番号+ 発信履歴/P/文字切替 +市外局番+電話番号
  ②「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録していない場合
  (国際電話サービス会社指定の番号)+010+国番号+ 発信履歴/P/文字切替 +市外局番+電話番号
  ※入力したポーズは「p」で表示されます。
- 国際電話のかけかたの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 操作を中止するには (切) を押します。(登録中のデータは破棄されます。)
- メロディ1〜3には、下記のメロディが登録されています。
  ・メロディ1(威風堂々)、メロディ2(四季より「春」)、メロディ3(花のワルツ)

電話帳に登録する

■ 変更する

1 機能/確定 を押す

2 ◯ で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ」を選び 機能/確定 を押す

ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾅｺ
052123XXXX

読み仮名が「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

3 ◯ で変更したい電話帳データを選び 機能/確定 を押す

ダイヤルボタンで名前の最初の1文字を入力すると、その文字から検索できます。

以降の操作は、「■登録する（☞ 55ページ）」の手順3と同様の手順で変更します。

■ 削除する

1 電話帳 ◯ を押す

ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾅｺ
052123XXXX

読み仮名が「カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

2 ◯ で削除したい電話帳データを選び 内線/クリア 保留 を押す

ダイヤルボタンで名前の最初の1文字を入力すると、その文字から検索できます。

ｻｸｼﾞｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

3 ア1 を押す

ダイヤルボタンで［1.スル］を選びます。

■ 全消去する

電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。一度消去した登録内容は、もとに戻すことができません。全消去する前に手順をよく読んでから操作をはじめてください。

1 機能/確定 を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

2 1分以内に ◯ を押す

ボタンを押すと、音は鳴りますが、画面は手順1のままです。

3 5秒以内に 機能/確定 を押す

ボタンを押すと、音は鳴りますが、画面は手順1のままです。

4 5秒以内に ◯ を押す

全消去画面が表示されます。

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｸﾘｱ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

メモ
ボタンを押す時間が限られていますので、全消去画面が表示されない場合があります。表示されないときは、もう一度、操作をやり直してください。

5 ア1 を押す

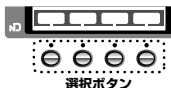
確認画面が表示されます。

ｽﾍﾞﾃ ｻｸｼﾞｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

- ABCカ2 を押したとき
  → 手順1のメニュー画面に戻ります。
- 切 を押したとき
  → 待ち受け画面に戻ります。
- 1分間操作をしないとき
  → 待ち受け画面に戻ります。

6 もう一度 ア1 を押す

全消去されます。

7 待ち受け画面に戻ります

[ ]を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

電話帳の転送

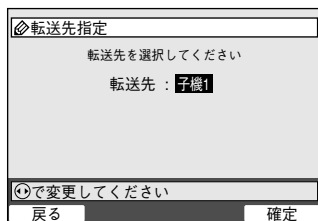
親機から子機、子機から親機へ電話帳データを転送して使用することができます。

● 着信鳴り分け設定は転送されませんので、転送後に設定し直してください。(「相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（親機）」☞ 98ページ、「相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（子機）」☞ 99ページ)

■ 親機から子機へ転送する

1 [電話帳]を押す

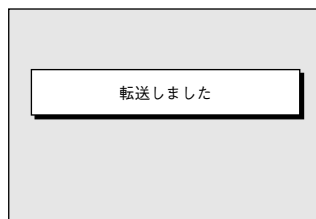
読み仮名が「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

2 [転送]を押す

・FAX-350CLWをお使いの場合は、「子機2」も選択肢として表示されます。
・増設された子機があるときは、「子機2～4」も選択肢として表示されます。

3 で転送先を選び[確定]を押す

4 で転送したい電話帳データを選び[確定]を押す

続けて転送するときは、この手順を繰り返します。

5 ○(停止)を押す

● 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
● 親機から子機へ転送した場合の着信鳴り分け設定は、「着信音の設定」(☞ 112ページ）で設定された子機の着信音になります。
● 子機の電話帳の残り件数が「0」のときに親機から子機へデータ転送すると、「子機に転送できません　子機の電話帳がいっぱいです」と表示されます。
● 操作を中止するときは、○(停止)を押します。

電話帳に登録する

■ 子機から親機へ転送する

1 親機が待ち受け画面になっていることを確認する

2 機能/確定を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

3 ◎で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾃﾝｿｳ」を選び機能/確定を押す

ﾌﾞﾗｻﾞｰﾊﾅｺ
052123XXXX

読み仮名が「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

4 ◎で転送したい電話帳データを選び機能/確定を押す

ﾃﾝｿｳﾁｭｳ
〉〉

続けて転送するときはこの手順を繰り返します。

5 切を押す

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 子機から親機へ転送した場合の着信鳴り分け設定は、「着信音の設定」(☞ 112ページ)で設定された親機の着信音になります。
- 親機の電話帳の残り件数が「0」のときに子機から親機へデータ転送すると、「ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｵﾔｷ ｹﾝｽｳﾌﾙ ﾏﾀﾊ ﾃﾝｿｳｴﾗｰ」と表示されます。
- 子機を2台以上使用しているとき、子機同士で電話帳データを転送することはできません。
- 操作を中止するときは、切を押します。

キャッチホンを利用する

キャッチホン／キャッチホンⅡは、NTT が行っているサービスで外線通話中に別の電話やファクスを受けるためのサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。

- 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、**NTTとのご契約が必要です。（有料）**
  同時に利用できないサービスについては、NTTにお問い合わせください。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

■ キャッチホンで電話を受けたとき

1 通話しているとき、「プップッ」と聞こえたら 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押す

声が聞こえたとき

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押す

■ キャッチホンでファクスを受けたとき

1 通話しているとき、「プップッ」と聞こえたら 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押す

「ポーポー」と聞こえたとき

親切受信を「ON」に設定していると、消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押して「ポーポー」と聞こえたときに自動的にファクスを受信することがあります。自動的にファクスを受信したくないときは親切受信を「OFF」にしてください。

2 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押す

最初の相手につながります。手短に話を終えてください。

3 通話が終わったら 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押す

受話器を戻したり、子機の 切 を押さないでください。ファクスの受信ができなくなります。

4 親機の スタート/コピー を押す

ファクスを受信した場合、ファクス受信後に電話が切れますので、最初の相手との通話に戻ることができません。

- 待たせている相手のかたには保留メロディが流れます。
- 消去/キャッチ（親機）／ キャッチ（子機）を押すごとに、通話相手が変わります。
- 通話中にファクスが入ったときは通話を終えてから、親機の スタート/コピー を押してファクスを受信してください。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

ハンズフリーで電話を受ける

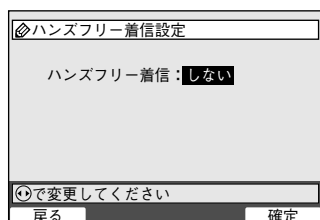
電話がかかってきたときに「はーい」と返事をすると、受話器をとらなくても電話に出て、スピーカーホンで通話できます。（ハンズフリー着信）
ハンズフリーで電話を受けるときはあらかじめ親機で受けるか子機で受けるか設定しておきます。
「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。
（FAX-350CLWをお使いの場合やFAX-350CLに子機を増設した場合は、子機にハンズフリー着信を設定することはできません。）
留守モードのときは、ハンズフリー着信を設定することはできません。

「ハンズフリー着信」を設定しているときの着信音は、着信音の設定にかかわらず、次のようになります。メロディまたはボイスを設定していても無効になりますのでご注意ください。

ハンズフリーの設定	着信音	
	親機	子機
親機にハンズフリーを設定したとき	ベル1	設定されている着信音
子機にハンズフリーを設定したとき	ベル1	ベル

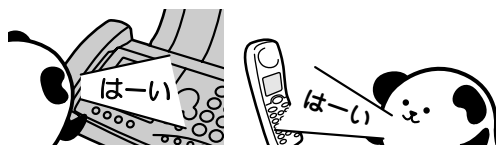
ハンズフリー着信を設定する

ハンズフリー着信の設定を親機、子機のどちらに設定するか、また「はーい」という返事の検出レベルを設定します。
ハンズフリー着信の設定は親機で行います。

1 （機能）（スピーカーホン）を押す

2 （◁▷）で着信先を選び（確定）を押す

しない／親機／子機

・「親機」：親機のディスプレイに「練習してください　本機にむかって「はーい」と呼びかけてください」と表示されます。
・「子機」：子機のディスプレイに「ﾚﾝｼｭｳﾁｭｳ」と表示されます。

3 設定したほうのマイクに向かって「はーい」と呼びかけ、「ピピッ」という音が鳴るか確認する

呼びかけは、設定してから5分以内にしてください。

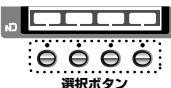
4 （◁▷）でマイクの感度を調整する

・3段階の調整ができます。
・子機の感度を変更するときも、親機の（◁▷）で調整します。
・「はーい」と呼びかけても本機が反応しないときは、マイクの感度を上げてください。
・周りの音に反応して「ピピッ」という音が鳴るときは、マイクの感度を下げてください。

5 （確定）を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 （停止）を押す

手順5で親機の（確定）を押しても子機のディスプレイが［待受画面］に戻らないときは、（切）を押してください。そのあと、再度ハンズフリー着信の設定をし直してください。

ハンズフリーで電話を受ける

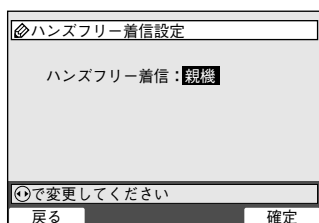
1 着信音が鳴ったらマイクに向かって「はーい」と言う

マイクの正面1メートル以内から声をかけます。

2 通話が終わったら スピーカーホン を押す（子機のときは(切)を押す）

- 内線電話、留守モードのときはハンズフリーで電話を受けることはできません。
- 自動的に着信したあとの再呼び出し（☞ 35ページ）の間は、ハンズフリーで電話を受けることはできません。
- ハンズフリーで通話ができるのは約1時間までです。1時間以上通話するときは受話器をとって話してください。
- 相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器をとってお話しください。
- 「はーい」の検出が可能な距離はマイクの正面約1メートル以内です。
- 次のときはハンズフリー着信を受けられません。
  - ・呼出回数を0回または1回にしているとき
  - ・着信音量を「OFF」に設定しているとき
- 「はーい」という返事に本機が反応しないときは、声が小さいか返事が短い可能性があります。はっきりと大きな声で呼びかけてください。

ハンズフリー着信を解除する

1 (機能) スピーカーホン を押す

2 ◀▶で「しない」を選ぶ

しない／親機／子機

3 [確定]を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止 を押す

本機のそばを離れるときや外出するときは誤動作しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。

内線で話す

親機、子機間で内線通話や呼び出しができます。

親機と子機で話す

親機から子機、または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

■ 親機から子機へ

1 受話器をとる、または（スピーカーホン）を押す

受話器をとらないで、（保留/子機）を押すこともできます。通話するときは、スピーカーホン通話になります。

2 （保留/子機）を押す

3 通話する子機の内線番号を押す

4 通話をする

5 通話をやめるときは受話器を戻す（スピーカーホンでかけた場合は（スピーカーホン）を押す）

■ 子機から親機へ

1 子機を充電器からとり（内線/クリア 保留）を押し（0）を押す

2 通話をする

3 通話をやめるときは（切）を押す

- 内線呼出の音量は、着信音量と連動しています。着信音量を「OFF」に設定している場合は、内線呼出の音量は最小音量で鳴ります。（☞ 108ページ）
- 内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して内線通話を終了させ、もう一度受話器をとると電話がつながります。
  - ・親機がスピーカーホンを使って内線通話をしているときに外線がかかってくると、親機の着信音が鳴ります。受話器をとって外線とお話しください。
- 次のときは内線電話中に外から電話がかかってきても着信音が鳴りません。
  - ・ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしている
  - ・着信音にメロディまたはボイスを設定している
  - ・呼出回数を0回に設定している

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

内線番号／機種	0	1	2	3	4
FAX-350CL	親機	子機1	増設子機1	増設子機2	増設子機3
FAX-350CLW	親機	子機1	子機2	増設子機1	増設子機2

親機がスピーカーホンで内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。近づけすぎるとハウリング（「キーン」という音がする）が発生することがあります。

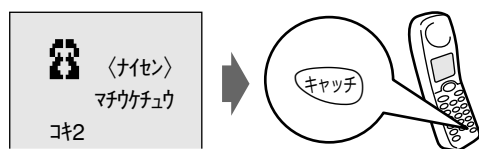
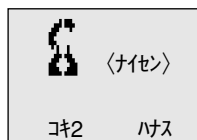
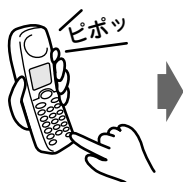
子機と子機で話す（簡易子機間通話）

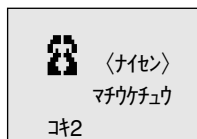
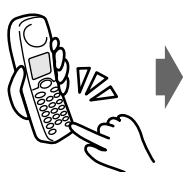
子機を2台以上使用しているとき、子機同士でトランシーバーのように交互に通話することができます。（外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。51ページの「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」を参照してください。）

■ 子機 1（電話をかける側）

1 子機を充電器からとり、内線/クリア 保留 を押す

2 呼び出したい子機の内線番号を押す

3 ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されたらキャッチを押す

4 「ピポッ」と音が鳴り、ディスプレイに「ﾊﾅｽ」と表示されたら子機 2へ話をする

キャッチを押すと子機 1、子機 2とも「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」になります。

〈ﾅｲｾﾝ〉
ﾏﾁｳｹﾁｭｳ
ｺｷ2

5 子機2と通話をやめるときは、切 を押す

■ 子機 2（電話を受ける側）

子機2の内線着信音が鳴る

子機2を充電器からとると、「ピロリッ」という音が鳴り、子機1、子機2とも「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」になります。（充電器から外しているときは 内線/クリア 保留 または 外線 を押します。）

子機 2 のディスプレイに「ｷｸ」と表示される

子機2が話をするときは、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されているときに子機2側のキャッチを押して、手順4と同様に話をします。

- 子機では、子機同士の内線通話のときのみ、スピーカーホンを使った内線電話ができます。
- 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

内線で話す

親機から子機へ呼びかける（親機のみ）

親機からすべての子機、または指定した子機にスピーカーを使って呼びかけます。

1 受話器をとる、または スピーカーホン を押す

2 保留/子機 0 を押す

特定の子機に呼びかけるときは、子機の内線番号を押してから 0 を押します。

3 呼びかける

子機を充電器からとる、または 内線/クリア 保留 か 外線 のいずれかを押すと親機と内線通話ができます。

4 呼びかけが終わったら、受話器を戻す（スピーカーホンで呼びかけた場合は スピーカーホン を押す）

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

機種＼内線番号	0	1	2	3	4
FAX-350CL	親機	子機1	増設子機1	増設子機2	増設子機3
FAX-350CLW	親機	子機1	子機2	増設子機1	増設子機2

4章 ファクス

基　本

応　用

ファクスを送る

ファクスだけをすぐに送る（自動送信）

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

補足
一度にセットできる原稿は10枚までです。

2 ダイヤルする、または電話帳から相手を選ぶ

ボタンを押すと一時的に画質や濃度を調整できます。（☞ 120ページ）

補足
画質は、ファクス送信後に「普通字」に戻ります。設定は記憶されません。

3 ○（スタート/コピー）を押す

送るのをやめるときは

ファクスを途中で中止したいときは、○（停止）を押します。繰り込まれていない原稿を取り除き、残った原稿をメッセージにしたがって排紙します。

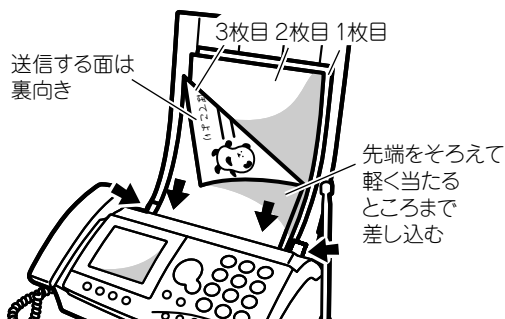
送れなかったときは
「ファクスだけをすぐに送る」の手順でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に5分おきに3回まで「再ダイヤル」を行います。このときディスプレイには 再ダイヤル待機中 が表示されます。（「再ダイヤル」を停止するときは○（停止）を押します。）それでも送信できなかったときは、送信レポートが印刷されます。（「送信レポート」☞ 122ページ）

話をしてから送る（手動送信）

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

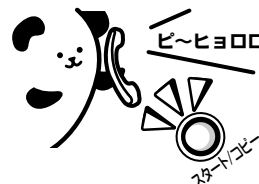
1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

補足

一度にセットできる原稿は10枚までです。

2 相手に電話をかける

3 相手側（受信側）のスタートボタンを押してもらう

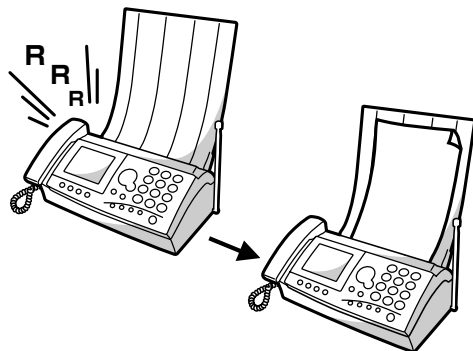
4 受話器から「ピーヒョロロ」と音がしたら ◯（スタート/コピー）を押す

5 受話器を戻す

送れなかったときは
「話をしてから送る」の手順でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは（発信履歴）を押します。

ファクスを受ける

ファクスをご利用になる頻度によって、受信のしかたを設定することができます。(「電話やファクスの受けかた」☞ 32ページ)

自動的に受ける（自動受信）

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本機が自動的に応答します。このとき、相手がファクスだった場合は、自動的に受信します。

補足

- 呼出回数を「無制限」にしているときは自動的に受信しません。(「いろいろな受信のしかた」☞ 33ページ)
- ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、ディスプレイで内容を確認できます。初めから記録紙で受信したいときは「みるだけ受信：しない」にしてください。(☞ 79ページ)
  ※「みるだけ受信：しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、あとでもう一度印刷したりすることはできません。
- あらかじめ多め（64g/m²紙の場合40枚以下）に記録紙をセットしてください。(☞ 15ページ)

子機で受ける

あらかじめ「親切受信」を「する」に設定しておくと、子機をとって約7秒後に自動的に受信します。(お買い上げ時は親切受信は「する」に設定されています。(「親切受信」☞ 77ページ))

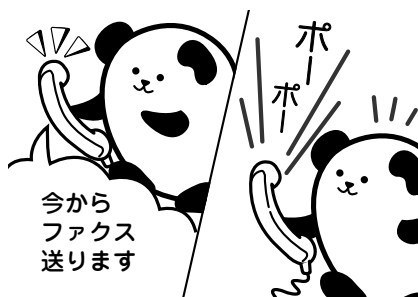
補足

親切受信を設定していないときや、相手と話したあとに受信するときは、「ポーポー」という音が聞こえてきたら親機の ○（スタート/コピー）を押して受信します。
このとき確認画面が表示されますので、［はい］を押してください。

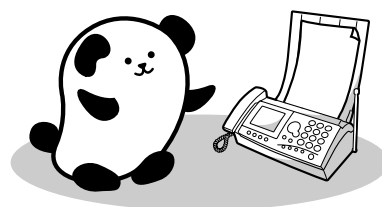
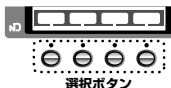
電話に出てから受ける（手動受信）

一度電話に出てからファクスを受信します。

1 電話を受ける

2 相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、○（スタート/コピー）を押す

補足

- 原稿がセットされているときは取り除いてから ○（スタート/コピー）を押します。
- ファクスを受信すると通話は自動的に切れます。

3 受話器を戻す

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

受けた内容をディスプレイで見る（みるだけ受信）／印刷する

新しく届いたファクスや、以前受信したファクスの内容を確認できます。お買い上げ時は「みるだけ受信：する」に設定されています。（「みるだけ受信」☞ 79ページ）

1 ファクスを受信したことが表示されたら［ファクス一覧］を押す

※メモリーに記憶しているファクスの件数

補足

新着ファクスがないときは［既読ファクス一覧］が表示されます。

2 「新着ファクス一覧」が表示される

既読ファクス一覧

以前受信したファクス一覧が表示されます。

印　刷

［印刷］：（上下キー）で選んだファクスのみ印刷します。

［一括印刷］：表示しているすべてのファクスを印刷します。

表　示

（上下キー）で選んだファクスの内容が表示されます。表示後、次の操作ができます。

［次ページ］：次のページを表示します。

［回　転］：表示を90°ずつ右回転させます。

［画面印刷］：表示しているページを印刷します。

［戻　る］：一覧表示に戻ります。

（上下キー）：たて方向にスクロールします。

（左右キー）：よこ方向にスクロールします。

（＊トーン）：縮小表示します。押すたびに、3段階で縮小画面が切り替わります。

（＃記号）：拡大表示します。押すたびに、3段階で拡大画面が切り替わります。

データの消去

（上下キー）で選び［表示］を押してファクスの内容を表示しているときに［消去/キャッチ］を押し、消去するかどうかの確認メッセージにしたがって［はい］を押します。

メモリーに記憶できるファクスは、約60枚分（※）です。不要なファクスのデータは削除してください。

※ A4サイズ700文字程度の標準原稿（☞ 163ページ）を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積された場合の枚数です。原稿の内容や画質によって、メモリーに記憶できる枚数が異なります。メモリーは留守録と共用しているため音声メッセージの録音がある場合は、メモリーに記憶できるファクスの枚数が減少します。

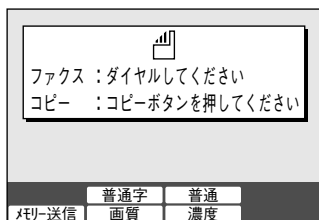
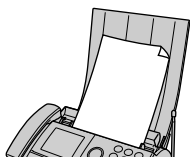
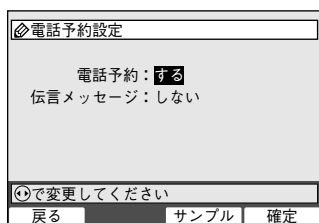
いろいろな送りかた

電話予約

ファクス送信後に相手先の着信音を鳴らし、通話できます。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときはご利用できません。
- この機能は送信後に解除されます。
- 「タイマー送信」を設定すると電話予約は解除されます。
- 「伝言メッセージ」を設定するときは、事前に発信元を登録してください。（発信元データを登録していないときは、「伝言メッセージ」を設定することができません。（「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」☞ 30ページ）

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

2 機能 3 5 を押す

「サンプル」を押すと伝言メッセージのサンプルを印刷できます。

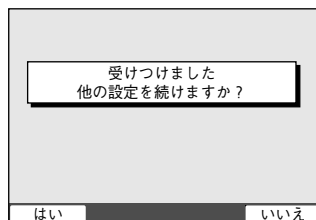
3 ◀▶で「する」を選び ▼ を押す

する／しない

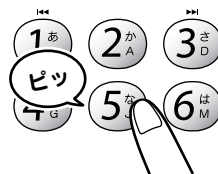
4 ◀▶ でメッセージの有無を選び 確定 を押す

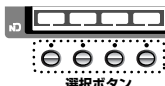
相手が電話に出ないときは「お電話ください」という伝言メッセージをファクス送信できます。

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

5 いいえ を押す

- 他の設定をするときは［はい］を押して設定を続けます。
- メモリー送信を使うときは［いいえ］を押したあと、ここで設定します。（「メモリー送信」☞ 75ページ）

6 ファクス番号を入力する

7 スタート/コピー を押す

- ダイヤルします。
- ファクスを送信したあと、電話で話します。

選択ボタン
[ ]を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

タイマー送信

指定した時刻にファクスを送信します。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

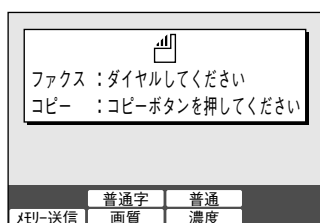
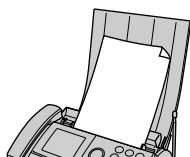
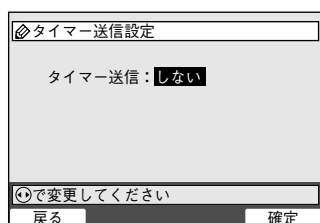
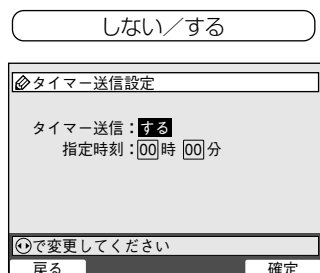
- メモリー送信を使うと3件まで指定できます。（「メモリー送信」☞ 75ページ）
- この機能は送信後に解除されます。
- メモリー送信を設定していないとき（タイマー送信設定のみのとき）は原稿をセットしたままにしてください。

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

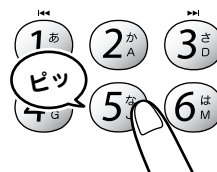
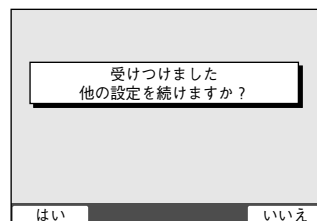
- 「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
- 「原稿について」☞ 162ページ

2 [機能] 3 6 を押す

3 [◀▶]で「する」を選び[▼]を押す

しない／する

4 送信する時刻を入力し[確定]を押す

送信時刻は24時間制で入力します。

（例）午前9時5分のときは 0 9 0 5 と入力し[確定]を押します。
午後3時45分のときは 1 5 4 5 と入力し[確定]を押します。

「受けつけました」と表示されます。

5 [いいえ]を押す

- 他の設定をするときは［はい］を押して設定を続けます。
- メモリー送信を使うときは［いいえ］を押したあと、ここで設定します。（「メモリー送信」☞ 75ページ）

6 ファクス番号を入力する

7 [スタート/コピー]を押すと、タイマー送信待機中になる

- 指定した時刻になると、ダイヤルして原稿の読み取りが行われます。
（［メモリー送信］を押してタイマー送信を設定したときは、[スタート/コピー]を押したあと、すぐに読み取りが行われます。）
- 「タイマー送信待機中」でも電話を受けたりかけたりできます。ファクスを送信するときはいったんタイマー送信設定を解除してください。（「設定の解除」☞ 76ページ）
- 相手が話し中などで送信できないときは5分ごとに3回まで再ダイヤルします。
- 送信後、送信レポート「出力する」のときタイマー通信レポートが印刷されます。（「送信レポート」☞ 122ページ）

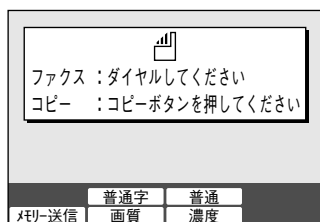
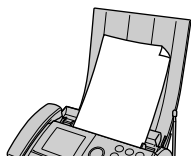
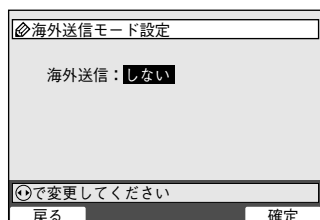
いろいろな送りかた

海外送信

海外送信時に設定すると通信エラーを少なくできます。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。
この機能は送信後に解除されます。

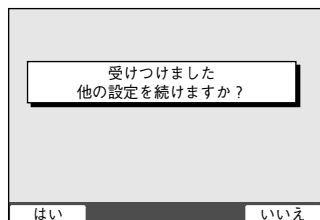
1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

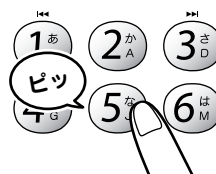
・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

2 機能 3 4 を押す

3 ◁▷で「する」を選び 確定 を押す

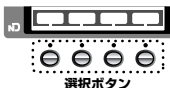
する／しない

「受けつけました」と表示されます。

4 いいえ を押す

・他の設定をするときは［はい］を押して設定を続けます。
・メモリー送信を使うときは［いいえ］を押したあと、ここで設定します。（「メモリー送信」☞ 75ページ）

5 ファクス番号を入力する

6 スタート/コピー を押す

ダイヤルします。

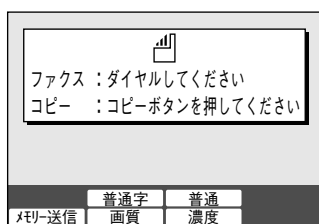
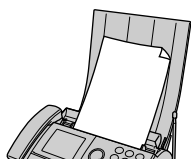
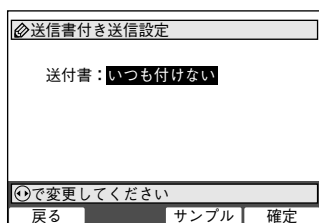
国際電話のかけかた（ファクスを送信するときのダイヤルのしかた）はご利用の電話会社にお問い合わせください。

□を選択するときは
下部の選択ボタンを押してください。
選択ボタン

送付書送信

ファクスに送付書を付けて送信することができます。お買い上げ時は、「いつも付けない」に設定されています。

- あらかじめ登録しておいた、オリジナルコメントを付けることができます。
- 送付書には相手先名（電話帳を使って送信したときのみ）、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、送付ページ数（「今回のみ付ける」に設定しているとき）、コメントが印刷されます。

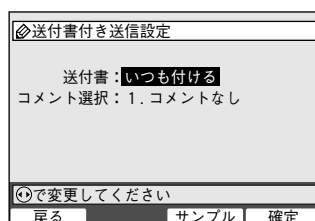
1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

2 （機能）（3）（1）を押す

［サンプル］を押すと、送付書のサンプルを印刷できます。

3 （◀▶）で送付書の付けかたを選ぶ

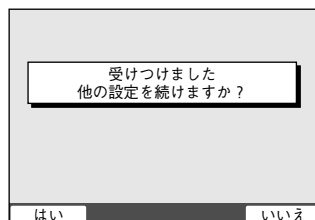
今回のみ付ける／今回のみ付けない／
いつも付ける／いつも付けない

「いつも付ける」を選んだときは、手順4へ進みます。
「いつも付けない」を選んだときは、手順7へ進みます。
「今回のみ付ける」を選んだときは、手順9へ進みます。
「今回のみ付けない」を選んだときは、手順14へ進みます。

いつも付けるとき

4 （▼）を押し（◀▶）でコメントを選ぶ

1.（コメントなし）／2.お電話ください／
3.至急／4.親展／5.（オリジナルコメント）／
6.（オリジナルコメント）

5 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 いいえを押す

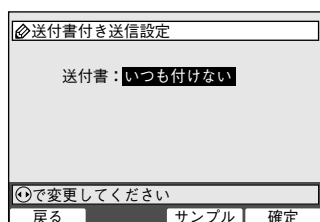
他の設定をするときは［はい］を押して続けます。

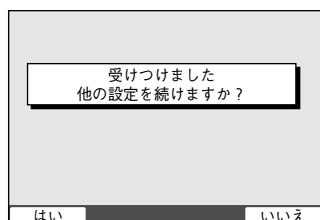
メモ

［送付書］を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。発信元登録をしていないときは、［送付書］を設定することができません。（「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」☞ 30ページ）

いろいろな送りかた

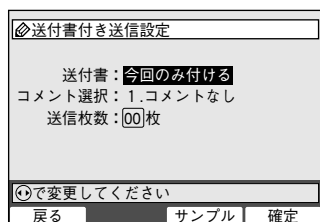
いつも付けないとき

7 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

受けつけました
他の設定を続けますか？
はい　いいえ

8 いいえ を押す

他の設定をするときは［はい］を押して続けます。

今回のみ付けるとき

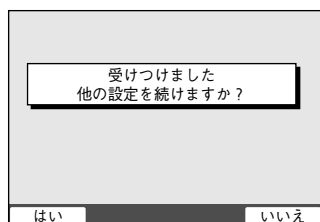
送付書付き送信設定
送付書：今回のみ付ける
コメント選択：1.コメントなし
送信枚数：00枚
で変更してください
戻る　サンプル　確定

9 を押し でコメントを選ぶ

1.（コメントなし）／2.お電話ください／3.至急／4.親展／5.（オリジナルコメント）／6.（オリジナルコメント）

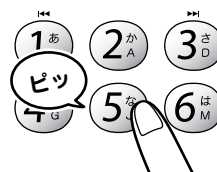
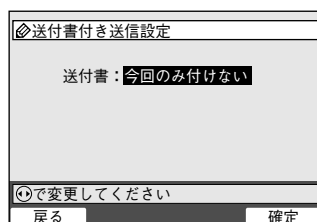
10 を押し送信枚数を入力する

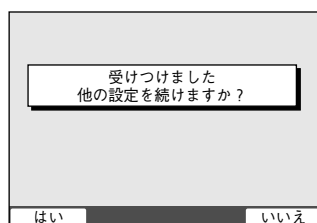
11 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

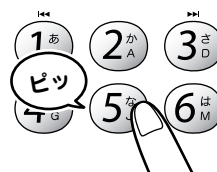
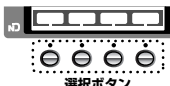
受けつけました
他の設定を続けますか？
はい　いいえ

12 いいえ を押す

・他の設定をするときは［はい］を押して続けます。
・メモリー送信を使うときは［いいえ］を押したあと、ここで指定します。（「メモリー送信」☞ 75ページ）

13 ファクス番号を入力し スタート/コピー を押す

今回のみ付けないとき

14 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

15 いいえ を押す

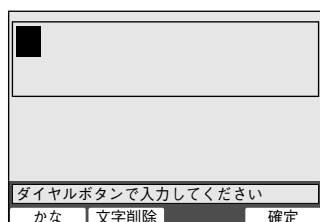
・他の設定をするときは［はい］を押して続けます。
・メモリー送信を使うときは［いいえ］を押したあと、ここで指定します。（「メモリー送信」☞ 75ページ）

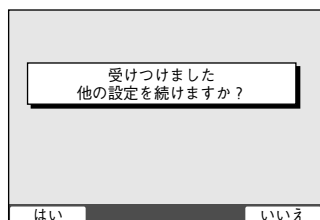
16 ファクス番号を入力し スタート/コピー を押す

コメントを登録する

送付書に付けるオリジナルコメントを登録します。
登録できるコメントの文字数は全角16文字、半角32文字までです。

1 機能 3 2 を押す

2 でコメント番号を選び 入力 を押す

3 ダイヤルボタンでコメントを入力し 確定 を押す

4 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

5 いいえ を押す

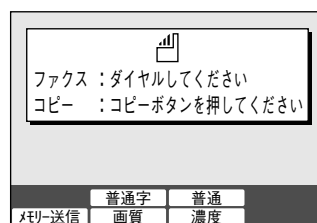
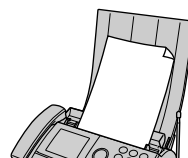
他の設定をするときは［はい］を押して続けます。

メモリー送信

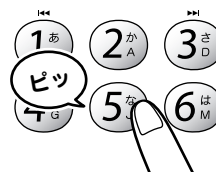
通常のファクス送信と違い、原稿を本体のメモリーに記憶してから送信するため、原稿の読み取りが早く、すぐに原稿を使いたいときなどに便利です。
送信後にこの機能は解除されます。

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

ファクス ：ダイヤルしてください
コピー ：コピーボタンを押してください
メモリー送信 | 普通字 画質 | 普通 濃度

読み取る画質、濃度を調整できます。

2 メモリー送信 を押す

3 ファクス番号を入力する

ダイヤルする、または電話帳から相手を選びます。

4 スタート/コピー を押す

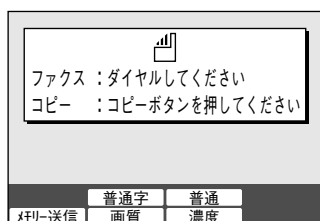
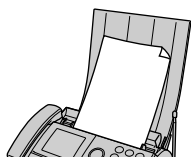
・原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
・送信できなかったときには、送信レポート「出力する」、または「エラー出力のみ」のときのみ送信レポートが印刷されます。（「送信レポート」☞ 122ページ）

いろいろな送りかた

一括送信

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、電話帳から最大100箇所まで指定できます。

1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

2 [メモリー送信]を押す

3 (上下)で電話帳から相手先を選び[一括送信]を押す（これを繰り返して複数の送信先を指定する）

・指定された相手先に「＊」が表示されます。
・電話帳に登録内容がないときは「登録されていません」と表示されます。
・送信先を間違えたときは[一括送信]を押して、送信先を指定し直してください。

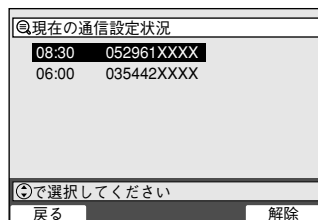
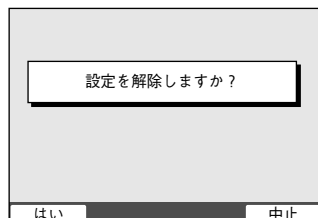
4 ○（スタート/コピー）を押す

・原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
・送信後、一括送信レポート「出力する」のときのみ一括送信レポートが印刷されます。
（「一括送信レポート」☞ 123ページ）

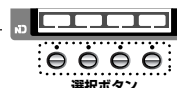
設定の解除

タイマー送信など設定している内容を確認し、解除できます。

1 (機能)(4)を押す

設定が1件しかないときは手順3へ。

2 (上下)で解除したい設定を選び[解除]を押す

3 [はい]を押す

・「受けつけました」と表示されます。
・［中止］を選ぶと、元の画面に戻ります。

4 ○（停止）を押す

いろいろな受けかた

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

親切受信

受話器で受けたときに相手がファクスだった場合、そのまま約7秒待つと自動的にファクスを受信します。
お買い上げ時は、「する」に設定されています。
設定を解除後、再度「する」に設定することもできます。

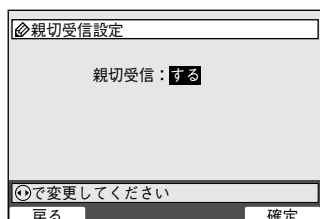
■ 解除する

1 機能 2 3 を押す

2 で「しない」を選び 確定 を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

3 ○停止 を押す

- ファクスの受信が始まったら受話器を戻してください。子機で受けたときは子機を充電器に戻してください。
- 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、親機の ○スタート/コピー を押さないとファクスを受信することができません。
- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、親機の ○スタート/コピー を押してファクスを受信してください。
- 親切受信は、親機または子機で電話に出たあと、約40秒間有効です。40秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、親機または子機で電話に出たまま親機の ○スタート/コピー を押して手動でファクスを受信します。

注意

通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を「しない」にしてください。この場合は、親機の ○スタート/コピー を押して手動でファクスを受信します。

いろいろな受けかた

A4自動縮小受信

受信した原稿がA4サイズよりも大きいとき、分割されないようにA4サイズに縮小して受信します。
お買い上げ時は、「する」に設定されています。
設定を解除後、再度「する」に設定することもできます。

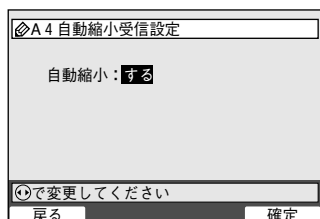
■ 解除する

1 機能 2 4 を押す

2 ◀▶で「しない」を選び 確定 を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

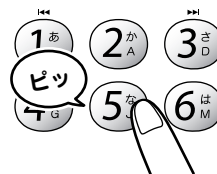
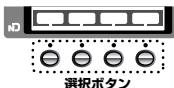
3 停止 を押す

- 原稿の長さが550 mmより短いときは、長さに応じて自動縮小して印刷されます。
- 原稿の長さが550 mmより長いときは、自動縮小されず複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

ポーリング受信

ファクス情報サービスなどから情報を受けるとき、こちらから相手のファクシミリを呼び出してファクスを受信します。
送信側のファクシミリにポーリング機能がないときには利用できないことがあります。

1 機能 2 5 を押す

2 ファクス番号を入力する

3 スタート/コピー を押す

「受けつけました」と表示後、ダイヤルが始まります。

メモ

本機では、各種のファクス情報サービスを利用できます。

- ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（「ピー」と音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、サービスセンターに電話をしたあと、＊(トーン)を押してから入力します。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に＊(トーン)を入力してください。

みるだけ受信

記録紙の有無に関係なく、本体のメモリーにファクスを受信します。（みるだけ受信）
お買い上げ時は、「する」に設定されています。
「しない」に設定しているときにファクスを受信すると記録紙に印刷されます。

■ 解除する

1

2 で「しない」を選び 確定 を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

補足

- 「みるだけ受信：しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、あとでもう一度印刷したりすることはできません。
- あらかじめ多め（64g/m2紙の場合40枚以下）に記録紙をセットしてください。（☞ 15ページ）

5章 留守番機能

留守番機能を利用する

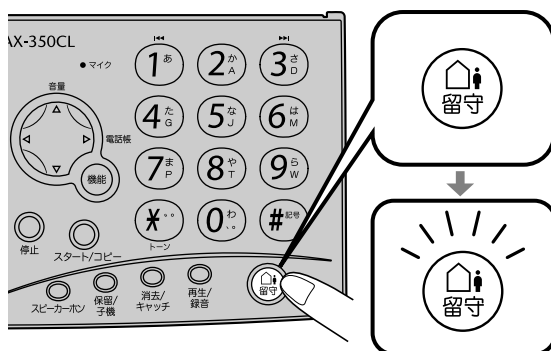
出かけるとき

留守モードを設定する

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

（留守）を押す

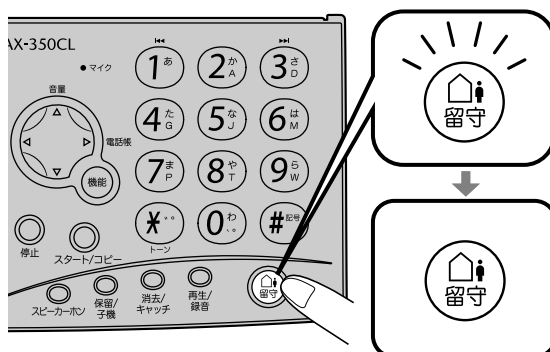
ボタンが点灯し、「留守モード」がセットされます。

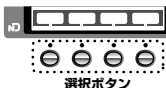
ただいま留守にしております。
電話のかたは・・・・

補足

- **留守応答メッセージについて**
  本機にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、自分の声で留守応答メッセージ（2 種類）を録音することができます。（「応答メッセージの設定」☞ 84 ページ）
  初期設定のとき：「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたは、そのまま送信してください。」
- **呼出回数について**
  着信してから、本機が自動的に応答するまでに鳴る呼出回数を設定することができます。（「呼出回数の設定」☞ 34 ページ）
- **メッセージの録音時間について**
  留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定することができます。（「メッセージの録音時間の設定」☞ 86 ページ）
  録音時間は、相手側の状況（声の質や周りの騒音など）によって変わることがあります。また、受信したファクスがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。
- **留守録モニターについて**
  留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。（「スピーカー音量の設定」☞ 110 ページ）

■ 留守モードを解除する

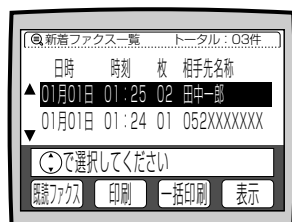
もう一度（留守）を押す

ボタンが消灯し、「留守モード」が解除されます。

補足

外出先から、留守モードを設定または解除することができます。（「外出中の便利な使いかた」☞ 87、88ページ）

帰ってきたとき

ファクスが届いているとき

1 ファクス一覧を押す

新着のファクス一覧が表示されます。

- 表示しているすべてのファクスを印刷するときに記録紙をセットして押します。
- で選択したファクスのみを印刷するときに記録紙をセットして押します。
- 印刷したあと削除するかどうかを選択します。

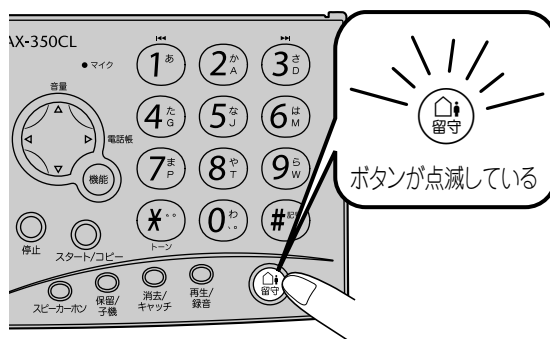
2 で見たいファクスを選び 表示 を押す

- 表示中の1ページを印刷するときに記録紙をセットして押します。（☞ 69ページ）

音声メッセージがあるとき

1 留守を押す

留守モードが解除され、新しく録音されたメッセージが再生されます。

補足

再生/録音を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージが1件もないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

■ 音声メッセージを確認する

メッセージを聞き直す 再生中のとき	1を押す
再生中でないとき	再生/録音を押す
次のメッセージを聞く	再生中に3を押す
途中でメッセージの再生をやめる	再生中に停止を押す
メッセージを消去する 再生中のとき（そのメッセージが消去される）	消去/キャッチを押し、確認してもう一度 消去/キャッチを押す
再生中でないとき（すべてのメッセージが消去される）	消去/キャッチを押し、確認して［はい］を押す

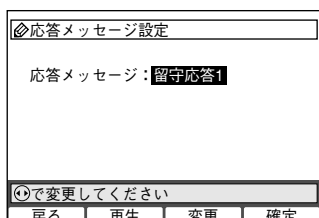
補足

子機からは、留守番機能の操作（メッセージの再生・消去、留守モードの設定・解除）はできません。

メッセージを設定する

応答メッセージの設定

本機にはあらかじめ「在宅応答メッセージ」と「留守応答メッセージ」が録音されていますが、必要に応じて自分の声で在宅応答メッセージ（1種類）と留守応答メッセージ（2種類）を録音（20秒まで）することができます。

1 機能 6 1 を押す

2 ◁▷で設定したい応答メッセージを選び 確定 を押す

留守応答1／留守応答2／在宅応答

メッセージを録音するときは、手順3へ進みます。
メッセージを消去するときは、手順8へ進みます。
メッセージを再生するときは、手順12へ進みます。

メッセージを録音するとき

3 変更 を押す

4 録音 を押す

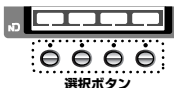
5 受話器をとり スタート/コピー を押してメッセージを録音する

6 終了したら受話器を戻す

録音内容が自動的に再生されます。

7 停止 を押す

設定を終了します。

メモ

- 再呼び出し設定（☞ 35ページ）で「相手にメッセージ」を選択して、本機が自動的に電話を受けたとき、応答メッセージを設定していない場合は、本機に設定されている固定応答メッセージが再生されます。
- 再呼び出し設定（☞ 35ページ）で「相手にベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「相手にベル」から「相手にメッセージ」に変更されます。

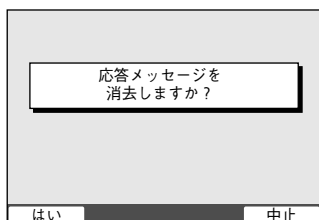
メッセージを消去するとき

8

変更 を押す

9

消去 を押す

10

はい を押す

メッセージが消去されます。

11

◯(停止) を押す

設定を終了します。

メッセージを再生するとき

12

再生 を押す

メッセージが再生されます。

13

◯(停止) を押す

設定を終了します。

メッセージを設定する

留守応答メッセージの選択

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 （留守）を押す

留守ボタンが点灯しているときは、（留守）を押し、ボタンを消灯させてから再度（留守）を押してください。

2 メッセージ再生中に（1）または（3）を押す

留守応答メッセージを選びます。

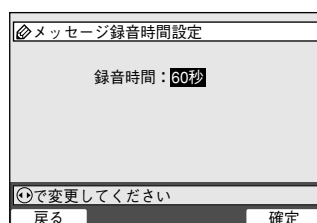
応答再生／応答再生1／応答再生2

・「**応答再生**」:
　あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
・「**応答再生1**」:
　自分で録音した留守応答メッセージ1
・「**応答再生2**」:
　自分で録音した留守応答メッセージ2

- メッセージを再生したあと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
- メッセージ再生中に（停止）を押すと、再生を中止し、前回選択したメッセージで留守モードにセットされます。

メッセージの録音時間の設定

留守モード時や通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。
お買い上げ時は、「60秒」に設定されています。
1回の最大録音時間は約3分、総録音時間は約58分です。

1 （機能）（6）（2）を押す

2 （◀▶）で録音時間を選び（確定）を押す

30／60／120／180秒

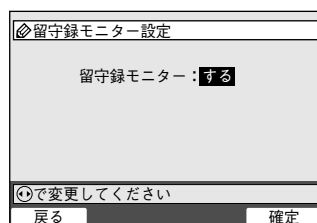
「受けつけました」と表示されます。

3 （停止）を押す

留守録モニターの設定

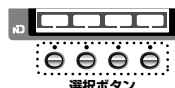
留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は、「する」に設定されています。

1 （機能）（6）（3）を押す

2 （◀▶）で設定を選び（確定）を押す

する／しない

「受けつけました」と表示されます。

3 （停止）を押す

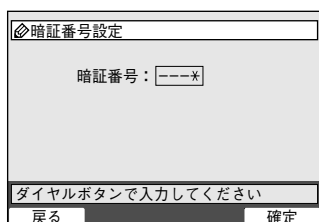
留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。（「スピーカー音量の設定」☞ 110ページ）

外出中の便利な使いかた

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

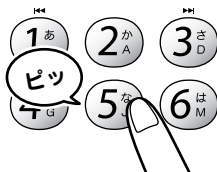
選択ボタン

暗証番号の設定

留守録転送やリモコンアクセスをするために、あらかじめ暗証番号を設定します。
お買い上げ時は、暗証番号の設定はされていません。

1 機能 6 4 を押す

以前に設定した暗証番号を変更する場合は、ディスプレイの「---*」に現在の暗証番号（3桁）が表示されます。

2 暗証番号を入力する

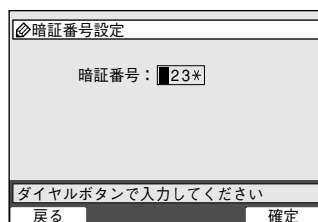
暗証番号はダイヤルボタンの0〜9、*、#を使って3桁の暗証番号と最後の「*」（固定）で構成されます。必ず、3桁の暗証番号を入力してください。

停止を押した場合、暗証番号は設定されず待ち受け画面に戻ります。

3 確定を押す

暗証番号の消去

一度入力した暗証番号を消去します。

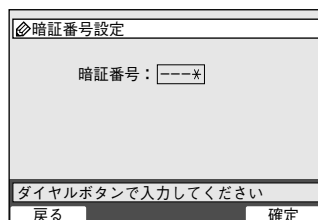
1 機能 6 4 を押す

カーソルが先頭にあることを確認してください。

2 停止を押す

暗証番号が消去されます。

3 確定を押す

4 停止を押す

メモ

暗証番号が設定されていない場合（---*）は、リモコンアクセスや留守録転送機能を使用することができません。

外出中の便利な使いかた

リモコンアクセス

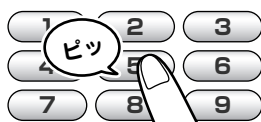
トーン信号でリモコンコードを入力し、外出先から本機を操作することができます。
本書には「リモコンアクセスカード」（☞ 171 ページ）があります。切り取ってお持ちいただくと外出先から操作するときに便利です。
リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。

1 外出先から電話する

2 本機からの応答メッセージが流れてきたら（#）（＊）を続けて押す

「暗証番号を入れてください」と音声でお知らせします。

3 暗証番号を入力する

（0）〜（9）、（＊）、（#）を使った3桁の暗証番号と最後に「＊」を入力します。

暗証番号を受けつけると音声メッセージの件数を音声でお知らせします。

4 リモコンコードを入力する

リモコンコードについて（「リモコンコード表」☞ 89ページ）

［例］録音されている音声メッセージを再生するときは（9）（1）を押します。

5 終了するときは（9）（0）を続けて押す

■ リモコンコード表

コード	操作内容	
■音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に(1)：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で (1)：前のメッセージを再生 再生中に(2)：次のメッセージを再生 再生中に(9)：再生を中止 録音されているメッセージを再生したあと、録音された日時を音声でお知らせします。
93	メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する	「消去しました」と音声でお知らせします。 一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がします。
■設定		
951	留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	(9)(5)(4)のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#)を2回押してください。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	みるだけ受信を「する」に設定する	
957	みるだけ受信を「しない」に設定する	
■メモリー操作		
962	メモリーに記憶された受信したファクスを取り出す	(9)(6)(2)のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#)を2回押して受話器を戻してください。
971	受信したファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がします。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がします。
■モード変更		
981	留守モードにする	「留守に設定しました」と音声でお知らせします。
982	在宅モードにする （留守モードを解除する）	「留守設定を解除しました」と音声でお知らせします。
■リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

「リモコンアクセスカード」（☞ 171ページ）を切り取ってお使いいただくと便利です。

外出中の便利な使いかた

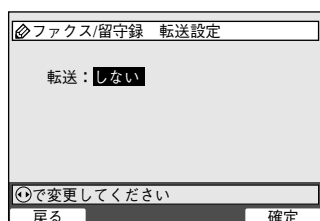
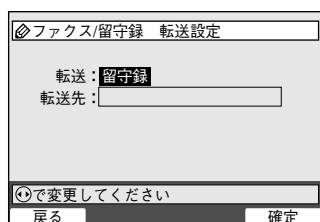
留守録転送

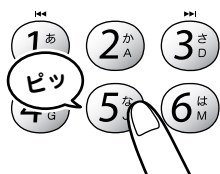
留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

- 「ファクス転送」と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話し中のとき、呼び出しても電話に出ないとき、電話に出ても暗証番号が押されないときは、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ転送できます。

■ 留守録転送する

1 機能 6 5 を押す

2 ◀▶で「留守録」を選び▼を押す

しない／ファクス／留守録

3 転送先の電話番号を入力し 確定 を押す

・「受けつけました」と表示されます。
・暗証番号が設定されていないときは、「留守録転送の設定ができません！　暗証番号を登録してください」が表示され、暗証番号の入力画面になります。暗証番号を設定してください。（「暗証番号の設定」☞ 87ページ）

4 ○（停止）を押す

留守モードに設定すると、留守録転送を表示します。

■ 転送先で確認する

1 電話がかかってきたら、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

0～9、＊、＃を使った3桁の暗証番号と最後に「＊」を入力してください。（「暗証番号の設定」☞ 87ページ）

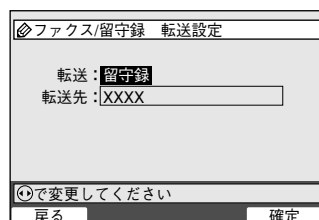
2 メッセージを聞く

・2件以上あるときは連続して再生されます。
・再生終了後に電話は自動的に切れます。

■ 解除する

1 機能 6 5 を押す

ファクス/留守録　転送設定
転送：留守録
転送先：XXXX
で変更してください
戻る　確定

2 ◀▶で「しない」を選び 確定 を押す

しない／ファクス／留守録

「受けつけました」と表示され、留守録転送の表示が消えます。

3 ○（停止）を押す

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

ファクス転送

ファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

- 「留守録転送」と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、5分おきに3回まで再ダイヤルされます。

■ ファクス転送する

1 機能 6 5 を押す

2 ◀▶で「ファクス」を選び▼を押す

しない／ファクス／留守録

3 転送先のファクス番号を入力し 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止を押す

ファクス転送 を表示します。

■ 解除する

1 機能 6 5 を押す

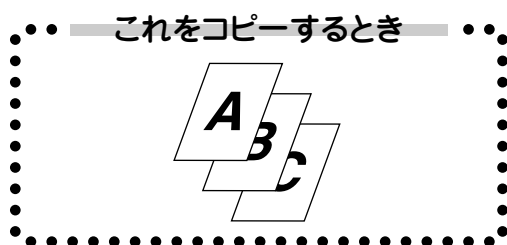
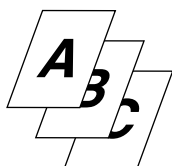
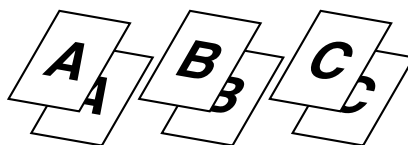
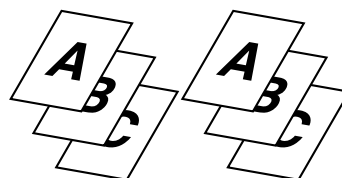
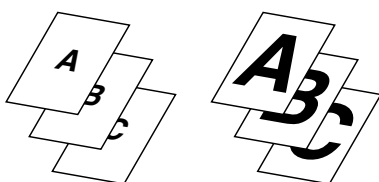
2 ◀▶で「しない」を選び 確定 を押す

しない／ファクス／留守録

「受けつけました」と表示され、ファクス転送 の表示が消えます。

3 停止を押す

6章 コピー

こんなコピーができます

そのままコピー

複数コピー

（スタック）
原稿ページの各ページごとにスタック（積み重ね）できます。

（ソート）
原稿ページの順にソート（並べ替え）できます。

拡大・縮小コピー

コピーする

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

コピーする

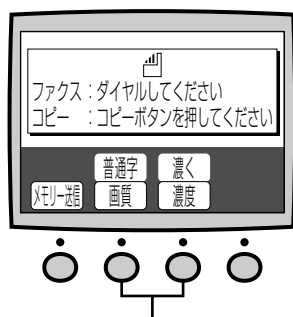
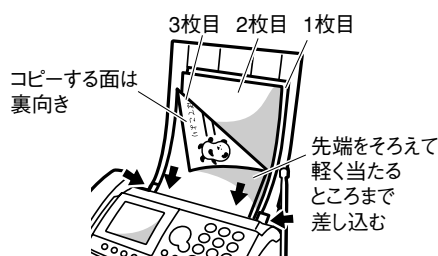
1 記録紙をセットする

・「記録紙をセットする」☞ 14ページ
・「記録紙について」☞ 15ページ

2 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

補足

一度にセットできる原稿は10枚までです。

ボタンを押すと一時的に画質や濃度を調整できます。（☞ 120ページ）

補足

- コピーのときは、「普通字」「細かい字」に設定しても「精細字」でコピーされます。
- 複数コピーのときは、「普通字」に設定しても「細かい字」でコピーされます。

3 ○（スタート/コピー） を押す

拡大・縮小コピーや複数コピーなどをしない場合は、ここでもう一度 ○（スタート/コピー） を押すと、そのままコピーが開始されます。

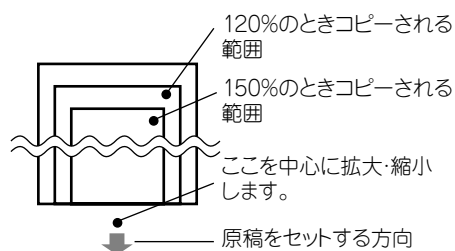
4 コピー内容を設定をする

- **コピーする枚数**　1～9で入力します
- **拡大・縮小率**　◁▷で選びます
  100%、120%、125%、150%、50%、75%、87%、93%、自動
- **並べ替え（ソート）**
  2枚以上の原稿を複数（2部以上）コピーするとき、ページ順に1部ごと仕分けてコピーすることができます。

5 ○（スタート/コピー） を押す

補足

- コピーが始まります。ソートを「する」にしているときは原稿を読み取ったあとにコピーが開始されます。
- 途中で中止するときは ○（停止） を押します。

- 拡大・縮小は原稿を差し込んだ辺（へん）の中央を基準に行います。
- 拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。

こんなときは

1 枚目の原稿を読み取っているときに「メモリーが無くなりました！　停止ボタンを押してください」と表示されたときは○（停止）を押してコピーを中止し、不要なメモリーを削除します。（「データの消去」☞ 69ページ）

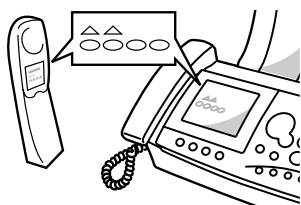
すでに 1 枚以上原稿を読み取っているときはそのページだけコピーできます。続けるときは ○（スタート/コピー） を押してください。

7章 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは

NTTが行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示します。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。

- 本機の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイ」は利用できません。**NTTとのご契約が必要です。（有料）**
  同時に利用できないサービスについては、NTTにお問い合わせください。
- ISDN回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

■電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。

■名前表示機能

親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。

※電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。

■着信鳴り分け機能

電話番号ごとに着信音や着信先（親機のみ、子機のみなど）を指定できます。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。
着信音は、次の中から指定して登録します。

- 記憶されているベル音（親機4種類、子機1種類）
- 着信メロディ、着信ボイス（親機32曲・18ボイス、子機3曲）
- 親機から読み込んだメロディ（子機4曲）

■迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。

■非通知着信拒否／公衆電話拒否機能

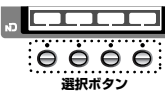
相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ISDN回線でご利用のターミナルアダプタによっては、着信を拒否できない場合があります。

■着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。
記録した電話番号は次のように活用できます。

- ディスプレイに表示する
- 「着信履歴」として印刷する（親機のみ）
- 親機または子機の電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける

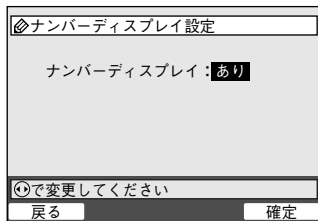
着信履歴は30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に消去されます。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

ナンバー・ディスプレイを設定する

NTTとのご契約後、ナンバー・ディスプレイを利用するときは「あり」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「なし」に設定します。「あり」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」などが設定できます。

お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ「あり」に設定されています。

■ 設定する

1 機能 8 1 を押す

2 ◁▷でナンバー・ディスプレイの設定を選び 確定 を押す

あり／なし

・「あり」: ナンバー・ディスプレイが使用できます。(別途、NTTとのご契約が必要です。)
・「なし」: ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。
・「受けつけました」と表示されます。

3 ○(停止)を押す

メモ

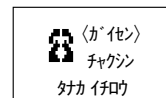
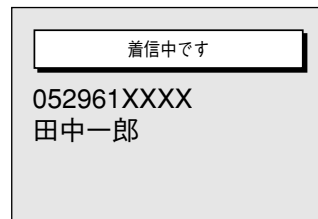
- 「なし」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「着信拒否」「着信拒否モニター」などのメニューは表示されません。
- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、呼出回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手の電話番号が表示できないことがあります。
- 「186」または「184」などを付けて電話帳に登録するときは、同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。
  例)○ 186 XXX(市外局番) XXX(市内局番) XXXX(相手先番号)
  × 186 XXX(市内局番) XXXX(相手先番号)
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。
- ネーム・ディスプレイの契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。(☞ 103ページ)

■ 電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示します。

1 着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。

着信中です
052961XXXX
田中一郎

● **その他の表示**

・**非通知**
相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
・**公衆電話**
公衆電話からかけてきたとき
・**表示圏外**
相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施のCATV電話サービスからかけてきたとき
・**161(Fネット)**
Fネットでファクスを受信したとき

注意

ナンバー・ディスプレイをご契約いただいている場合は、**必ずナンバー・ディスプレイ「あり」に設定してください。**ナンバー・ディスプレイ「なし」に設定すると、電話に出ても、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

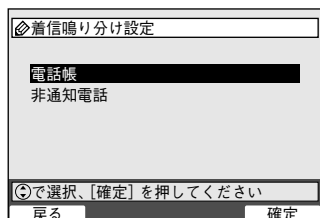
ナンバー・ディスプレイを利用する

相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（親機）

ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしているときは、着信音を鳴らす電話機（親機または子機）を指定したり、電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を指定できます。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。

■ 設定する

お買い上げ時は、「すべて」「ベル1」に設定されています。

1 （機能）（8）（2）を押す

2 （上下）で着信音を設定する「電話帳」「非通知電話」のどちらかを選択し［確定］を押す

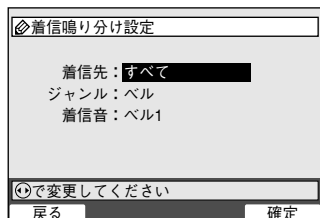
「電話帳」を選んだときは、手順3に進みます。（電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を設定します。）

「非通知電話」を選んだときは、手順5に進みます。（電話番号非通知で着信したときの着信音を設定します。）

補足

「非通知着信拒否（☞ 101ページ）」の設定を「する」に設定していると、「非通知電話」で設定した着信音は鳴りません。設定した着信音を鳴らしたいときは、「非通知着信拒否（☞ 101 ページ）」の設定を「しない」に設定してください。

3 （上下）で着信音を設定したい電話番号を選び［確定］を押す

4 （左右）で着信先を選び（下）を押す

すべて／親機／子機1／…／子機4／ファクス／迷惑指定

- 「すべて」：親機、子機ともに着信音が鳴ります。
- 「親機／子機1／…／子機4」：指定した親機や子機のみ着信音が鳴ります。
- 「ファクス」：着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 「迷惑指定」：着信音が鳴りません。（「迷惑電話を防止する［迷惑電話］」☞ 100ページ）

「すべて／親機」を選んだときは、手順5へ進みます。

「子機1／…／子機4／ファクス／迷惑指定」を選んだときは、手順8へ進みます。

5 （左右）で着信音のジャンルを選ぶ

ジャンルについて（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

ベル4／着信ボイス12／楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／季節のメロディ12／目覚ましボイス6

6 （下）を押す

7 （左右）で着信音を選ぶ

着信音について（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

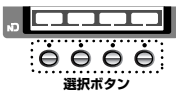
ベル4／メロディ32／ボイス18

8 ［確定］を押す

「受けつけました」と表示されます。

9 （停止）を押す

メモ

- 着信先に「子機」または「すべて」を指定した場合、子機の着信音は子機で設定します。（☞ 112ページ）
- 電話帳に登録していて、着信鳴り分けを設定していない相手から電話がかかってきた場合は、「着信音」（☞ 112 ページ）で設定したベル音（メロディまたはボイス）が鳴ります。
- 「TEL1」、「TEL2」の両方に電話番号が登録されているとき、着信鳴り分けは「TEL1」のみ設定できます。「TEL2」から電話がかかってくると、「TEL1」で設定した音で鳴ります。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（子機）

親機でナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしているときは、誰から電話がかかってきたかがわかるように電話帳に登録した電話番号ごとに着信音を指定することができます。お買い上げ時は、「ﾍﾞﾙ」に設定されています。

■ 設定する

1 機能/確定を押す

2 で「ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ」を選び機能/確定を押す

着信鳴り分けの設定画面が表示されます。

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ
ﾒﾛﾃﾞｨ ﾖﾐｺﾐ

3 で着信音を設定したい相手を選び機能/確定を押す

TEL2が登録されているときは、手順4へ進みます。TEL2が登録されていないときは、手順5へ進みます。

4 で着信音を設定したい電話番号を選び機能/確定を押す

5 で着信音を選び機能/確定を押す

ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ1～3／曲名
（曲名は親機から読み込んだメロディがあるときのみ）

6 切を押す

子機のメロディ 1～3には下記のメロディが登録されています。
・メロディ 1（威風堂々）、メロディ 2（四季より「春」）、メロディ 3（花のワルツ）

ナンバー・ディスプレイを利用する

迷惑電話を防止する［迷惑電話］

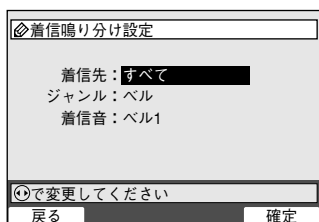
ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしているときは、迷惑電話などの受けたくない電話やファクスの受信を、着信音が鳴らないように設定することができます。
下記の手順で親機で設定します。

■ 設定する

1 機能 8 2 を押す

2 で「電話帳」を選択し 確定 を押す

電話帳に登録内容がないときは「登録されていません」と表示されます。

3 で着信音を鳴らしたくない電話番号を選び 確定 を押す

4 で「迷惑指定」を選び 確定 を押す

すべて／親機／子機1／…／子機4／ファクス／迷惑指定

「受けつけました」と表示されます。

5 停止 を押す

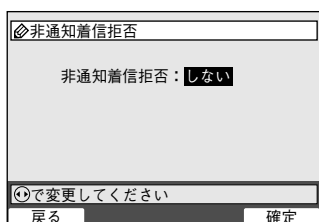
- 呼出し中、相手の電話には通常の呼出音が聞こえます。
- 着信音は鳴りませんが、親機のディスプレイには、相手の名前または電話番号が表示されます。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

番号非通知の電話を拒否する［非通知着信拒否］

ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしているときは、相手が電話番号非通知でかけてきている場合、着信を拒否してお断りメッセージで対応します。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

■ 設定する

1 機能 8 3 を押す

2 で「する」を選び 確定 を押す

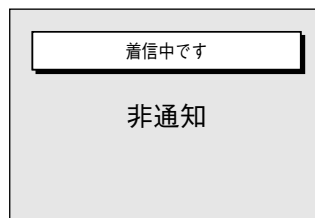
する／しない

- 「する」：番号非通知の電話は着信を拒否します。
- 「しない」：番号非通知の電話も着信します。
- 「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

■ 電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、親機の着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 を付けて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを3回再生したあと、自動的に電話を切ります。

※着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。（「着信拒否モニターを設定する［着信拒否モニター］」☞ 102ページ）

着信中です

非通知

■ ファクスのときは

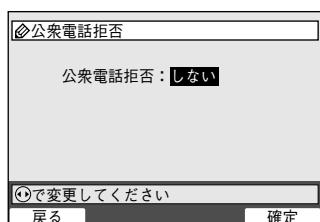
ファクスが送られてくると、ファクスの信号を受信したとき、自動的に電話を切ります。ファクスは受信しません。

ナンバー・ディスプレイを利用する

公衆電話からの着信を拒否する［公衆電話拒否］

ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしているときは、相手が公衆電話からかけてきている場合、着信を拒否してお断りメッセージで対応します。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

■ 設定する

1 機能 8 4 を押す

2 ◀▶で「する」を選び 確定 を押す

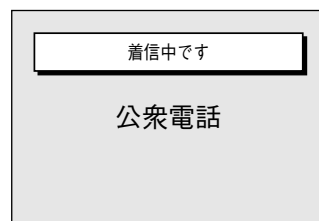
する／しない

・「する」：公衆電話からの着信を拒否します。
・「しない」：公衆電話からも着信します。
・「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

■ 電話がかかってきたときは

電話がかかってくると、親機の着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを3回再生したあと、自動的に電話を切ります。
※着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。下記の「着信拒否モニター」を参照してください。

着信中です

公衆電話

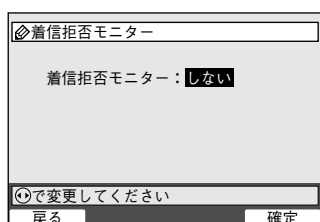
■ ファクスのときは

ファクスが送られてくると、ファクスの信号を受信したとき、自動的に電話を切ります。ファクスは受信しません。

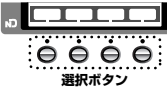
着信拒否モニターを設定する［着信拒否モニター］

ナンバー・ディスプレイの設定を「あり」にしているときは、着信拒否モニターを「する」に設定すると、非通知着信拒否または公衆電話拒否のときの着信拒否メッセージと相手のかたの声を本機のスピーカーから聞くことができます。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。
※スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

■ 設定する

1 機能 8 5 を押す

2 ◀▶で「する」を選び 確定 を押す

する／しない

・「する」：着信を拒否するメッセージが本機のスピーカーから聞こえます。
・「しない」：着信を拒否するメッセージは聞こえません。
・「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

ネーム・ディスプレイ（親機のみ）を利用する

ネーム・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号を本機の電話帳に登録していなくてもディスプレイに表示されます。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。

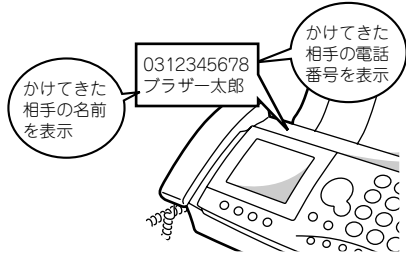
子機は対応していません。

かける人

❶ 相手の電話番号をダイヤル

受ける人

❸発信電話番号とともに「発信者名」を表示

かけてきた相手の名前を表示
0312345678 ブラザー太郎
かけてきた相手の電話番号を表示

電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

- **提供地域**
  全国（NTT東日本、NTT西日本のサービス提供地域）
  ※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。
- **発信者名を表示する通話**
  NTT東日本およびNTT西日本の契約者回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。
- **表示される文字**
  10文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。
- **料金**
  月額使用料：住宅用、事務用とも100円（INSネット1500については1,000円）
  ※別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
  (参考)ナンバー・ディスプレイ料金

（1）月額使用料	加入電話、ライトプラン	400円（住宅用）、1,200円（事務用）
	INSネット64、INSネット64ライト	600円（住宅用）、1,800円（事務用）
	INSネット1500	18,000円
（2）工事料		2,000円

お問い合わせは

ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター
0120-848-521（ハッシンバンゴウツウチ）
受付時間　9:00 ～ 17:00
（日曜祝日は休業とさせていただきます）

お申し込みは

局番なしの「116：無料」
受付時間　9:00 ～ 17:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

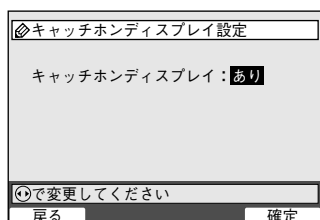
ナンバー・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイはNTTが行っているサービスで、外線通話中にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ「なし」に設定されています。

- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイ」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホンⅡ」（「キャッチホンを利用する」☞ 59ページ）と「ナンバー・ディスプレイ」（「ナンバー・ディスプレイを利用する」☞ 96ページ）をご契約した上で、**別途NTTとのご契約が必要です。（有料）**
  同時に利用できないサービスについては、NTTにお問い合わせください。
- ISDN回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタが必要になります。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホン・ディスプレイが入ると「ピポッ、ザー」とデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- スピーカーホン通話中、キャッチホン・ディスプレイはご利用できません。

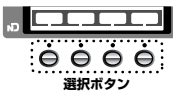
■ 設定する

1 （機能）（8）（6）を押す

2 （◀▶）でキャッチホン・ディスプレイの設定を選び［確定］を押す

あり／なし

・「あり」：キャッチホン・ディスプレイが使用できます。
・「なし」：キャッチホン・ディスプレイが使用できなくなります。
・「受けつけました」と表示されます。

3 （停止）を押す

ネーム・ディスプレイの契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。（☞ 103ページ）

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

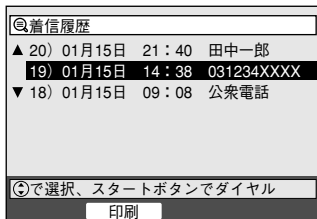
選択ボタン

着信履歴を利用する（親機）

着信履歴を利用して電話をかけることができます。また、親機の電話帳（「■登録する」☞ 52ページ）に登録したり、着信履歴（最新の30件）を印刷することができます。

● ナンバー・ディスプレイのご契約をしていないとき、または着信履歴がないときは「ナンバー・ディスプレイの着信履歴がありません」と表示されます。
● 操作を中止するには停止を押します。

■ 履歴を見る

1 着信履歴を押す

2 で着信履歴を確認する

停止を押すと、元の表示に戻ります。

■ 電話する

1 着信履歴を押す

2 で電話をかけたい相手を選ぶ

3 受話器をとって スタート/コピー を押す

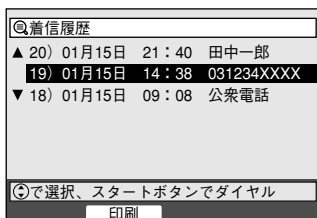
電話がかかります。

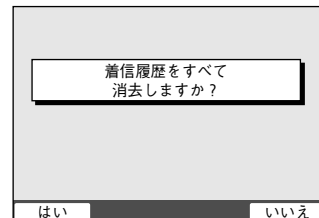
■ 履歴を削除する

1 着信履歴を押す

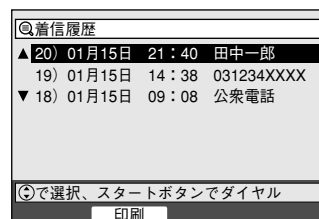
2 で削除したい着信履歴を選び 消去/キャッチ を押す

3 はいを押す

4 停止を押す

■ 履歴を全削除する

1 機能 8 7 を押す

2 はいを押す

着信履歴データが削除され、「受けつけました」と表示されます。

3 停止を押す

■ 履歴を印刷する

1 着信履歴を押す

2 印刷を押す

3 記録紙をセットし開始を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

ナンバー・ディスプレイを利用する

着信履歴を利用する（子機）

着信履歴を利用して電話をかけたり、子機の電話帳（「■登録する」☞55ページ）に登録することができます。

- ナンバー・ディスプレイのご契約をしていないとき、または着信履歴がないときは「ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ ﾅｼ!」と表示されます。
- 操作を中止するには切を押します。
- 子機の着信履歴は印刷できません。

■ 履歴を見る

1 キャッチ/着信履歴を押す

2 上下キーで着信履歴を確認する

切を押すと、元の表示に戻ります。

■ 電話する

1 キャッチ/着信履歴を押す

2 上下キーで着信履歴を選ぶ

3 外線を押す

電話がかかります。

■ 履歴を削除する

1 キャッチ/着信履歴を押す

2 上下キーで着信履歴を選び 内線/クリア 保留 を押す

・「ｻｸｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ」と表示されます。
・切を押すと、元の表示に戻ります。

■ 履歴を全削除する

1 機能/確定を押す

2 上下キーで「ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷｸﾘｱ」を選び機能/確定を押す

ｽﾍﾞﾃ ｻｸｼﾞｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

3 ア1を押す

「ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷ ｻｸｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ」と表示されます。

上記「■ 電話する」の手順2で着信履歴を表示しているときに機能/確定を押すと、電話番号非通知モードになります。もう一度、機能/確定を押すと、電話番号通知モードに戻ります。電話番号通知モードのときは、外線を押すと電話番号の前に「186」を付けて発信されます。電話番号非通知モードのときは、外線を押すと電話番号の前に「184」を付けて発信されます。

8章 活用する

音量を設定する

着信音量の設定

着信時のベルやメロディ・ボイス、内線呼出の音量を調整します。

■ 親機

・お買い上げ時は、「▃▅」（2段階目）に設定されています。
・待ち受け画面のときに設定することができます。

1 音量▲を押す

2 ▲▼で音量を調整する

・音量はOFFと4段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

■ 子機

・お買い上げ時は、「■■■」（3段階目）に設定されています。
・充電器に置いているとき、または 外線 が消灯しているときに設定できます。

1 ▶音量を押す

2 ◀▶で音量を調整する

・音量はOFFと4段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。
・着信音量を「OFF」に設定したときは、ディスプレイに「🔕」が表示されます。

メモ

● 着信音量を「OFF」に設定していても、次の音は最小音量で鳴ります。
　・本機が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」というベル音（親機のみ）
　・電話予約時の着信音（親機のみ）
　・内線や取り次ぎの着信音
● 子機が充電器にセットされていないときに着信した場合は、非常に小さな着信音（お知らせ音）が鳴ったあと、設定した着信音が鳴ります。
● 電波を使用しているため、子機の着信音は親機より遅れて鳴る場合があります。

受話音量の設定

受話器や子機を持って通話するときの音量を調整します。

■ 親機

・お買い上げ時は、「▂▄」（2段階目）に設定されています。
・受話器で通話中のときに設定できます。

1 通話中に音量▲を押す

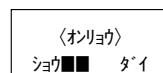
2 ▲▼で音量を調整する

・音量は3段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと「通話中です」になります。

■ 子機

・お買い上げ時は、「■■」（2段階目）に設定されています。
・通話中に設定できます。

1 通話中に◯音量を押す

〈ｵﾝﾘｮｳ〉
ｼｮｳ■■　　ﾀﾞｲ

2 ◀▶で音量を調整する

・音量は4段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと通話中になります。

● 子機の受話音量は聞きとりやすいように大きめに設定してあります。特に3段階目、4段階目に設定すると、「キーン」という音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を2段階目または1段階目に設定してご使用ください。
● 相手先との回線状況によっては音量は変化します。その場合は必要に応じて音量を調整してください。

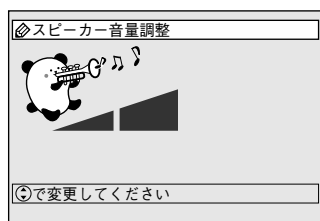
音量を設定する

スピーカー音量の設定

スピーカーの音量やスピーカーホンで通話するときの音量、留守録モニターの音量を調整します。

■ 親機

・お買い上げ時は、「▲▲」（2段階目）に設定されています。
・スピーカーホン を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

1 スピーカーホン 音量▲ を押す

2 ▲▼ で音量を調整する

・音量はOFFと4段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと「通話中です」になります。
・スピーカーホン を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は通話が切れます。

■ 子機

・お買い上げ時は、「■■」（2段階目）に設定されています。
・スピーカー を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

1 スピーカー 音量 を押す

〈オンリョウ〉
ショウ■■　　ダイ

2 ◀▶ で音量を調整する

・音量は4段階の調整ができます。
・約2秒間操作しないと通話中になります。
・切 を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は通話が切れます。

● 子機のスピーカー音量は聞きとりやすいように大きめに設定してあります。特に3段階目、4段階目に設定すると、「キーン」という音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を2段階目または1段階目に設定してご使用ください。
● 親機のスピーカー音量を「OFF」に設定している場合でも、スピーカーホン を押すと最小音量で「ツー」という音が聞こえます。
● 子機で外線通話中または、子機間通話中に スピーカー を押すとスピーカー音量は、毎回1段階目になります。音量が小さい場合は、 ▶ を押して調整してください。

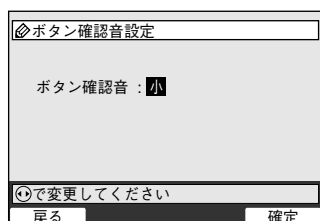
を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

ボタン確認音量の設定

ボタンを押したときの音量を調整します。また、ファクス送受信時に「ピー」というブザー音の音量を調整します。

■ 親機

お買い上げ時は、「小」に設定されています。

1 機能 1 4 を押す

2 ◀▶でボタン確認音量を設定し 確定 を押す

切／小／中／大

「受けつけました」と表示されます。

3 停止を押す

■ 子機

- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。
- 充電器に置いているとき、または外線が消灯しているときに設定することができます。

1 機能/確定を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

2 ▲▼で「ﾎﾞﾀﾝｶｸﾆﾝｵﾝ」を選び機能/確定を押す

ｶｸﾆﾝｵﾝ? ▼▲
■ON
OFF

3 ▲▼でボタン確認音を設定し機能/確定を押す

ON／OFF

「ｾｯﾃｲ ｼﾏｼﾀ」と表示されます。

親機のボタン確認音量は、選択中に音量の変化を確認できますが、1分以内に［確定］を押さなかった場合、または停止を押した場合は、元の音量に戻り、待ち受け画面に戻ります。

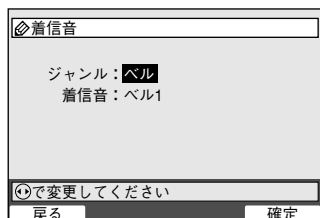
着信音と保留音を設定する

着信音の設定

着信したときの着信音の鳴りかたを設定します。

■ 親機

・お買い上げ時は、ジャンル「ベル」、曲「ベル1」に設定されています。
・受話器を置いた状態で設定します。

1 機能 7 1 を押す

現在選択されている着信音が表示され、着信音が聞けます。

2 でジャンルを選ぶ

ジャンルについて（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

ベル4／着信ボイス12／楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／季節のメロディ12／目覚ましボイス6

3 を押す

4 で着信音を選ぶ

着信音について（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

ベル1～4／メロディ・ボイス1～50（曲名・ボイス）

5 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 停止 を押す

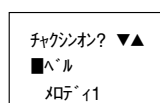
■ 子機

・お買い上げ時は、「ベル」に設定されています。
・お買い上げ時、着信音として利用できるのは「ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ1～3」のみです。「メロディ一覧」（☞ 115ページ）の曲を子機の着信音として設定する場合は、「子機にメロディを転送する」（☞ 114ページ）を行って親機からメロディを取り込んだあと、着信音を設定します。
・充電器に置いているとき、または 外線 が消灯しているときに設定できます。

1 機能/確定 を押す

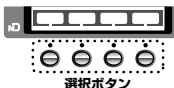
2 で「ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ」を選び 機能/確定 を押す

ﾁｬｸｼﾝｵﾝ? ▼▲
■ﾍﾞﾙ
ﾒﾛﾃﾞｨ1

3 で着信音を選び 機能/確定 を押す

ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ1～3／曲名
（曲名は親機から読み込んだメロディがあるときのみ）

「ｾｯﾃｲ ｼﾏｼﾀ」と表示されます。

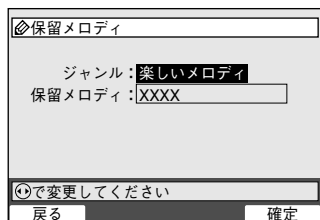
● ハンズフリー着信を設定していると、着信音はお買い上げ時のベル音が鳴ります。（「ハンズフリーで電話を受ける」☞ 60ページ）
● 呼出回数を０回に設定していると、メロディまたはボイスに設定していても回線が再呼び出しに切り替わるとベル音が鳴ります。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を3回以上に設定してください。（「呼出回数の設定」☞ 34ページ）
● ディスプレイには曲名が表示されます。
● 子機のメロディ 1～3には下記のメロディが登録されています。
　・メロディ 1（威風堂々）、メロディ 2（四季より「春」）、メロディ 3（花のワルツ）

構内交換機（PBX）やターミナルアダプタなどに接続している場合で、着信音を「ﾍﾞﾙ1」に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる「ﾍﾞﾙ1」の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。
選択ボタン

保留音の設定

保留音のメロディを設定します。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

● 親機で設定した保留音が、子機の保留音になります。
● 受話器を置いた状態で設定します。

1 (機能)(7)(2)を押す

2 でジャンルを選ぶ

ジャンルについて（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／季節のメロディ12

メモ
目覚ましボイス・ベル・着信ボイスは、保留音に設定することができません。

3 を押す

4 で保留音を選ぶ

保留音について（「メロディ一覧」☞ 115ページ）

メロディ1～32（曲名）

5 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

6 停止を押す

メモ
ディスプレイには曲名が表示されます。

着信音と保留音を設定する

子機にメロディを転送する

親機に登録されているメロディの中からお好きな曲を選んで、4曲まで子機に登録することができます。登録されたメロディは子機の着信音として使用できます。（子機で使用する場合は、メロディは単音になります。）メロディの登録は、子機側の操作で、1曲ずつ行います。

■ 登録する

1 機能/確定を押す

2 ◎で「ﾒﾛﾃﾞｨ ﾖﾐｺﾐ」を選び機能/確定を押す

3 ◎で登録したいメロディを選び機能/確定を押す

- メロディについて（「メロディ一覧」☞ 115ページ）
- 選んだメロディが再生されます。
- 再生中にメロディを登録せず、新しくメロディを選び直すときは、◎を押します。

4 機能/確定を押す

- すでに4曲登録しているときは、◎で上書きする曲名を選び、機能/確定を押します。
- 着信音や着信鳴り分けに設定されているときは、「ﾁｬｸｼﾝｵﾝ ｾｯﾃｲｻﾚﾃﾏｽ ｳﾜｶﾞｷ? 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ」から選択します。
- メロディデータが読み込まれ、読み込んだメロディが再生されます。

```
ﾒﾛﾃﾞｨ ｻｲｾｲ

ｶｸﾃｲ? ｸﾘｱ?
```

内線/クリア保留を押すと、読み込んだメロディがキャンセルされ、手順2に戻ります。

5 機能/確定を押す

- 登録を終了します。
- 子機に登録したメロディを着信音として使用するには、着信音の設定をする必要があります。（「着信音の設定」☞ 112ページ）

■ メロディを消去する

1 機能/確定を押す

2 ◎で「ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ」を選び機能/確定を押す

登録されているメロディが表示されます。

3 ◎で消去したいメロディを選び内線/クリア保留を押す

```
ｼｮｳｷｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ
```

着信音や着信鳴り分けに設定されているときは、以下の画面が表示されます。

着信音に設定されているとき

```
ﾁｬｸｼﾝｵﾝﾆｾｯﾃｲ
ｻﾚﾃﾏｽ ｼｮｳｷｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

着信鳴り分けに設定されているとき

```
ﾅﾘﾜｹﾆ ｾｯﾃｲ
ｻﾚﾃﾏｽ ｼｮｳｷｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

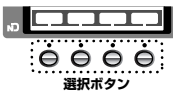
アラームに設定されているとき

```
ｱﾗｰﾑﾆ ｾｯﾃｲ
ｻﾚﾃﾏｽ ｼｮｳｷｮ?
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

4 ｱ1を押す

選んだメロディが消去されます。

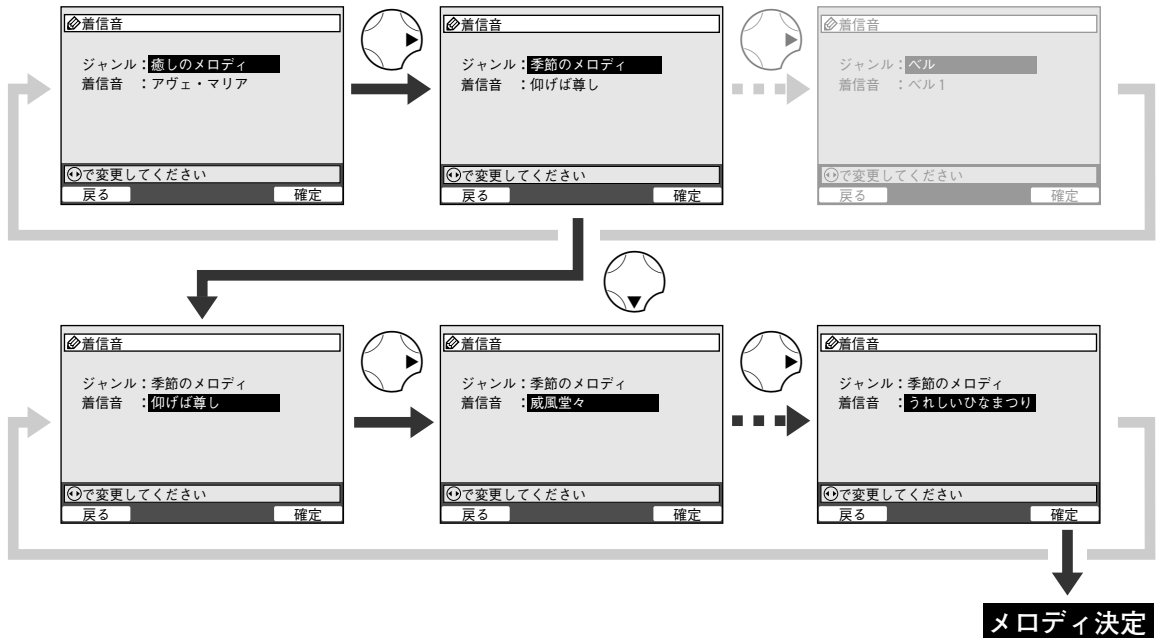
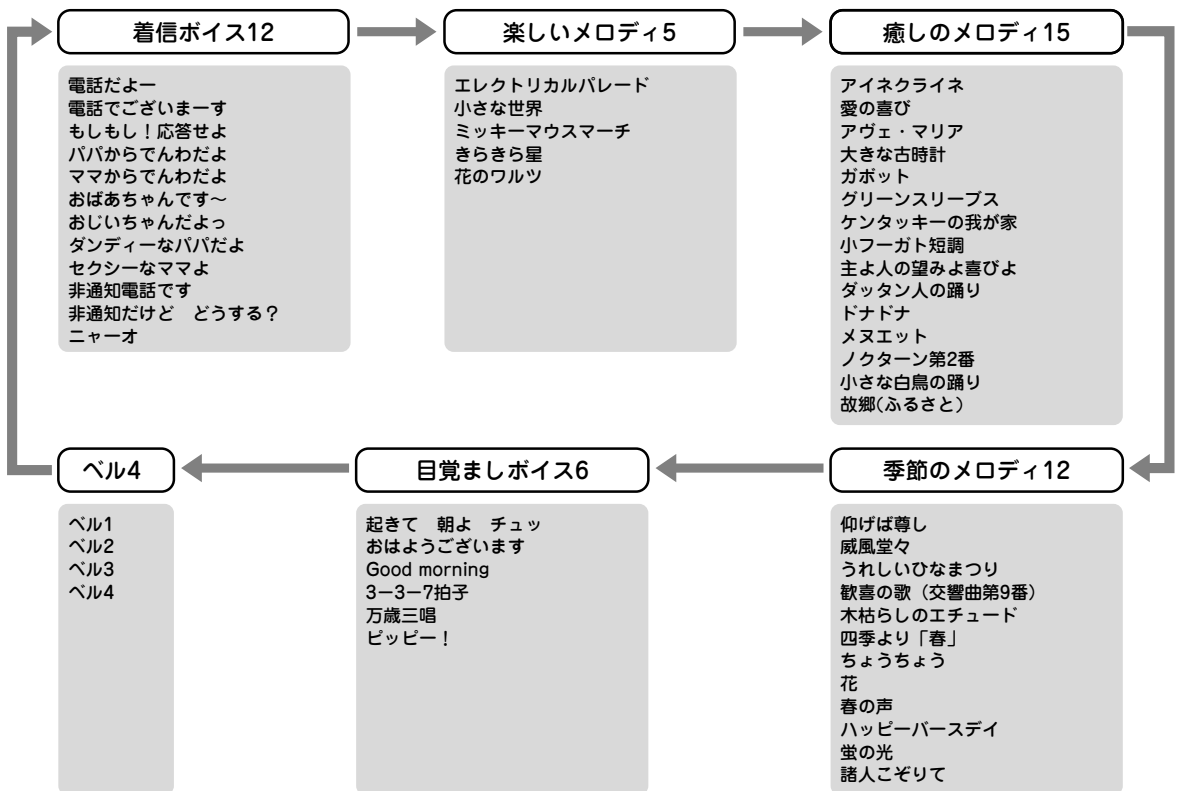
メモ

- 着信音や着信鳴り分けとして設定されているメロディが上書き（更新）されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書きされたメロディが着信音や着信鳴り分けとして設定されます。
- 子機で「ﾒﾛﾃﾞｨ ﾖﾐｺﾐ」を行ったときに、「ｵﾔｷ ｼﾖｳﾁｭｳ」または「ｵﾔｷｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示された場合は、親機が「待ち受け画面」（☞ 25ページ）になっているか確認してください。
- 着信音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに着信音「ﾍﾞﾙ」が設定されます。また、着信鳴り分けとして設定されているメロディが消去されたときは、設定している全体の着信音が着信鳴り分けのメロディになります。
- 親機から読み込んだメロディ以外の着信音は消去できません。
- 消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信音の選択メニューには表示されません。
- 着信ボイス、目覚ましボイスは子機に転送することができません。

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

■ メロディの選びかた

例えば、現在は「アヴェ・マリア」が設定されていて、新しく「うれしいひなまつり」を設定したいときは、下記のようになります。

メロディ選択画面（着信音の場合）

■ メロディ一覧

着信ボイス12
- 電話だよー
- 電話でございまーす
- もしもし！応答せよ
- パパからでんわだよ
- ママからでんわだよ
- おばあちゃんです〜
- おじいちゃんだよっ
- ダンディーなパパだよ
- セクシーなママよ
- 非通知電話です
- 非通知だけど　どうする？
- ニャーオ

楽しいメロディ5
- エレクトリカルパレード
- 小さな世界
- ミッキーマウスマーチ
- きらきら星
- 花のワルツ

癒しのメロディ15
- アイネクライネ
- 愛の喜び
- アヴェ・マリア
- 大きな古時計
- ガボット
- グリーンスリーブス
- ケンタッキーの我が家
- 小フーガト短調
- 主よ人の望みよ喜びよ
- ダッタン人の踊り
- ドナドナ
- メヌエット
- ノクターン第2番
- 小さな白鳥の踊り
- 故郷(ふるさと)

季節のメロディ12
- 仰げば尊し
- 威風堂々
- うれしいひなまつり
- 歓喜の歌（交響曲第9番）
- 木枯らしのエチュード
- 四季より「春」
- ちょうちょう
- 花
- 春の声
- ハッピーバースデイ
- 蛍の光
- 諸人こぞりて

目覚ましボイス6
- 起きて　朝よ　チュッ
- おはようございます
- Good morning
- 3−3−7拍子
- 万歳三唱
- ピッピー！

ベル4
- ベル1
- ベル2
- ベル3
- ベル4

□ = ジャンル　■ = メロディ

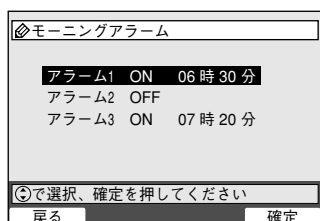
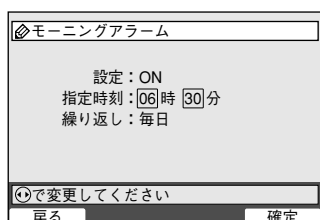
モーニングアラームを設定する

モーニングアラーム

決まった時刻に指定したメロディや目覚ましボイスを鳴らします。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

■ 親機

■ 設定する

1 機能 7 3 を押す

2 で設定するアラームを選び 確定 を押す

3 で「ON」を選び を押す

OFF／ON

4 メロディまたはボイスを鳴らす時刻を指定する

時間は24時間制で入力します。

（例）午前9時5分のときは 0 9 0 5 と入力します。
午後3時45分のときは 1 5 4 5 と入力します。

5 でメロディまたはボイスを鳴らす間隔を選び 確定 を押す

毎日／1回のみ／平日（月～金）／月～土／土日／月曜日のみ／…／日曜日のみ

- 「毎日」：指定した時刻に毎日鳴ります。
- 「1回のみ」：指定した時刻に1回のみ鳴ります。
- 「平日（月～金）」：月～金曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- 「月～土」：月～土曜日まで指定した時刻に鳴ります。
- 「土日」：土、日曜日に指定した時刻に鳴ります。
- 「月曜日のみ／…／日曜日のみ」：毎週、指定した曜日、時刻に鳴ります。

6 でジャンルを選び を押す

ジャンルについて（「メロディー覧」☞ 115ページ）

ベル4／着信ボイス12／楽しいメロディ5／癒しのメロディ15／季節のメロディ12／目覚ましボイス6

7 でメロディまたはボイスを選び 確定 を押す

メロディまたはボイスについて（「メロディー覧」☞ 115ページ）

ベル1～4／メロディ･ボイス1～50(曲名･ボイス)

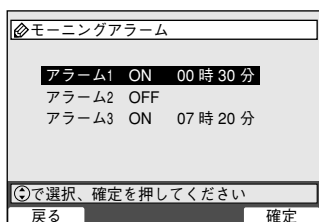
8 で音量を選び 確定 を押す

- 音量は4段階の調整ができます。
- 「受けつけました」と表示されます。

9 停止 を押す

を表示します。

■ 解除する

1 機能 7 3 を押す

2 で解除したいアラームを選び 確定 を押す

3 で「OFF」を選び 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 停止 を押す

の表示が消えます。（3つのアラームがすべてOFFのとき）

メモ

- 指定した時刻になるとメロディまたはボイスが約３分間鳴ります。また、３分以内に２つ以上のアラームを設定したときは、最初のメロディまたはボイスが鳴っている間に、次に指定した時刻になると次のメロディまたはボイスに切り替わります。途中でやめるときはいずれかのボタンを押します。
- モーニングアラームの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディまたはボイスが鳴ります。
- モーニングアラームの指定時刻を同一時刻に2つ以上設定したときは、若い番号（アラーム１～3）のメロディまたはボイスのみが鳴ります。
  例）
  ・アラーム1、アラーム2を同一時刻に設定したときは、アラーム1が鳴ります。
  ・アラーム2、アラーム3を同一時刻に設定したときは、アラーム2が鳴ります。
- 電源コードを抜いたり停電になったあと数時間経過すると、モーニングアラームの設定は「OFF」になります。もう一度設定し直してください。

モーニングアラームを設定する

■ 子機

モーニングアラームを3件まで設定することができます。

■ 設定する

（例）アラーム２に午前７時30分で毎日鳴らすように設定します。

1 機能/確定を押す

2 ◎で「ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ」を選び機能/確定を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ

3 ◎で「ｱﾗｰﾑ1」～「ｱﾗｰﾑ3」を選び機能/確定を押す

（例）◎で「ｱﾗｰﾑ2」の文字に■を合わせて機能/確定を押します。

ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ▼▲
■ｱﾗｰﾑ1 ON
ｱﾗｰﾑ2 OFF

4 ◎で「ON」を選び機能/確定を押す

ｱﾗｰﾑ2?
ｾｯﾃｲ: ON
▼ ▲ﾃﾞﾍﾝｺｳ

5 ◎で１回または曜日を選び機能/確定を押す

（例）◎で「ﾏｲﾆﾁ」を選び機能/確定を押します。

ｱﾗｰﾑ2?
ﾖｳﾋﾞ:ﾏｲﾆﾁ
▼ ▲ﾃﾞﾍﾝｺｳ

- **「1ｶｲ」**：１回のみメロディが鳴ります。鳴り終わると設定がOFFになります。
- **「ﾏｲﾆﾁ」**：毎日、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- **「月～金」**：月曜日から金曜日の間、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- **「月～土」**：月曜日から土曜日の間、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- **「土、日」**：土曜日と日曜日のみ、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- **「月～日」**：指定した曜日、時刻にメロディが鳴ります。

6 ダイヤルボタンでメロディを鳴らす時刻を指定して機能/確定を押す

時間は24時間制で入力します。

（例）0 7 3 0と入力し機能/確定を押します。
（午後3時45分のときは1 5 4 5と入力し機能/確定を押します。）

ｱﾗｰﾑ2?
ｼﾞｺｸ: 07:30
0~9ﾃﾞﾍﾝｺｳ

ディスプレイに⏰が表示されます。

7 ◎でメロディを選び機能/確定を押す

メロディについて（「メロディ一覧」☞ 115ページ

ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ1～3／曲名
（曲名は親機から読み込んだメロディがあるときのみ）

選んだメロディが再生されます。

8 ◎で音量を選び機能/確定を押す

[ｱﾗｰﾑｵﾝﾘｮｳ]
ｼｮｳ■■　ﾀﾞｲ

- 「ｱﾗｰﾑ2 ﾄｳﾛｸｼﾏｼﾀ」と表示されます。
- モーニングアラームが設定されて手順３の画面に戻ります。
- 設定を終了するときは切を押します。設定したあと、1分間操作をしなくても待ち受け画面に戻ります。

■ 解除する

（例） アラーム 2 に設定したモーニングアラームを解除する。

1 機能/確定を押す

2 で「ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ」を選び機能/確定を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ

3 でモーニングアラームを解除する「ｱﾗｰﾑ1」～「ｱﾗｰﾑ3」を選び機能/確定を押す

（例） で「ｱﾗｰﾑ2」の文字に■を合わせて機能/確定を押します。

ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ▼▲
■ｱﾗｰﾑ1 ON
ｱﾗｰﾑ2 ON

4 で「OFF」を選び機能/確定を押す

ｱﾗｰﾑ2?
ｾｯﾃｲ: OFF
▼ ▲ﾃﾞﾍﾝｺｳ

5 切を押す

待ち受け画面に戻ります。

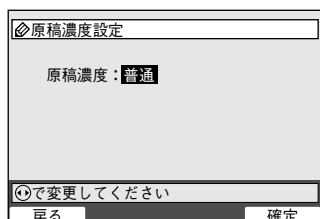
- メロディは3分間鳴ります。メロディを途中で止めるときはいずれかのボタンを押します。
- 複数のモーニングアラームを 3 分間隔で設定しているときはメロディが鳴らない場合があります。なるべく、4分間以上の間隔をあけて時刻を設定してください。
- 複数のモーニングアラームが 2 分以内の間隔に設定しているときは、メロディが鳴っていても次の設定時刻に設定したメロディに切り替わります。
- モーニングアラームの指定時刻に電話・通信・設定などをしているときは、操作が終了してからメロディが鳴ります。
- 同じ時刻に複数のモーニングアラームを設定しているときは、メロディの優先順位が「ｱﾗｰﾑ1」→「ｱﾗｰﾑ2」→「ｱﾗｰﾑ3」の順になります。

原稿に合わせて調整する

ファクス送信やコピーするときの画質や濃度を調整します。

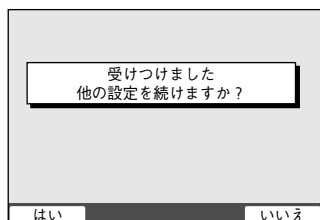
濃度の調整

ファクス送信、コピーの濃度を設定します。
お買い上げ時は、「普通」に設定されています。
ファクス送信、またはコピー終了後も設定は保持されます。

1 機能 3 3 を押す

2 ◀▶で原稿濃度を選ぶ

濃く／普通／薄く

3 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

4 いいえ を押す

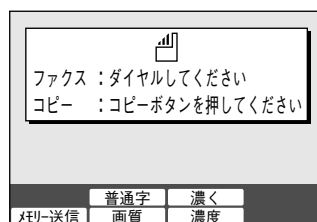
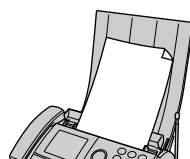
他の設定をするときは［はい］を押して続けます。

原稿に合わせて画質を調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。
お買い上げ時は、「普通字」に設定されています。

- ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。
- コピーのときは、「普通字」「細かい字」に設定しても「精細字」でコピーされます。
- 複数コピーのときは、「普通字」に設定しても「細かい字」でコピーされます。

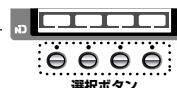
1 原稿カバーを開けて、原稿を裏向きにセットし、原稿ガイドを原稿のサイズに合わせる

・「原稿のセットのしかた」☞ 15ページ
・「原稿について」☞ 162ページ

2 画質 を押す

読み取る細かさを選択します。

普通字／細かい字／精細字／写真

画質を選ぶ目安は次の通りです。

・「普通字」：大きくはっきりと見える文字
・「細かい字」：雑誌のように小さい文字
・「精細字」：新聞のように細かい文字
・「写真」：写真やカラーの原稿

レポート、リストを印刷する

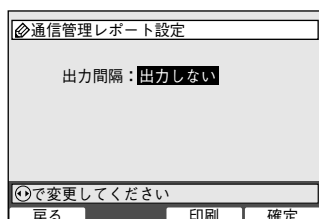
□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。
選択ボタン

送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。
お買い上げ時は、「出力しない」に設定されています。

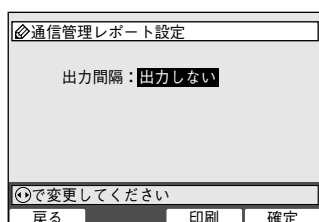
■ すぐに印刷するとき

1 機能 5 2を押す

2 印刷を押す

3 記録紙をセットし開始を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

■ 出力間隔を設定するとき

1 機能 5 2を押す

2 で通信管理レポートの出力間隔を選ぶ

出力しない／6時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／2日ごと／1週間ごと／30件ごと

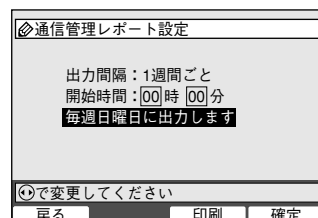
「一週間ごと」を選んだときは、手順3へ進みます。

「6/12/24時間ごと、2日ごと」を選んだときは、手順6へ進みます。

「30件ごと、出力しない」を選んだときは、手順8へ進みます。

一週間ごとに印刷するとき

3 を押し開始時刻を指定しを押す

時間は24時間制で入力します。

4 で出力する曜日を選び確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

5 停止を押す

設定を終了します。

6/12/24時間ごと、2日ごとに印刷するとき

6 を押し開始時刻を指定し確定を押す

- 時間は24時間制で入力します。
- 「受けつけました」と表示されます。

7 停止を押す

設定を終了します。

それ以外の設定のとき

8 確定を押す

「受けつけました」と表示されます。

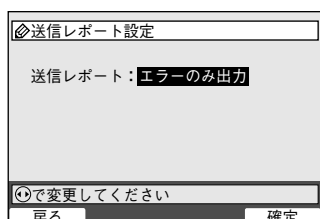
9 停止を押す

設定を終了します。

レポート、リストを印刷する

送信レポート

送信レポートの設定をします。
お買い上げ時は、「エラーのみ出力」に設定されています。

1 機能 5 1 を押す

2 ◁▷で送信レポートの設定を選び 確定 を押す

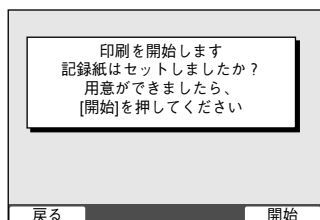
出力する／エラーのみ出力／出力しない

・「出力する」：常に結果レポートを印刷します。
・「エラーのみ出力」：送信エラーがあるときだけ結果レポートを印刷します。
・「出力しない」：結果レポートを印刷しません。
・「受けつけました」と表示されます。

3 ◯(停止)を押す

電話帳リスト

電話帳に登録された内容を印刷します。

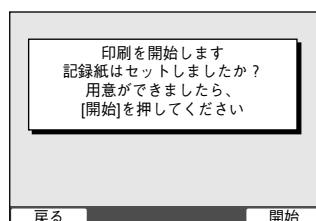
1 機能 5 3 を押す

2 記録紙をセットし 開始 を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

3 ◯(停止)を押す

設定内容リスト

現在設定されている内容を印刷します。

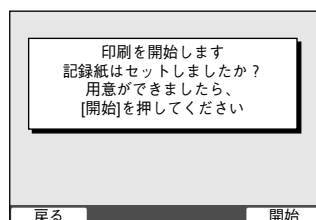
1 機能 5 4 を押す

2 記録紙をセットし 開始 を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

3 ◯(停止)を押す

メモリー使用状況リスト

本体のメモリー使用状況を印刷します。

1 機能 5 5 を押す

2 記録紙をセットし 開始 を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

3 ◯(停止)を押す

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

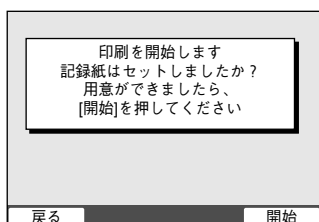
ご注文シート

リボンカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくためのオーダーシート（「ご注文シート」☞ 170ページ）を印刷します。

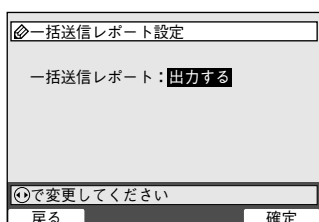
1 (機能)(5)(6)を押す

2 記録紙をセットし［開始］を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

3 ○（停止）を押す

一括送信レポート

一括送信したときの結果レポートを、どのように印刷するか設定します。
お買い上げ時は、「出力する」に設定されています。

1 (機能)(5)(7)を押す

2 ◁▷で出力のしかたを選び［確定］を押す

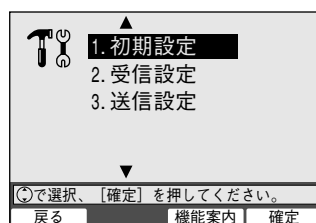
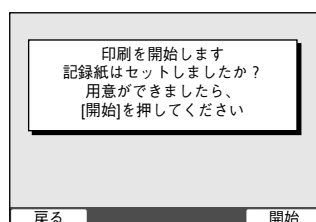
出力する／エラーのみ出力

- 「出力する」：常に結果レポートを印刷します。
- 「エラーのみ出力」：通信エラーがあるときだけレポートを印刷します。
- 「受けつけました」と表示されます。

3 ○（停止）を押す

機能案内リスト

機能の解説や、文字入力表を印刷します。

1 (機能)を押す

2 ［機能案内］を押す

3 記録紙をセットし［開始］を押す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

4 ○（停止）を押す

ディスプレイの明るさを変更する

コントラストを調整する

ディスプレイのコントラストを設定します。親機は8段階、子機は7段階の設定ができます。

■ 親機

お買い上げ時は、「5」に設定されています。

1 機能 1 7 を押す

2 ◀▶で画面のコントラストを選び 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

3 停止 ○を押す

■ 子機

お買い上げ時は、「4」に設定されています。

1 機能/確定 を押す

[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ

2 ▲▼で「ｶﾞﾒﾝﾉｺﾝﾄﾗｽﾄ」を選び 機能/確定 を押す

ｺﾝﾄﾗｽﾄﾁｮｳｾｲ
4
← →ﾃﾞﾁｮｳｾｲ

約1分間操作しないと元の画面に戻ります。

3 ◀▶で明るさを設定し 機能/確定 を押す

ｶﾞﾒﾝﾉｺﾝﾄﾗｽﾄ
ｾｯﾃｲ ｼﾏｼﾀ

ディスプレイのコントラストが設定されます。

子機ライトを設定する

子機のバックライトを点灯させたままの状態にすることができます。
この機能は、ディスプレイが待ち受け画面のときに設定することができます。

1 機能/確定 を2秒以上押す

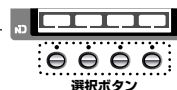
バックライトが点灯し、ディスプレイの表示が消えます。（バッテリーの残量が少なくなっているときは が表示されます。）

補足

子機を充電器に置いたままでも、子機ライトを設定することができます。

操作パネルのいずれかのボタンを押す、または子機を充電器に戻すとバックライトが消灯します。

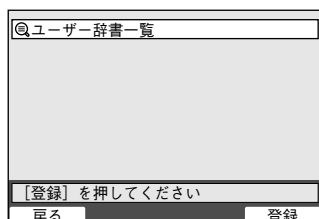
メモ

子機が充電器に置いていないときにバッテリーの残量が少なくなると子機ライトの設定は解除されます。

ユーザー辞書に登録する

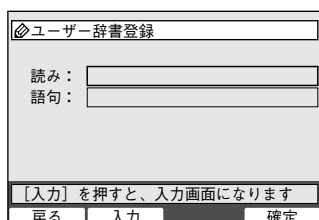
□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

変換してもすぐに出てこない単語などを登録すると、すばやく入力することができます。

■ 登録する

1 機能 1 6 を押す

何も登録されていない場合は「登録されていません」と表示されます。

2 登録 を押す

ユーザー辞書登録
読み：
語句：
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る　入力　確定

3 入力 を押して読みを入力し 確定 を押す

- 全角ひらがなが使用できます。
- 「文字の入れかた（親機）」☞ 158ページ

4 ▼を押す

5 入力 を押して語句を入力し 確定 を押す

「文字の入れかた（親機）」☞ 158ページ

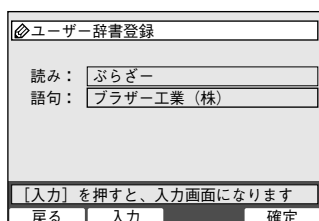
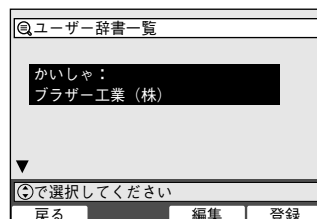
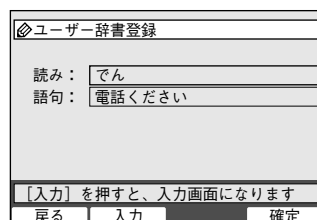
ユーザー辞書登録
読み：ぶらざー
語句：ブラザー工業（株）
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る　入力　確定

6 確定 を押す

「受けつけました」と表示されます。

7 停止 を押す

■ 修正する

1 機能 1 6 を押す

2 ▲▼で修正したい語句を選び 編集 を押す

「読み」の入力枠が選択されています。

以降の操作は、「■登録する（☞ 125ページ）」の手順3と同様の手順で変更します。

■ 削除する

1 機能 1 6 を押す

2 ▲▼で削除したい語句を選び 消去/キャッチ を押す

3 はい を押す

選択した語句が削除されます。

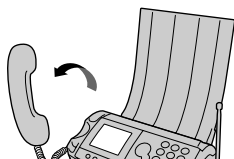
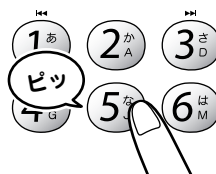
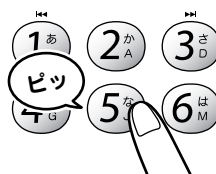
4 停止 を押す

他のサービスを利用する

トーン信号によるサービスを利用する

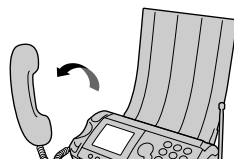
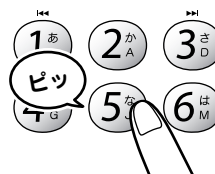
本機では、トーン（プッシュ）信号による各種サービス（銀行 ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットサービス、照会案内サービス案内、ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール、留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。
具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

■ プッシュ回線のとき

1 受話器をとる

2 各種サービスの電話番号をダイヤルする

3 サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す

■ ダイヤル回線のとき

1 受話器をとる

2 各種サービスの電話番号をダイヤルする

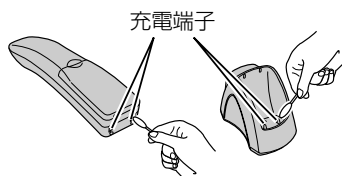
3 (＊ トーン)を押す

4 サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す

9章 こんなときには

お手入れのしかた

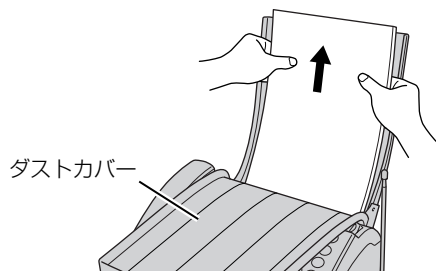
本機を清掃する

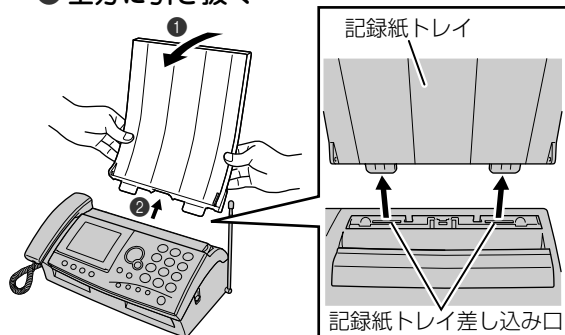
● 本体は乾いた布で軽く拭いてください。

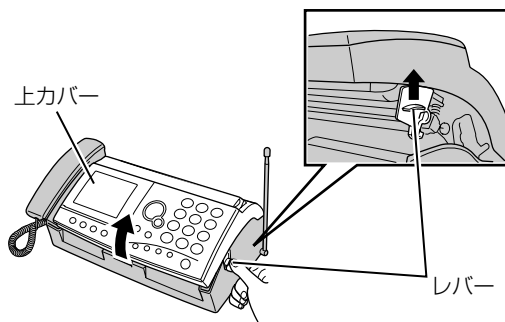
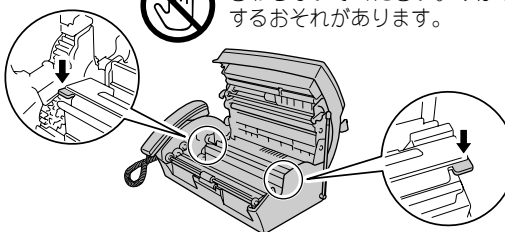
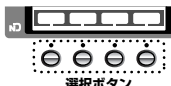
● 充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。子機の充電端子が汚れていると、充電できなかったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。

原稿読取部を清掃する

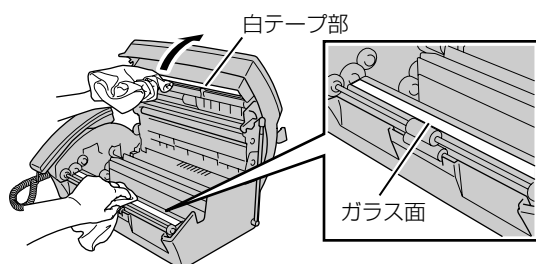
読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。

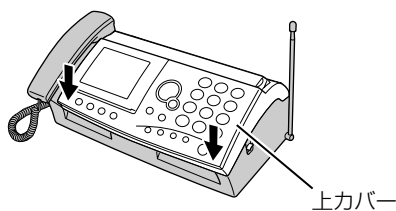
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤やアルコールを使用したり、それらを染み込ませた布などで拭いたりしないでください。

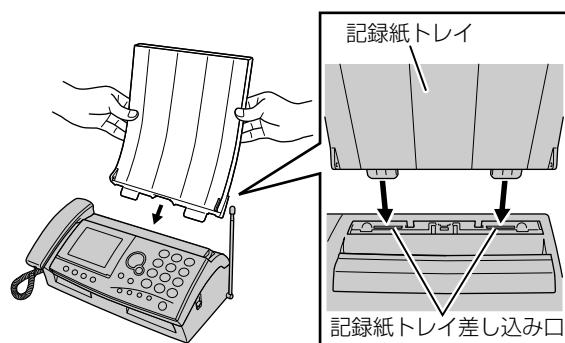
1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く

2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

❶ 記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾ける
❷ 上方に引き抜く

3 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

4 白テープ部とガラス面を拭く

水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。

5 上カバーを閉めて［いいえ］を押す

- 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

6 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。

7 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

記録部を清掃する

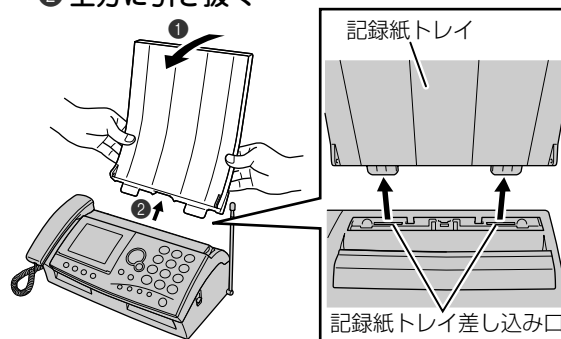
記録部が汚れていると、本機から出力された用紙にたて縞が入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く

2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

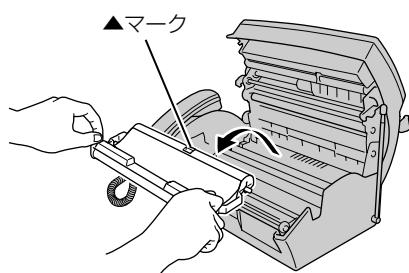
❶ 記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾ける
❷ 上方に引き抜く

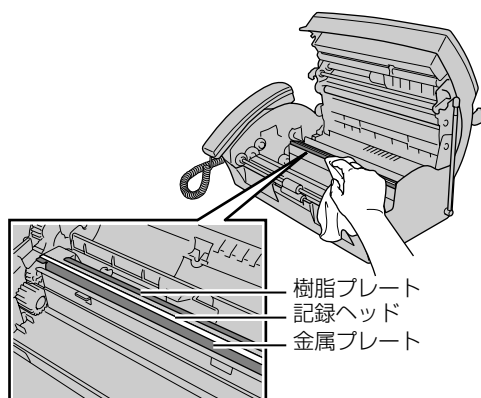
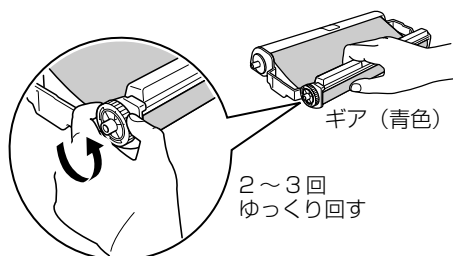
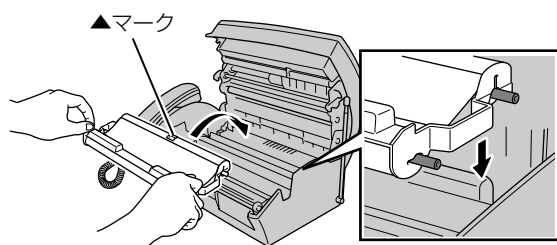
記録紙トレイ

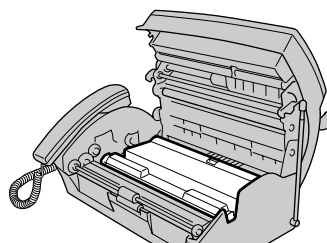
記録紙トレイ差し込み口

3 上カバーを開ける

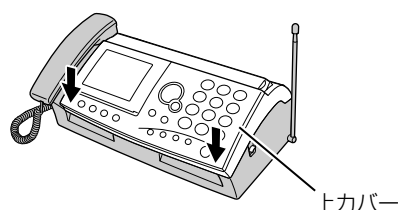
右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

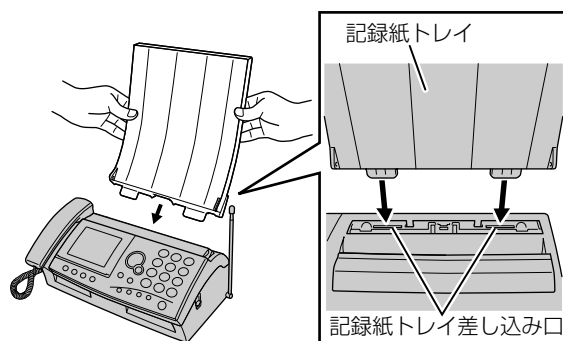
お手入れのしかた

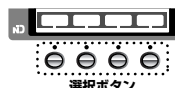
4 リボンカートリッジを取り外す

5 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

- アルコールなどを浸した柔らかい布で拭きます。
- 無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどを使用してください。

6 ギア（青色）を矢印の向きに2〜3回、回してリボンのたるみを取る

7 リボンカートリッジを本体にセットする

8 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。

9 上カバーを閉めて［いいえ］を押す

- 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

10 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。

11 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

紙がつまったら

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。
選択ボタン

原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

- 原稿がつまったとき......「原稿を送れません！停止ボタンを押してやり直してください」
　「原稿がつまりました！カバーを開けて手前に引き出してください」
- 記録紙がつまったとき ....「記録紙がつまっています！カバーを開け、つまった紙を取り除いてください」

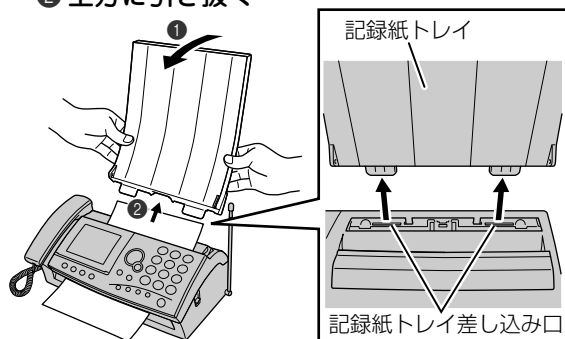
原稿がつまったときは

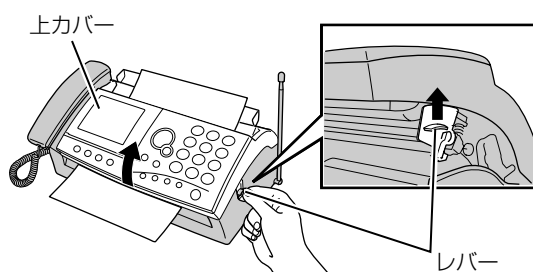
1 残っている原稿を取る

すでに引き込まれている原稿は、無理に抜かないでください。

2 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く

3 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

❶ 記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾ける
❷ 上方に引き抜く

4 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

5 つまっている原稿を手前に引いて取り除く

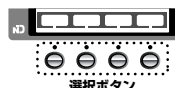
6 上カバーを閉めて いいえ を押す

- 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

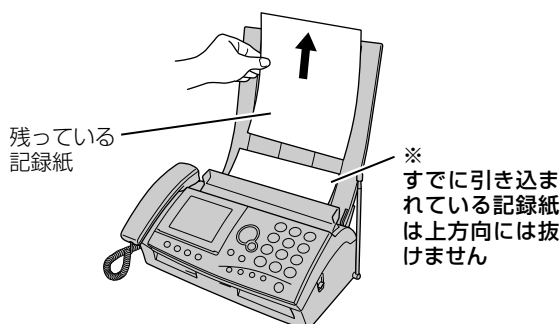
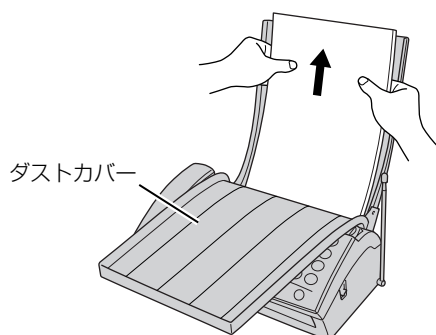
7 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。（「記録紙トレイを取り付ける」☞ 14ページ）

8 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

紙がつまったら

記録紙がつまったときは

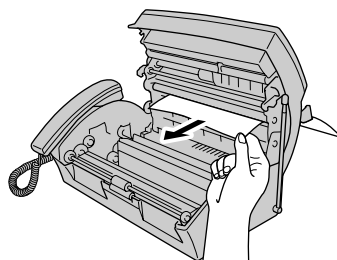
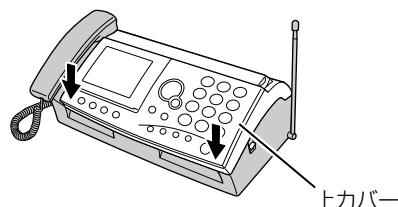
1 記録紙トレイに残っている記録紙を取る

2 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く

3 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

❶ 記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾ける
❷ 上方に引き抜く

4 上カバーを開ける

右側のレバーを矢印の方向へ持ち上げて、上カバーを開きます。

5 つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

カバー内に破れた記録紙などが残っていないことを確認してください。

6 上カバーを閉めて いいえ を押す

- 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
- 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

7 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。「記録紙トレイを取り付ける」☞ 14ページ

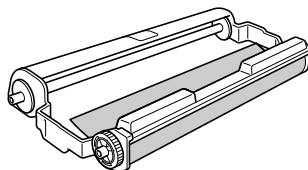
8 記録紙をセットし直す

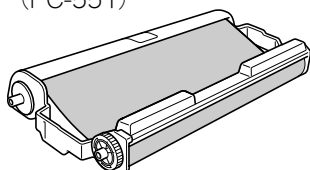
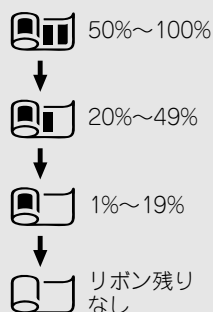
「記録紙をセットする」☞ 14ページ

リボンがなくなったら

リボンが完全になくなると、ディスプレイに「リボン（品番：PC-551）がありません！上カバーを開け新しいリボンのたるみを取りセットしてください」と表示されますので、すみやかにリボンカートリッジを交換してください。
「リボンカートリッジ（PC-551）」では、約128枚の印刷が可能です。（「消耗品などのご注文について」☞ 169ページ）

補足

リボンが完全になくなると、青色のギア側にリボンがすべて巻き取られた状態になります。

〈リボン交換用当社指定品〉

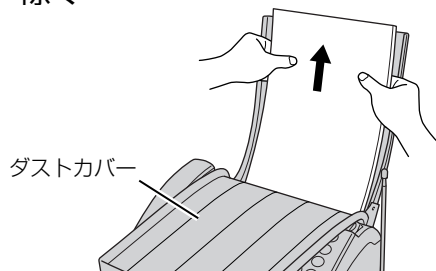
リボンカートリッジ
（PC-551）

- 「リボンカートリッジ（PC-551）」は当社指定品をお使いください。（☞ 170ページ）なお、当社製であってもPC-551以外は使用できませんのでご注意ください。
- 当社指定以外のリボンカートリッジをお使いいただくと、故障の原因になります。

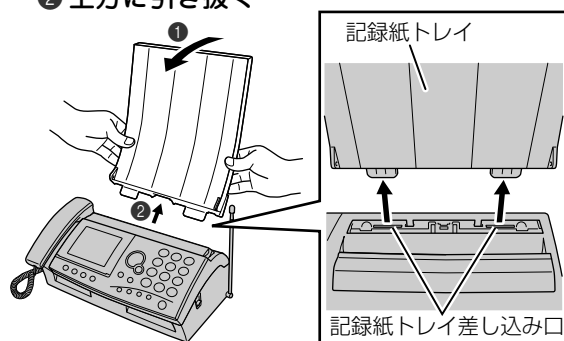
メモ

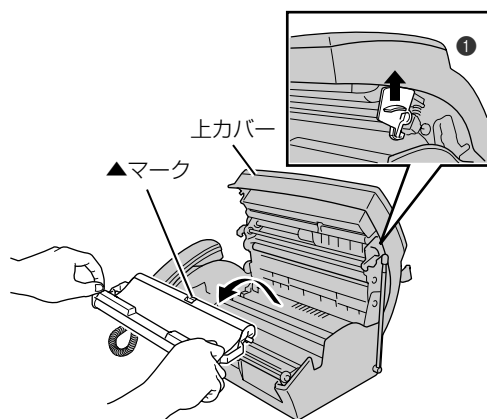
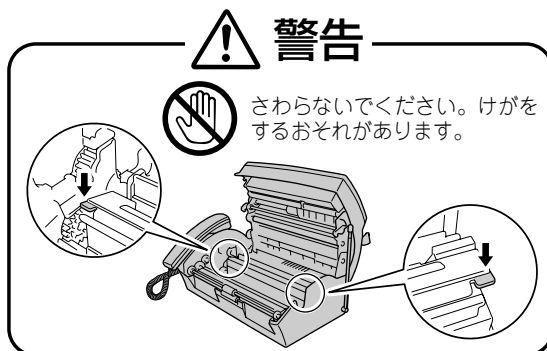
- お買い上げ時には、約30枚分印刷できる「お試し用リボン」がセットされており、そのリボンに応じたリボン残量がディスプレイに表示されます。
- リボンカートリッジを交換したら、必ずリボンカウンタをリセットしてください。リセットしないと、誤った残量や警告が表示されることがあります。（135ページの「リボンカートリッジを交換する」の手順9を参照してください。）
- カバー開閉や電源コードを抜き差しなどの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。
- リボンが切れても、A4サイズの原稿で約60枚分（※）までは本体のメモリーに受信したファクスを記憶できます。
  （ただし、留守録やメモリー受信したファクスがある場合、または相手から送られてきた原稿の内容によっては、60枚分受信できないことがあります。）
  ※ A4サイズ700文字程度の標準原稿（☞ 163ページ）を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積された場合の枚数です。原稿の内容または画質によって蓄積できる枚数が異なります。メモリーを留守録と共用しているため音声メッセージの録音がある場合、メモリー受信の枚数が減少します。

リボンがなくなったら

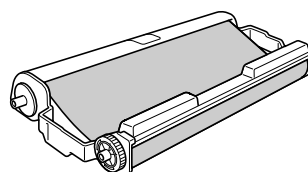
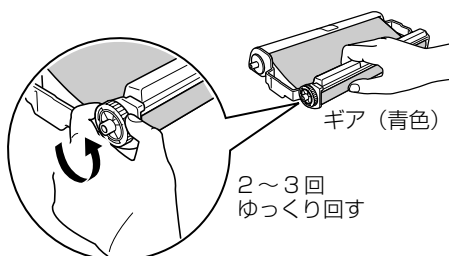
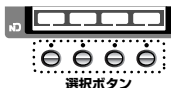
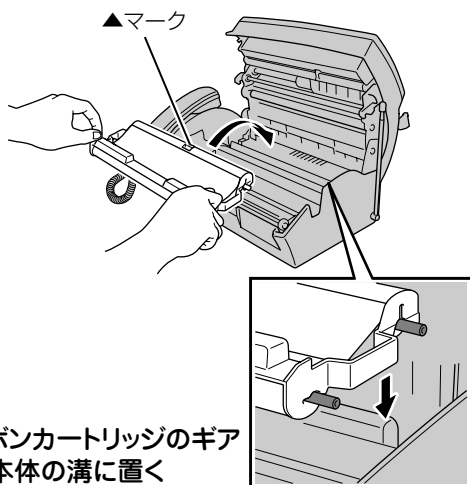
リボンカートリッジを交換する

1 ダストカバーを開けて、記録紙を取り除く

2 ダストカバーを閉めて、記録紙トレイを取り外す

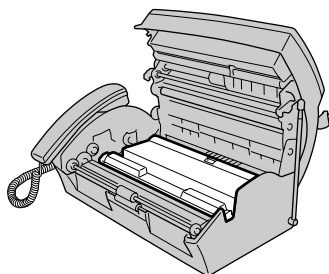
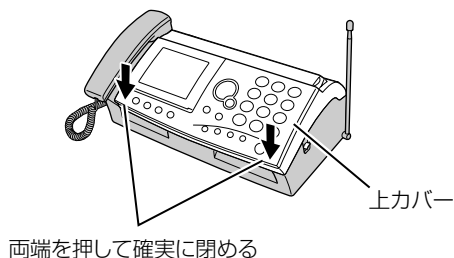
❶ 記録紙トレイを両手で持って少し手前に傾ける
❷ 上方に引き抜く

3 上カバーを開けて、リボンカートリッジを取り出す

❶ 本体右側のレバーを持ち上げて上カバーを開ける

❷ リボンカートリッジを取り出す

メモ
使用済みリボンは新しいリボンに同梱されている説明書にしたがって廃棄してください。

4 新しいリボンカートリッジを準備する

リボンカートリッジの向きを確認してください。

5 ギア（青色）を矢印の向きに2〜3回、回してリボンのたるみを取る

6 リボンカートリッジを本体にセットする

リボンカートリッジのギアを本体の溝に置く

7 リボンカートリッジが正常にセットされているか確認する

本体にリボンカートリッジをセットしたあと、リボンカートリッジが傾いていないか確認してください。

8 上カバーの両端を押して確実に閉める

9 リボンカウンタをリセットする

上カバーを閉じると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

❶ **1分以内に［はい］を押す**

「もう一度確認します。リボンを交換しましたか？」と表示されます。

補足

1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

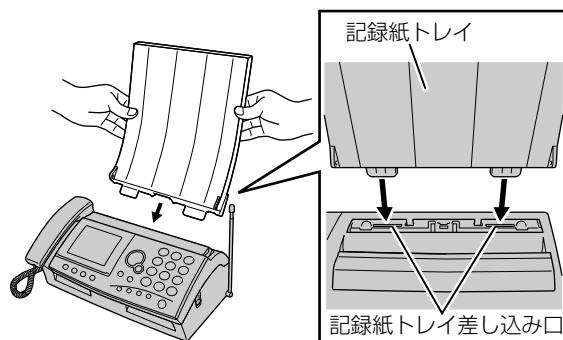
❷ **1分以内に［はい］を押す**

補足

「リボン 残り 約 100%」と表示され、設定が終了します。

メモ

カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンを交換しなかったときは［いいえ］を押してください。［はい］を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

10 記録紙トレイを取り付ける

記録紙トレイは両手で持って完全に差し込みます。

11 記録紙をセットし直す

「記録紙をセットする」☞ 14ページ

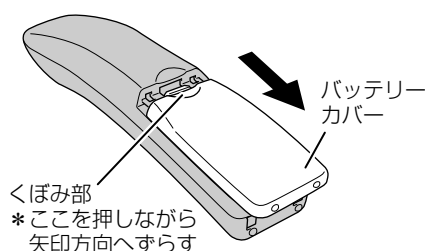
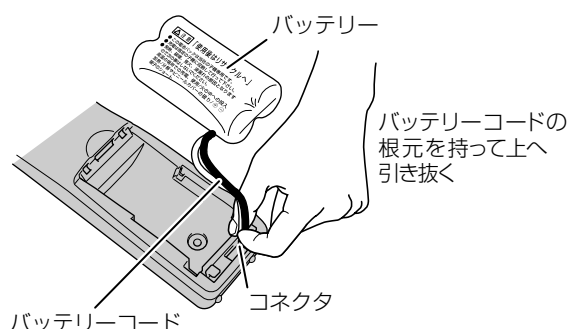
子機のバッテリーを交換する

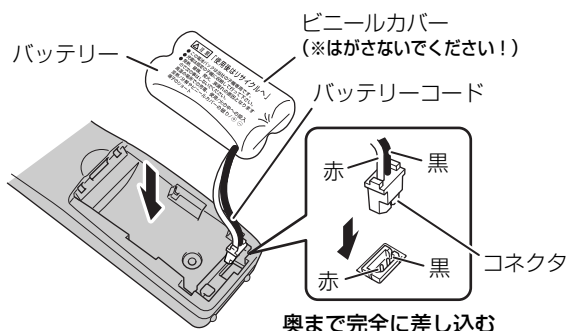
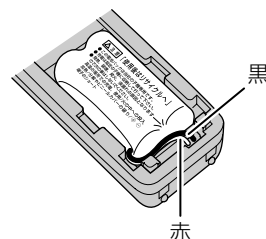
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。

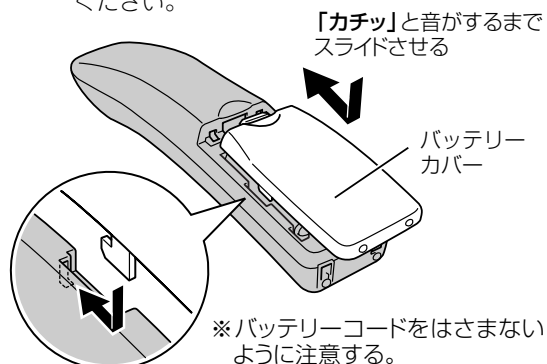
交換バッテリー（型名：BCL-BT）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

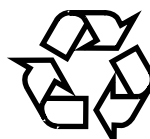
- バッテリーを覆っている黄緑色のビニールカバーは、はがさないでください。
- バッテリーを交換したら必ず15時間以上充電してください。

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

2 バッテリーを取り出し、コネクタを上へ引き抜く

3 新しいバッテリーコネクタを差し込む

コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

4 バッテリーを子機に入れる

5 バッテリーカバーを閉める

バッテリーコードをはさまないように注意してください。

バッテリーには充電式ニカド電池を使用しています。不要になったニカド電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。
「お客様相談窓口へ（コールセンターへ）お電話ください」と表示されたときは、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」にご連絡ください。

■ 親機

ディスプレイ表示	原因	処置
相手から応答がありません 電話番号を確認して もう一度送信してください	送信先の電話番号が間違っている。	送信先の電話番号を確認して、もう一度送信してください。
印刷できません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続 2 回以降） 印刷できません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください	本機に何らかの異常が発生した。	電源コードを抜いて電源 OFF にし、数秒後に電源ONにしてください。
書き込みできません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続 2 回以降） 書き込みできません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください		
原稿を読めません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続 2 回以降） 原稿を読めません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください		
子機が反応しません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続 2 回以降） 子機が反応しません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください		
初期化できません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続 2 回以降） 初期化できません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください		

エラーメッセージが表示されたら

ディスプレイ表示	原因	処置
留守番電話が使えません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（連続2回以降） 留守番電話が使えません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください	本機に何らかの異常が発生した。	電源コードを抜いて電源OFFにし、数秒後に電源ONにしてください。
印刷できません！ ただ今、回復中です しばらくお待ちください	連続使用により記録部分が熱くなっている。	しばらく待ってください。回復すると待ち受け画面に戻ります。原稿がつまっているときは「停止ボタンを押してやり直してください」と表示されます。このときは、［停止］を押してください。
応答メッセージはありません	メッセージが録音されていない。	応答メッセージを設定してください。 （「応答メッセージの設定」☞ 84ページ）
―――――――― お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください	本機に何らかの異常が発生した。	「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」へ連絡してください。
⊗回線種別が 設定できませんでした！ 回線を接続し機能ボタンから 回線種別を設定してください	電話機コードが接続されていない。 回線種別が設定されていない。	電話機コードがはずれていないか確認してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13ページ）
書き込みできません！ 電源コードを抜いて もう一度、さして下さい ↓（2回目以降） 書き込みできません！ お客様相談窓口へ （コールセンターへ） お電話ください	本機に何らかの異常が発生した。	電源コードを抜いて電源OFFにし、数秒後に電源ONにしてください。
カバーが開いています！ カバーを閉めてください	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを再度、閉め直してください。
記録紙がありません！ 記録紙をセットしてください [再試行]を押すと、 印刷を開始します	記録紙がセットされていない。 記録紙がなくなった。	A4サイズの記録紙をセットしたあと、［再試行］を押して印刷を続けます。
記録紙がつまっています！ カバーを開け、つまった紙を 取り除いてください	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 （「原稿がつまったときは」☞ 131ページ）
原稿がつまりました！ カバーを開けて 手前に引き出してください	下記の原因で原稿がつまっている。 ・原稿挿入口に原稿が正しくセットされていない ・原稿が正しく送信されていない ・原稿サイズが長い	上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。（「原稿がつまったときは」☞ 131ページ）
①原稿がセットされていません！	原稿がセットされていない。	ファクスを送信設定をするまえに、原稿をセットしてください。
原稿を送れません！ 停止ボタンを押して やり直してください	原稿を読み取る直前に原稿が抜かれた。	［停止］を押して、もう一度始めからやり直してください。

ディスプレイ表示	原因	処置
子機に転送できません 子機の電話帳がいっぱいです	子機に登録できる電話帳の登録件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
受信できません ファクスや留守録を削除して メモリを空けてください	空きメモリーがない。	空きメモリーが不足しています。不要なファクスや留守録データを消去してください。
受信に失敗しました 相手先に確認してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線の状態が悪い。	安心通信モードに設定し、相手に連絡してファクス受信をやり直してください。（「安心通信モード」☞ 154ページ）
受話器を戻してください やり直してください	受話器を上げたまま、留守応答メッセージを再生・録音した。	受話器を置いて操作をやり直してください。
送信できません 回線種別の設定を確認して もう一度送信してください	回線状態が悪い。	回線種別を確認してください。
送信できません 電話回線を確認して もう一度送信してください	電話機コードがはずれている。 回線状態が悪い。	電話機コードがはずれてないか確認してください。 安心通信モードに設定してください。(「安心通信モード」☞ 154ページ)
送信できません もう一度送信してください	本機に何らかの異常が発生した。 回線状態が悪い。	もう一度送信してください。再度、エラーメッセージが表示されるときは電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後に電源をONにしてください。
通信が切断されました もう一度送信してください	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
①通信の設定がありません	メモリー送信またはタイマー送信の設定がされていません。	そのままお使いください。
電話機コードを 接続してください	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。
電話帳の番号が消えています 電話番号を入力して もう一度送信してください	ファクスのタイマー送信を設定したあとに、送信先の電話番号を電話帳から削除した。	ファクスを送信しなおしてください。
①登録できません！ 電話帳がいっぱいです	登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
登録できません！ 番号が長すぎます	20桁を超えて電話番号を登録した。	電話番号が登録できるのは20桁までです。
「特別回線対応」の設定が 「ＰＢＸ」の時は 変更できません	特別回線の設定が「PBX」のとき「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONにしたとき。	特別回線の設定が「PBX」のときは「ナンバー・ディスプレイ」の設定をONすることができません。
ナンバー・ディスプレイの 着信履歴がありません	ナンバー・ディスプレイに着信履歴がないときに着信履歴ボタンを押した。	着信履歴がありません。そのまま、お使いください。
相手が話中です もう一度送信してください	相手先が話し中または、受信待機状態になっていない。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
①発信元が設定されていません！ 発信元を入力してから やり直してください	発信元登録が設定されてない。	送付書を送信するには、発信元登録してください（「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」☞ 30ページ）

エラーメッセージが表示されたら

ディスプレイ表示	原因	処置
ポーリングできません 相手先に確認してください	相手先がファクス情報サービスを提供してなかった。	電話番号を確認してください。少し時間が経ってから、もう一度かけなおしてください。
ポーリングできません 原稿をセットしてください	相手先からファクスの情報を受信できない。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
メモリーが少なくなりました 本機に記憶されている ファクスや留守録を 削除してください	空きメモリーが不足している。	不要なファクスや留守録データを消去してください。
!メモリーが無くなりました！ ＸＸページまで送信できます 送信：スタートボタン 取消：停止ボタン ↓（1 ページ目の場合） !メモリーが無くなりました！ 停止ボタンを押してください	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。○(スタート/コピー)を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信します。 ○(停止)を押すと送信を中止します。 受信したファクスや留守録データを消去してください。
!メモリーが無くなりました！ ＸＸページまで印刷できます 印刷：コピーボタン 取消：停止ボタン ↓（1 ページ目の場合） !メモリーが無くなりました！ 停止ボタンを押してください	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。○(スタート/コピー)を押すと、すでに読み込んだ原稿をコピーします。 ○(停止)を押すとコピーを中止します。 受信したファクスや留守録データを消去してください。
!メモリーが無くなりました！ 本機に記憶されている ファクスや留守録を 削除してください	空きメモリーが不足している。	不要なファクスや留守録データを消去してください。
やり直してください	操作手順がまちがえている。	もう一度、操作をやり直してください。
用件は録音されていません	メッセージが録音されていません。	留守中に録音されたメッセージはありません。そのままお使いください。
リボン（品番：ＰＣ－５５１）が ありません！　上カバーを開け 新しいリボンのたるみを取り セットしてください	リボンがなくなった。	新しいリボンカートリッジと交換してください。 （「リボンがなくなったら」☞ 133ページ）

■ 子機

ディスプレイ表示	原因	処置
ｵﾔｷ ｼﾖｳﾁｭｳ	親機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
《ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ》 ｵﾔｷﾆ ﾁｶﾂﾞｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約100 m以内）を越えた。	約15秒以内に使用圏内に戻ってください。
ｵﾔｷｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	他の子機を使用している。 親機がコピー中またはファクス中。 電波状態が悪い、親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。
《ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘ ﾅｼ》 ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、約10秒以内に 内線/クリア（保留）を押して充電器に置き、親機の受話器をとって通話を続けてください。
ｶﾞｲｾﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ	子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約60秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。 （「お手入れのしかた」☞ 128ページ） 充電器に子機を戻す、または（切）を押すと表示が消えます。
ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｵﾔｷ ｹﾝｽｳﾌﾙ ﾏﾀﾊ ﾃﾝｿｳｴﾗｰ	電波障害、親機の電話帳の登録できる件数を超えているなどの理由により、その他の操作ができなかった。	もう一度操作をし直してください。
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾆ ﾄｳﾛｸｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。（「子機の電話帳」☞ 55ページ）
ﾃﾝｿｳｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽ	親機に電話帳を転送しているとき、（切）を押した。	もう一度操作をやり直してください。
ﾊｯｼﾝﾘﾚｷ ﾅｼ	発信履歴に電話番号がない。	そのまま、お使いください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。また、［ディスプレイ表示が正しく表示されない］・［ボタンが操作できない］などは、親機を強制的にお買い上げ時の状態に戻すこともできます。（「親機を強制リセットする（修理を依頼される前に）」☞ 156 ページ）それでも異常があるときは「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」へご連絡ください。

■ 親機／子機

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
	電話をかけられない場合がある	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。	回線種別を正しく設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
		電話帳機能を利用してかけていませんか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに（留守）（親機）または（発信履歴 /P/文字切替）（子機）でポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0」発信や電話会社を選択してかけていませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量の設定が小さくありませんか。	スピーカー音量を大きくしてください。（「スピーカー音量の設定」☞ 110 ページ）
	電話の着信音が小さい	着信音量の設定が小さくありませんか。	着信音量を大きくしてください。（「着信音量の設定」☞ 108 ページ）
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。（「受話音量の設定」☞ 109 ページ）
		受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
	相手に声が聞こえないと言われる	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない	周りの音がうるさくありませんか。	受話器をとって、受話器で通話してください。（または、（スピーカーホン）を押して受話器に切り替えてください。） 子機の場合は（スピーカー）を押して子機を持って話してください。
	ハンズフリー着信ができない（返事をしてもつながらない）	返事が短くありませんか。	長く返事をしてください。（「ハンズフリーで電話を受ける」☞ 61 ページ）
		返事が小さくありませんか。	大きな声で返事をしてください。
		感度設定が低くありませんか。	感度設定を高くしてください。（「ハンズフリー着信を設定する」☞ 60 ページ）
		返事の声が高すぎませんか。	少し低い声で返事をするか、返事のしかたを変えてください。（例：おーい）（「ハンズフリー着信を設定する」☞ 60 ページ）
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない	受信モードが「ファクス専用」で呼出回数が 0 回になっていませんか。	受信モードと呼出回数を確認してください。（「電話やファクスの受けかた」☞ 32 ページ）
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が「あり」になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を「なし」に設定してください。（「ナンバー・ディスプレイを設定する」☞ 97 ページ）

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない	内線通話中ではありませんか。	着信音をメロディに設定していると、内線通話中に外線からの着信があっても、着信音が鳴らないことがあります。設定を確認してください。 （「内線で話す」☞ 62 ページ）
電話	着信音をベルやメロディに変更したが設定した着信音が鳴らない	ハンズフリー着信に設定されていませんか。	ハンズフリー着信に設定した場合、設定したベルやメロディは鳴らず、「ベル 1」が鳴ります。設定を確認してください。（「ハンズフリー着信を設定する」☞ 60ページ）
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえない	（スピーカーホン）（親機のスピーカーホン）を押して、スピーカーホンから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり差し込まれているか確認してください。聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		電源コードと電話機コードが正しく接続されていますか。	電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。
		本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
電話	連続的に雑音が入る	機能接地端子（☞ 23ページ）にアース線を接続すると、雑音が少なくなる場合があります。	
電話	声が途切れる	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。（相手側を含む）	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
電話	通話が切れる	声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 （「親切受信」☞ 77 ページ） ※ このときは、ファクスを手動で受信します。（「電話に出てから受ける（手動受信）」☞ 68 ページ）
		インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。（相手側を含む）	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
電話	発信すると本機の電話番号が非通知になる	本機では設定することができません。	NTT へお問い合わせください。
電話	親機のメロディが鳴り出してとまらない	回線種別設定をしていますか。	回線種別を設定してください。（☞ 12 ページ） それでもとまらないときは（機能）（発信履歴◀）（1）（1）（1）を押してください。
電話	電話をかけるときに、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。（「接続に関する制限事項を確かめる」☞ 20 ページ）
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。（「接続に関する制限事項を確かめる」☞ 20 ページ）
ナンバー・ディスプレイ	電話番号は表示されるが着信音がメロディにならない	着信鳴り分けが「ベル」に設定されていませんか。	着信鳴り分けの設定を確認してください。（「相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（親機）」☞ 98 ページ）

故障かな？と思ったら

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホン・ディスプレイデータを受けられない	キャッチホン・ディスプレイの設定が「なし」に設定されていませんか。	キャッチホン・ディスプレイの設定を「あり」にします。（「キャッチホン・ディスプレイを利用する」☞ 104ページ）
	子機	動作しない 着信音が鳴らない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。（「子機を準備する」☞ 16ページ）
			バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーの充電をしてください。（「子機を準備する」☞ 16ページ）
			回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13ページ）
			着信音量が「OFF」になっていませんか。	着信音量を「OFF」以外に設定してください。（「着信音量の設定」☞ 108ページ）
			親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、子機を親機に近づけてください。
			近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。（「通話がうまくいかないときは」☞ 150ページ）
			親機で機能の設定・登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
			親機でコピーをしていませんか。	コピーが終わるのを待ってください。
			親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
			親機のアンテナと子機用ACアダプタのコードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機用ACアダプタのコードを遠ざけてください。（アンテナに巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。）
			子機のアンテナ表示（ ）が２本（ ）、１本（ ）、０本（ ）になっていませんか。	子機のアンテナが３本表示（ ）される所でご使用ください。
			携帯電話の充電器や、ACアダプタが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。 電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
		着信があったとき小さいベル音がしてから設定した着信音が鳴る	子機を充電器から外していませんか。	子機が充電器にセットされていないときに着信した場合は、非常に小さな着信音（お知らせ音）が鳴ったあと、設定した着信音が鳴ります。お知らせ音を「OFF」にするには、[機能/確定] [発信履歴/P/文字切替] [スピーカー] [キャッチ] の順に押し、[カーソル] で「OFF」を選び [機能/確定] を押します。
		声が途切れる	インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により声が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
		通話が切れる	声や周りの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁に起こるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。（「親切受信」☞ 77ページ） ※このときは、ファクスを手動で受信します。（「子機で受ける」☞ 68ページ）
			インターネット電話やIP電話など、IP網を使用していませんか。（相手側を含む）	インターネット電話やIP電話など、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「ﾚﾝｼｭｳﾁｭｳ」が表示されている	(切) を押してください。	
		雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。(☞ 7 ページ) ※設置環境を確認してください。 （「通話がうまくいかないときは」☞ 150 ページ）	親機のアンテナを伸ばし、向きを前後／右側に変えてみてください。
				親機の置き場所や向きを変えてみてください。
				親機のアンテナから子機用ACアダプタのコードを遠ざけてください。（アンテナに巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。）
				親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
			放送局、高圧線などが近くにありませんか。	親機の置き場所や向きを変えてみてください。
			自動車、オートバイ、飛行機が近くを通っていませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。または、一時的に親機をご使用ください。
			蛍光灯のスイッチを「入」「切」していませんか。	
			ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	
			移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。 または子機のアンテナが 3 本表示（Yıl）される所でご使用ください。
			子機のアンテナ表示（Yıl）が 2 本（Yıl）、1 本（Yı）、0 本（Y）になっていませんか。	
		相手の声が聞こえにくい	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
			受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。（「受話音量の設定」☞ 109 ページ）
		相手から聞こえないと言われる	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	受話口、送話口（マイク）をふさがないでください。
		子機の着信音が遅れて鳴る	故障ではありません。 （電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。）	そのままお使いください。
		充電器に置いても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」と表示しない	充電器の子機用ACアダプタは確実に差し込まれていますか。	子機用ACアダプタの電源プラグを充電器に「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込んでください。
			充電器に正しく置かれていますか。	ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。
			充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。 （「お手入れのしかた」☞ 128 ページ）
			バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていません。充電器に置いて約 1 分後に「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ」と表示されますので、表示されたら約 15 時間充電してください。
		子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	

故障かな？と思ったら

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	充電できない 電源が入らない 何も表示されない	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して充電器にセットしてください。 ・表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 ・表示しない場合 ACアダプタと充電器を確認してください。
電話	子機（警告音）	充電器からとったり、外線 を押すと、「ピーピーピー」と鳴り、外線 が消灯する	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
			親機から離れすぎていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
			電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
		充電が完了してもバッテリー警告音（ピッピッピッ…）が鳴り、ディスプレイに「《ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘ ﾅｼ》ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示される	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 （「子機のバッテリーを交換する」☞ 136 ページ）
				バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、ACアダプタの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。 （「子機を準備する」☞ 16 ページ）
		警告音（ピピッピピッ）が鳴り、ディスプレイに「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示される	充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。 （「お手入れのしかた」☞ 128 ページ）
			充電器から子機をとり、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を充電器に戻してください。
		通話開始後、約 1 分経過すると、警告音（ピピッピピッ）が鳴り、ディスプレイに「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示される	親機から子機へ通話を切り替えるとき、親機の 保留/子機 を押さずに受話器を戻していませんか。	親機の 保留/子機 を押して通話を切り替えてください。（「電話を取り次ぐ」☞ 50 ページ）
		通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る	子機で通話中に電波の届かないところまで離れている、または移動していませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		通話中に警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴る	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。
				通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
	留守番電話	外出先からの操作ができない	トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていない。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		メッセージが録音の途中で切れている	録音中に 8 秒以上無音が続いた。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
		メッセージが録音できない	メモリー容量がいっぱいになっている。	音声メッセージを消去してください。 メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを削除してください。
	ADSL回線	以前に比べて自分の声が響いたり、相手の声が聞き取りにくい	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	特別音質対応の設定を「ADSL」にしてください。（☞ 153 ページ）また、ADSL 回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。ADSL 契約会社、またはスプリッタの製造メーカーにお問い合わせください。
		通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる	ADSL 回線を使用して、ブランチ接続（並列接続）をしていませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。

こんなときは			ここをチェック	対処のしかた
電話	ADSL回線	電話をかけられない場合がある	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。	回線種別を正しく設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13ページ）
			電話帳機能を利用してかけていませんか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに（留守）（親機）または（発信履歴 P/文字切替）（子機）でポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
			手動で「0」発信や電話会社を選択してかけていませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
	ISDN回線	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN回線のターミナルアダプタに接続していませんか。	特別音質対応の設定を「ISDN」にしてください。（☞ 153 ページ） ターミナルアダプタに受話音量の設定がある場合は、受話音量「ショウ」に設定してください。また、本機の受話音量を小さくしてください。（「受話音量の設定」☞ 109 ページ）
		電話がかけられない	回線種別が「プッシュ回線」に設定されていない。	回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。（「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ）
			本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
		電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。	
			契約回線番号、または i・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
		本機が接続されているアナログポートに 1 ～2回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	
		本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
				i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 i・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
			ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113：無料）へご連絡ください。	
		契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
ファクス／コピー		特定の相手とファクス通信できない	特別回線対応の設定を「ISDN」にしてください。（☞ 152 ページ）それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」へご連絡ください。	
		ファクス送受信ができない（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113：無料）へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」へご連絡ください。	

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	スタートボタンを押しても送信／受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿を外して受信します。 (「電話に出てから受ける（手動受信)」☞ 68 ページ)
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。
		(スタート/コピー) を押す前に、受話器を戻していませんか。	(スタート/コピー) を押してから受話器を戻します。 (「話をしてから送る（手動送信)」☞ 67 ページ、「電話に出てから受ける（手動受信)」☞ 68 ページ)
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 (「手動で回線種別を設定する」☞ 13 ページ)
	ファクス送信／受信ができない	インターネット電話や IP 電話など、IP 網を使用していませんか。(相手側を含む)	インターネット電話や IP 電話など、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードの設定を「する」にしてください。(☞ 154 ページ) 送信の場合は、一般電話回線を使用して送信してください。
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードの設定を「する」にしてください。(☞ 154 ページ)
	ファクスを送信できない場合がある	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0」発信や電話会社を選択している場合は、番号のあとに (留守) でポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を使用していますか。 (☞ 66 ページ)	
		手動で「0」発信や電話会社を選択して送信していませんか。	「0」や選択番号のあとに少し待ってからダイヤルしてください。
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。 (「お手入れのしかた」☞ 128 ページ)
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整します。 (「原稿に合わせて画質を調整」☞ 120 ページ)
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 (「キャッチホンを利用する」☞ 59 ページ)
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、または上カバーを正しくセットします。(「記録紙をセットする」☞ 14 ページ)
		記録紙がなくなっていませんか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除きます。 (「記録紙がつまったときは」☞ 132 ページ)
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。	
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。(「コピーする」☞ 94 ページ)

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信したファクスの同じページを何度も印刷する	記録紙トレイにセットされている記録紙が１～２枚になっていませんか。	A4サイズの記録紙を多めにセットしてください。
	きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか。（うすい、かすれなど）	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	受信したファクスが縮小されて印刷される	相手がA4よりも長いサイズの原稿を送信していませんか。	分割して印刷されてもよいときは、A4自動縮小受信の設定を「OFF」にしてください。（「A4自動縮小受信」☞ 78ページ）
	きれいにコピーできない	読取部が汚れていませんか。	読取部を清掃してください。（「お手入れのしかた」☞ 128ページ）
	記録紙が重なって送り込まれる	紙をさばいて入れ直してください。（「記録紙をセットする」☞ 14ページ）	
	B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。	
	自動受信できない	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。（「呼出回数の設定」☞ 34ページ）または ○（スタート/コピー） を押して手動で受信してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。（☞ 152ページ）それでも異常がある場合は、「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」にご連絡ください。	
	受信したファクスの印刷中にリボンがなくなった。	新しいリボンをセットすると、印刷を開始します。	
原稿	原稿が繰り込まれていかない	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を正しくセットします。（「ファクスを送る」☞ 66ページ）
		上カバーは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	使用できる原稿を確認してください。（「原稿について」☞ 162ページ）
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（「原稿がつまったときは」☞ 131 ページ）
	原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	原稿を正しくセットします。（「ファクスを送る」☞ 66ページ）
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	つまった原稿を取り除きます。（「原稿がつまったときは」☞ 131 ページ）
その他	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。（雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。）

製品の異常により修理が必要となった場合、故障箇所や修理箇所によっては「消去されないデータ」（☞ 8ページ）でも、消えることがあります。

通話がうまくいかないときは

通話や子機の使用に影響を及ぼす可能性のある環境

親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合や、自宅周辺に電波を発する設備（ラジオ放送局、アマチュア無線など）がある場合、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、以下の環境をご確認ください。

高圧線の近辺

車載用無線

ラジオ放送局または中継局

※電話線がアンテナになりラジオ放送が混入することがあります。

保安器

T-NCU

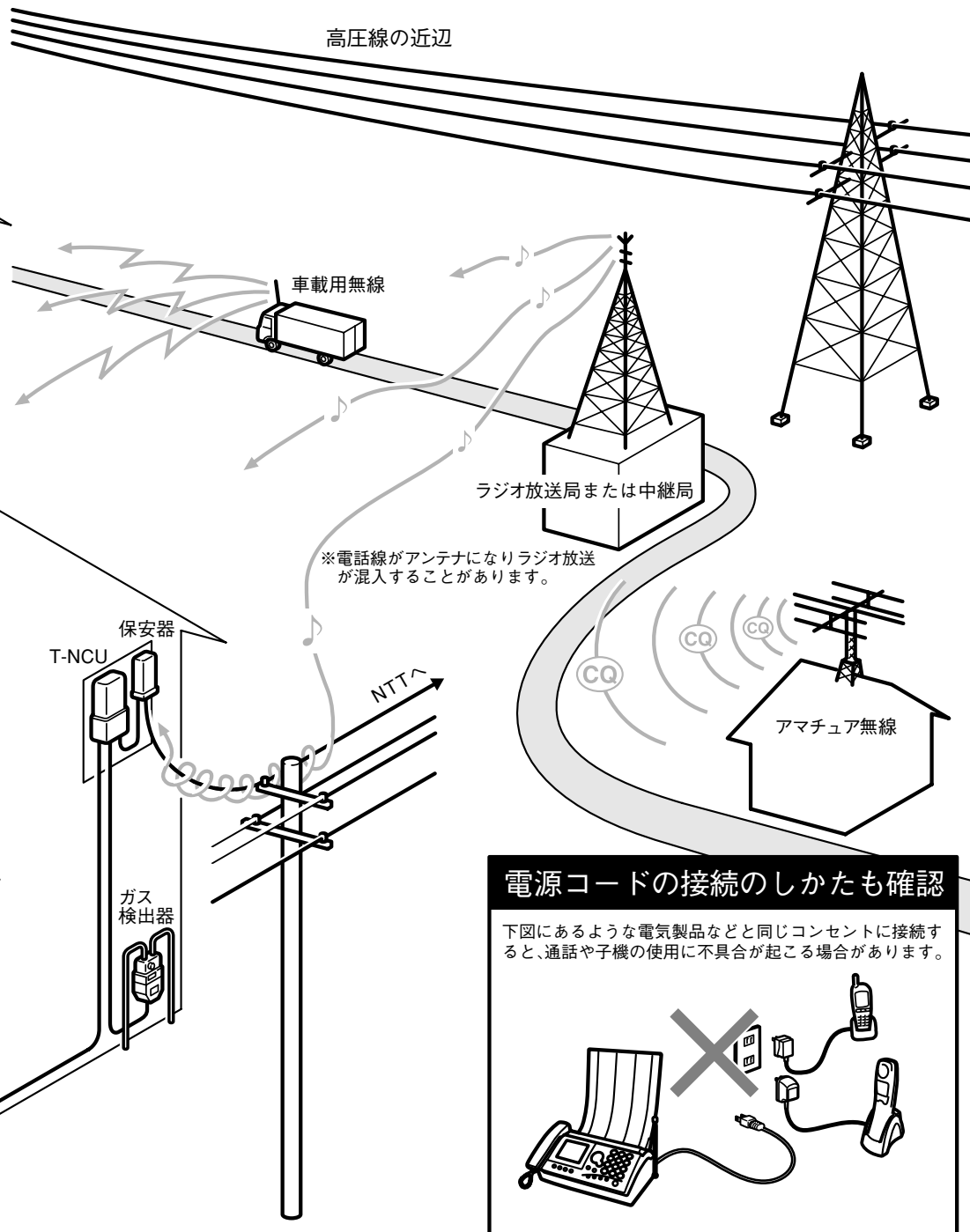
NTTへ

CQ

アマチュア無線

ガス検出器

電源コードの接続のしかたも確認

下図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に不具合が起こる場合があります。

特別設定について

使用状況に応じて下記の設定をしてください。

特別回線対応

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。
お買い上げ時は、「一般」に設定されています。

特別音質対応

相手の声が聞こえにくいときに使用している回線を特定し、設定します。
お買い上げ時は、「通常」に設定されています。
この設定をすると、音質が改善されることがあります。

ISDN回線のとき

1 機能 0 2 を押す

2 で「ISDN」を選び 確定 を押す
「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

ISDN回線に設定しても改善されないときは受話音量（☞ 109ページ）を小さくしてください。

ADSL回線のとき

1 機能 0 2 を押す

2 で「ADSL」を選び 確定 を押す
「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

ADSL回線に設定しても改善されないときはスプリッタを交換すると改善される場合があります。

初期設定に戻すとき

1 機能 0 2 を押す

2 で「通常」を選び 確定 を押す
「受けつけました」と表示されます。

3 停止 を押す

特別設定について

安心通信モード

通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に通信したいときに設定します。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。
「する」に設定すると、通信できる可能性が高くなります。

初期状態に戻す（親機）

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

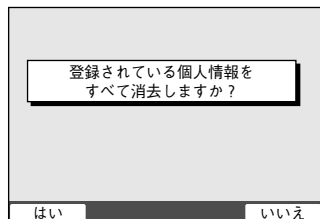
登録した内容をお買い上げいただいたときの状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

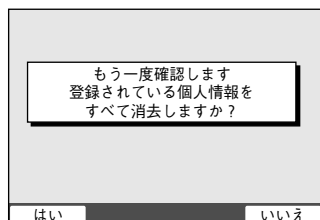
初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は戻せませんのでご注意ください。電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存してください。（「電話帳リスト」☞ 122ページ）

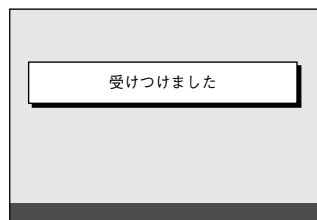
個人情報を消去する

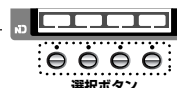
操作をおこなうと次の内容を一度にすべて消去することができます。

- お客様の名前・電話番号（「名前とファクス番号を登録する（発信元登録）」☞ 30ページ）
- 電話帳の内容（「電話帳に登録する」☞ 52ページ）
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容（「発信履歴」☞ 47ページ）
- 留守録転送先の内容と転送設定解除（「留守録転送」☞ 90ページ）
- ファクス転送先の内容と転送設定解除（「ファクス転送」☞ 91ページ）
- 暗証番号（「暗証番号の設定」☞ 87ページ）
- 送付書のコメント（「コメントを登録する」☞ 75ページ）
- メモリー送信ファクスの内容（「メモリー送信」☞ 75ページ）
- 本機が再ダイヤルする相手先の内容（「ファクスだけをすぐに送る（自動送信）」☞ 66ページ）
- タイマー送信する相手先の内容（「タイマー送信」☞ 71ページ）
- 一括に送信する相手先の内容（「一括送信」☞ 76ページ）
- 着信鳴り分けの内容（「相手によって着信音を変える［着信鳴り分け］（親機）」☞ 98ページ）
- 着信履歴の内容（「着信履歴を利用する（親機）」☞ 105ページ）
- ユーザー辞書の内容（「ユーザー辞書に登録する」☞ 125ページ）
- 通信管理レポート（「通信管理レポート」☞ 121ページ）

1 機能 0 6 を押す

2 はい を押す

確認メッセージが表示されます。

3 はい を押す

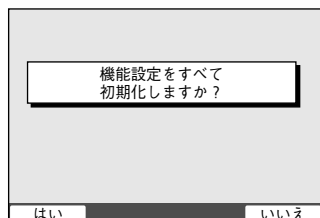
「受けつけました」と約２秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。

個人情報が消去されたあと、待ち受け画面に戻ります。

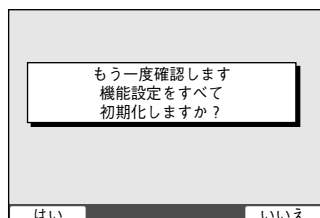
初期状態に戻す（親機）

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

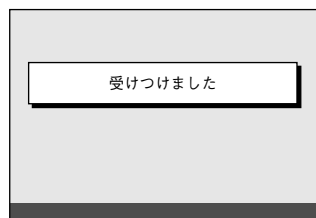
機能設定をもとに戻す

操作をおこなうと次の設定を一度にすべて戻すことができます。

- 回線種別の設定（「回線種別をチェックする（自動）」☞ 12ページ）
- 現在の日付と時刻（「現在の日付・時刻を設定する（親機）」☞ 29ページ）
- モーニングアラーム（「モーニングアラームを設定する」☞ 116ページ）
- 「メモリー送信」（☞ 75 ページ）、「タイマー送信」（☞ 71 ページ）、「一括送信」（☞ 76 ページ）、「発信履歴」（☞ 47ページ）などの通信待ちデータ。

1 機能 0 7 を押す

2 はい を押す

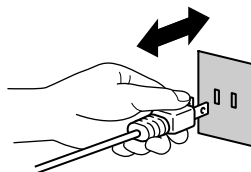
確認メッセージが表示されます。

3 はい を押す

「受けつけました」と約 2 秒間表示されたあと、「しばらくお待ちください」と表示されます。

機能設定が初期化されたあと、待ち受け画面に戻ります。

親機を強制リセットする（修理を依頼される前に）

本機に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示されない
- ボタンが操作できない
- 電話帳リストなどが正しく印刷されない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起こる
- その他、正しく動作しない

このようなときは、**電源コードを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**これだけでも、改善される場合があります。

強制リセットをしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170」へご連絡ください。

10章 付　録

文字の入れかた（親機）

発信元登録、電話帳の登録、各種コメントでは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。
親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字　（文字列一覧表）

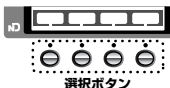
<table>
<tr><th>ボタン</th><th>ひらがな</th><th>カタカナ</th><th>英字</th><th>数字</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>—</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>abcABC</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>defDEF</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>ghiGHI</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>jklJKL</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>mnoMNO</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>pqrsPQRS</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>tuvTUV</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>wxyzWXYZ</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをん、。－（スペース）</td><td>ワヲン、。－（スペース）</td><td>（半角スペース）</td><td>0</td></tr>
<tr><td>＊</td><td>゛゜</td><td>゛゜</td><td>—</td><td>＊</td></tr>
<tr><td>#</td><td colspan="2">記号表</td><td>-/_.,:@;!?"#$%&'()*+<>=[]^¥{|}</td><td>#</td></tr>
</table>

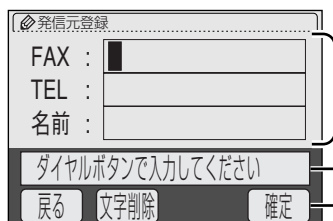
〈記号表〉	◀ ▶
▲▼	1）, . ・ : ; ? ! ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ○
	2）ー ― ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ”
	3）（ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】
	4）＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞
	5）∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ¥ ＄ ¢ £ ％
	6）＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆
	7）□ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓
	8）⇒ ⇔ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ♯ ♭ ♪

※「ひらがな」「カタカナ」入力時に#を押してで選択し、［確定］で決定する

■ 入力できる文字の種類や文字数

項目	ひらがな・漢字	全角カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数	
				全角	半角
電話番号・ファクス番号	×	×	○（＊1）	×	20
読み仮名	×	○（半角）	○	×	16
名前（＊2）	○	○	○	10	20

＊1：電話番号入力時は、0～9、「＊」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。
　　ポーズはで入力します。入力したポーズはディスプレイに「p」で表示されます。
＊2：発信元登録では、半角32文字（全角16文字）まで入力できます。

入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

- 入力する項目や内容を表示します。
  - ・電話番号、ファクス番号などの数字入力時は、入力域に直接入力します。（直接入力）
  - ・名前などの入力時は、［入力］を押してから文字を入力します。（変換入力）
- 入力の操作方法が表示されます。
- 選択できる操作が表示されます。

例） かな ：入力できる文字の種類を切り替えます。（文字切替）
（かな→カナ→英→数→かな…）
変換 ：ひらがなを漢字に変換します。
入力 ：文字入力モードに入ります。
文字削除 ：選択している文字を削除します。（選択位置より右に文字がないときは、1つ手前の文字を削除します。）
確定 ：入力した文字を確定させます。

入力例

■ 入力例　1：電話帳の名前に『BRO）ブラザー太郎』と入力する。

■ 入力例　2

● 文字を修正する	を押して█（カーソル）を移動させ、文字を削除して入力し直す
● 文字の種類を切り替える	［かな］（文字切替）を押す（かな→カナ→英→数→かな…）
● スペースを入れる	0 を 7 回押す、または を押して█（カーソル）を右に移動させる
● 記号を入力する	「英」のときは # を押して記号を選び 確定 を押して入力する 「かな」「カナ」のときは、# を押して で記号を選び、確定 を押して入力する
● 同じボタンで続けて文字を入力する	を押して█（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する
● 漢字の変換候補を選ぶ	で変換候補を切り替える
● 文字を削除する	を押して消去したい文字まで█（カーソル）を移動し、文字削除 を押す

文字の入れかた（子機）

電話帳の登録など、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

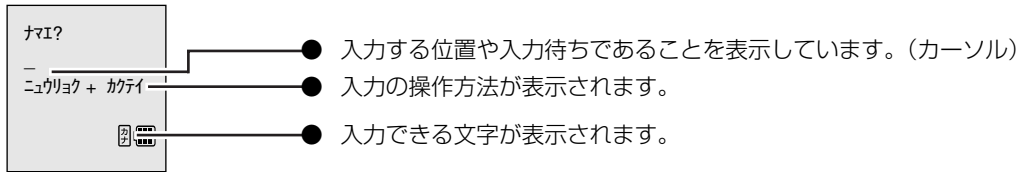
ボタン	カタカナ	英・数字
ア1	アイウエオァィゥェォ	1
ABC カ2	カキクケコ	abcABC 2
DEF サ3	サシスセソ	defDEF 3
GHI タ4	タチツテトッ	ghiGHI 4
JKL ナ5	ナニヌネノ	jklJKL 5
MNO ハ6	ハヒフヘホ	mnoMNO 6
PQRS マ7	マミムメモ	pqrsPQRS 7
TUV ヤ8	ヤユヨャュョ	tuvTUV 8
WXYZ ラ9	ラリルレロ	wxyzWXYZ 9
ワ ゛゜ 0	ワヲン゛゜、。ー	0
記号1 ＊	－／．（スペース）！"＃＄％＆'（）＊＋，	
記号2 ＃	＿：＠；＜＝＞？［］＾	

■ 入力できる文字の種類や文字数

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○（＊ 1）	20 文字
	名前	○	○	16 文字

＊1： 0～9、「＊」、「＃」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは［発信履歴/P/文字切替］で入力します。入力したポーズはディスプレイに「p」で表示されます。

入力画面とボタン操作

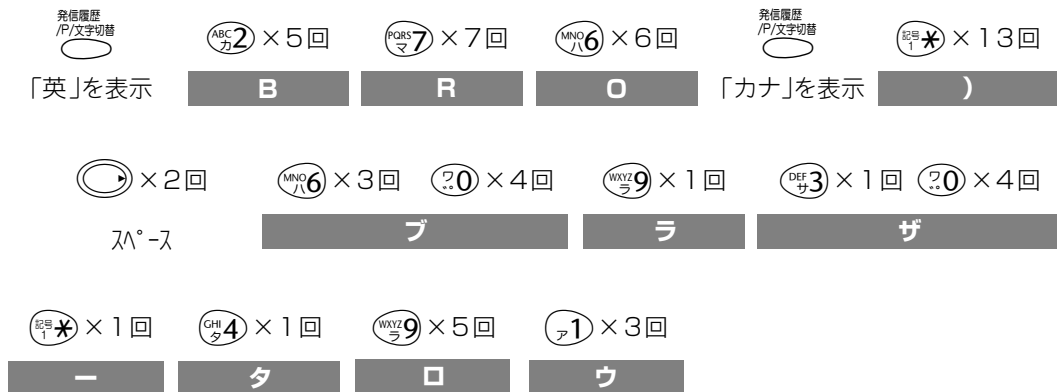
本機では下記のような画面で文字を入力します。

例） 発信履歴/P/文字切替 ： 入力できる文字の種類を切り替えます。

電話番号入力時は、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入力します。

内線/クリア 保留 ： 選択位置の文字を削除します。（選択位置より右に文字がないときは、1 つ手前の文字を削除します）

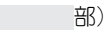
機能/確定 ： 入力した文字を確定させます。

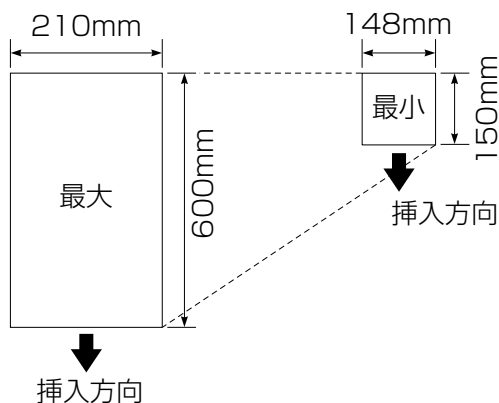
入力例

■ 入力例　1：電話帳の名前に『BRO）ブラザータロウ』と入力する。

■ 入力例　2

● 文字を修正する	を押して＿（カーソル）を移動させ、文字を削除して入力し直す
● 文字の種類を切り替える	発信履歴/P/文字切替 を押す（英→カナ→英…）
● スペースを入れる	記号* を 4 回押す、または を 2 回押す
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン（記号* または 記号#）を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	を押して＿（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する
● 文字を削除する	を押して消去したい文字まで＿（カーソル）を移動し、内線/クリア 保留 を押す

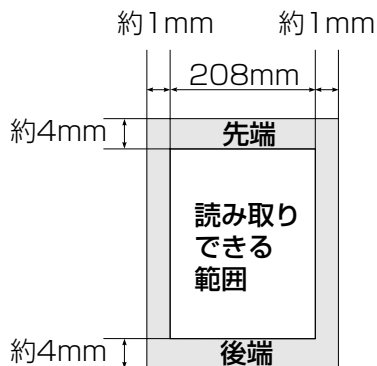
原稿について

セットできる原稿のサイズと厚さは次の通りです。これ以外のサイズの原稿を使うときは、コピー機で拡大・縮小コピーをするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

原稿のサイズと紙厚

使用できる原稿のサイズや厚みは次の通りです。

- **最大原稿サイズ**：210（幅）× 600（長さ）mm
  長さが 400 mm 以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）× 150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08 ～ 0.10mm
- **重量**：64g/m^2 ～81.4g/m^2（55 ～70kg 紙）

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲（　　　部）がありますので、ご注意ください。
また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質、紙厚、および原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。

A4サイズのとき

標準原稿

A4サイズ700字程度の標準原稿は下のような原稿です。

例）

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE · BOOLE · DORSET · BH 25 8ER

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

使用できない原稿	処置
ホチキスの針やクリップのついた原稿	ホチキスの針、クリップを外してください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、コピー機でコピーしてください。
・穴、破れのある原稿 ・貼り合わせた原稿 ・アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ・インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ・登記書のように薄くてやわらかい原稿 ・官製はがきのように厚い原稿 ・本のように閉じてある原稿 ・つるつるすべる原稿	キャリアシートを使うか、コピー機でコピーしてください。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

親機

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照ページ
初期設定	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS **ダイヤル 20PPS** 自動設定	機能 1 1	13ページ
	日時設定	現在の日付と時刻を登録します。	**05年** **01月** **01日** **00時** **00分**	機能 1 2	29ページ
	発信元登録	ファクスに印刷される発信元の名前やファクス番号と送付書に印刷される電話番号を登録します。	－	機能 1 3	30ページ
	ボタン確認音	ボタンを押したときの音量を設定します。	切 **小** 中 大	機能 1 4	111ページ
	みるだけ受信	ファクスの内容をディスプレイで確認します。	**する** しない	機能 1 5	79ページ
	ユーザー辞書登録	変換してもすぐに出てこない単語などを登録します。	－	機能 1 6	125ページ
	画面のコントラスト	ディスプレイのコントラストを調整します。	1～8（**5**）	機能 1 7	124ページ
受信設定	呼出回数	着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード (0～（**8回**）～15回／無制限) 留守モード (0～（**2回**）～07回／トールセーバー)	機能 2 1	34ページ
	再呼出設定	在宅モードのときの受信のしかたや応答のしかたを選択します。	**ON** (電話呼出（相手にベル／**相手にメッセージ**)) OFF (ファクス専用)	機能 2 2	35ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	**する** しない	機能 2 3	77ページ
	A4 自動縮小受信	A4サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する／しないを設定します。	**する** しない	機能 2 4	78ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	－	機能 2 5	78ページ

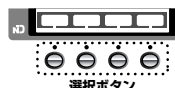
操作を途中で中止するときは、〇(停止)を押します。

□を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

選択ボタン

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
送信設定	送付書付き送信	ファクスを送信するとき、「送付書」を付ける／付けないを設定します。	今回のみ付ける 今回のみ付けない いつも付ける **いつも付けない**	機能 3 1	73ページ
	送付書コメント登録	「送付書」に記載するコメントを作成します。（2種類のオリジナルコメントを登録できます。）	－	機能 3 2	75ページ
	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	濃く **普通** 薄く	機能 3 3	120ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	する **しない**	機能 3 4	72ページ
	電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	する **しない**	機能 3 5	70ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	する **しない**	機能 3 6	71ページ
解除	設定解除	タイマー送信やタイマーポーリング受信の設定を解除します。	－	機能 4	76ページ
リスト出力	送信レポート	ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	出力する **エラーのみ出力** 出力しない	機能 5 1	122ページ
	通信管理レポート	最新の通信結果を印刷します。（送信、受信合わせて30件です。）	**出力しない** 6/12/24時間ごと、2日ごと、1週間ごと、30件ごと	機能 5 2	121ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録した内容を50音順に印刷します。	－	機能 5 3	122ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	－	機能 5 4	122ページ
	メモリー使用状況リスト	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況を印刷します。	－	機能 5 5	122ページ
	ご注文シート	リボンカートリッジなどの消耗品を注文する、「ご注文シート」を印刷します。	－	機能 5 6	123ページ
	一括送信レポート	一括送信後に送信結果を印刷するための設定をします。	**出力する** エラーのみ出力	機能 5 7	123ページ
留守設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ（留守応答1、留守応答2）、在宅応答メッセージ（在宅応答）の録音／再生／消去をします。	留守応答1 留守応答2 在宅応答	機能 6 1	84ページ
	メッセージ録音時間	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30秒 **60秒** 120秒 180秒	機能 6 2	86ページ
	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	**する** しない	機能 6 3	86ページ
	暗証番号設定	外出先から本機を操作するための暗証番号を設定します。	暗証番号：**- - - ＊**	機能 6 4	87ページ
	ファクス／留守録転送	メッセージを受信したとき、「ファクス転送」や「留守録転送」をするための設定をします。	**しない** ファクス 留守録	機能 6 5	90、91ページ

操作を途中で中止するときは、停止を押します。

機能一覧

を選択するときは下部の選択ボタンを押してください。

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
メロディ／ボイス設定	着信音	着信音の鳴りかたを設定します。	**ベル1～4** 着信ボイス1～12 楽しいメロディ 1～5 癒しのメロディ 1～15 季節のメロディ 1～12 目覚ましボイス1～6	機能 7 1	112ページ
	保留メロディ	保留音の鳴りかたを設定します。	**メロディ 1**～32 花のワルツ	機能 7 2	113ページ
	モーニングアラーム	モーニングアラームの鳴りかたと時刻を設定します。	アラーム1 アラーム2 アラーム3	機能 7 3	116ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	NTTのナンバー・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	**あり** なし	機能 8 1	97ページ
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。また、かかってきた電話番号が非通知の場合の着信音を設定することができます。	電話帳 非通知電話 着信先： すべて／親機／ 子機1～4／ ファクス／迷惑指定 着信音： ベル1～4／ メロディ 1～32／ ボイス1～18	機能 8 2	98 ページ
	非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する **しない**	機能 8 3	101ページ
	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する **しない**	機能 8 4	102ページ
	着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する **しない**	機能 8 5	102ページ
	キャッチホンディスプレイ	NTTのキャッチホン・ディスプレイを使用する／しないを設定します。	あり **なし**	機能 8 6	104ページ
	着信履歴消去	着信履歴の内容をすべて消去します。	—	機能 8 7	105ページ
その他	特別回線対応	ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。	**一般** ISDN PBX	機能 0 1	152ページ
	特別音質対応	相手の声が聞こえにくいときに使用している回線を特定し、設定します。	**通常** ISDN ADSL	機能 0 2	153ページ
	安心通信モード	通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に通信したいときに設定します。	する **しない**	機能 0 3	154ページ
	個人情報消去	お客さまの情報を消去します。	—	機能 0 6	155ページ
	機能設定初期化	お買い上げいただいたときの状態に戻します。	—	機能 0 7	156ページ

操作を途中で中止するときは、○（停止）を押します。

子機

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
電話帳登録	電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	**時報（117）・ 天気予報（177）・ 電話番号案内（104）** （最大 100 件）	機能/確定	55 ページ
電話帳変更	電話帳に登録した内容を変更·消去します。	ー	機能/確定	56 ページ
電話帳転送	電話帳に登録した電話番号を、親機へ転送します。	ー	機能/確定	57 ページ
着信音選択	着信音を選択します。 ※メロディ 4 ～ 7 は親機から読み込んだメロディです。	**ベル** メロディ 1 メロディ 2 メロディ 3 メロディ 4 ～ 7	機能/確定	112 ページ
着信鳴り分け	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信音を設定します。	ー	機能/確定	99 ページ
メロディ読み込み	親機に登録されているメロディを子機に読み込みます。	ー	機能/確定	114 ページ
発信履歴クリア	発信履歴の内容をすべて消去します。	ー	機能/確定	47 ページ
着信履歴クリア	着信履歴の内容をすべて消去します。	ー	機能/確定	106 ページ
画面のコントラスト	ディスプレイのコントラストを設定します。	1 ～ 7（**4**）	機能/確定	124 ページ
ボタン確認音	ボタンを押したときの、音の鳴らす／鳴らさないを設定します。	**ON** OFF	機能/確定	111 ページ
時計設定	現在の曜日と時刻を登録します。	ー	機能/確定	31 ページ
アラーム設定	モーニングアラームの鳴りかたと時刻を設定します。	**OFF** アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3	機能/確定	116 ページ
電話帳全消去	電話帳に登録した内容をすべて消去します。	ー	機能/確定 機能/確定	56 ページ
子機ライト	子機のバックライトを点灯させたままの状態にします。	ー	機能/確定 2秒以上押す	124 ページ

操作を途中で中止するときは、(切)を押します。

主な仕様

親機

形式	送受信兼用卓上型G3機
圧縮方式	MH（モディファイドハフマン）
電送時間 *1	約9秒
通信速度	14400／12000／9600／7200／4800／2400 bps（自動フォールバック方式）
原稿サイズ幅	最大：210 mm、最小：148 mm
最大有効読取幅 *2	208 mm
最大有効記録幅	205 mm
記録紙サイズ	210 mm×297 mm（A4普通紙）
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
ハーフトーン	64階調（ディザ方式）
走査線密度	主走査：8ドット／mm 副走査:3.85本／mm(普通字)、7.7本／mm(細かい字／写真)、15.4本／mm(精細字／写真)
適用回線	一般電話回線
総録音可能時間 *3	約58分
メモリー記憶枚数 *3	約60枚
使用環境	温度：5～35℃、湿度：45～80%
電源	AC 100 V±10 V 50/60 Hz
消費電力 *4	待機時　:約1.5 W（オプション接続時を除く）　コピー時：約16 W ピーク時: 約170 W以下　ファクス送信時：約8 W　ファクス受信時：約16 W
外形寸法	約302（横幅）×192.3（奥行き）×134.5（高さ)mm（突起部を除く） 実設置寸法：約319.6(横幅)×230（奥行き *5)×380.2（高さ)mm
質量	約3.1 kg（リボンカートリッジ、受話器、受話器コード、記録紙トレイ、ダストカバー含む）

*1：A4サイズ700字程度の標準原稿（☞ 163ページ）を標準的画質（8ドット×3.85本／mm）で高速モード（14400 bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
*2：B4記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。
*3：録音可能時間やメモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。（例えば、受信したファクスがメモリーに記憶されているときは録音可能時間が短くなります。）
*4：コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会No.4チャートを使用。（常温、常湿にて測定）
*5：記録紙トレイに記録紙が入っていない状態です。
※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

子機

	コードレス電話機	**充電器**
使用可能距離	見通し距離約100 m	–
充電完了時間	約15時間	–
使用可能時間（充電完了後）	待機状態：約110時間、連続通話：約6時間	–
使用環境	温度：5～35℃、湿度：45～80%	
電源	DC 2.4 V（子機用バッテリー使用）	AC 100 ±10 V 50/60 Hz
消費電力	–	約2 W（充電時）
外形寸法	42.8（横幅）×37.1（奥行き）×182.1（高さ）mm	66.2（横幅）×89.4（奥行き）×74.8（高さ）mm
質量	約150 g（子機用バッテリー含む）	約75 g

消耗品などのご注文について

・ 消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
・ ファクスにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
・ 配送料は、お買い上げ金額の合計が5, 000円以上の場合は全国無料です。
　5, 000円未満の場合は500円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
・ 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
・ 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞　・・・**ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**

※ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・**ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**

※ 代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）

※ 振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞　・・・**カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**

ご注文先

ブラザー販売（株）	情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット：	http://www.brother.co.jp/direct/
ファクス：	052 － 825 － 0311
電話：	0120 － 118 － 825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 17 時）
振込先：	口座名義：ブラザー販売株式会社 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 郵便：振り込み番号　00860 － 1 － 27600

ご注文シート

※本機から印刷することができます。(「ご注文シート」☞ 123ページ)

ご注文シート

ブラザー販売(株)
情報機器事業部 ダイレクトクラブ 行
FAX : 052-825-0311(TEL:0120-118-825)

(お客様ご住所)
〒

(お名前)　(TEL)　(FAX)

(お支払い方法)　1) 銀行前振込　2) 郵便前振込　3) 代引き　4) カード

(カード種類)　1) VISA　2) JCB　3) UC　4) DINERS　5) CF　6) Master　7) JACCS

(カード名義人名)　(有効期限)　年　月

(カードNO.)

品名	単価 (税込) (✱2)	ご注文数	金額 (税込)
リボンカートリッジ　×1個 (カセット+リボン) PC-551　(✱1)	1,365円		
増設子機 (カナ表示) BCL-900	16,800円		
子機用バッテリー BCL-BT	1,680円		
留守番センサー SS-30	6,279円		
		小計	
		配送料 (✱3) (どちらかに○を付けて下さい) ●小計が5,000円未満→　500円 ●小計が5,000円以上→　0円	
		合計 (小計+配送料)	

(✱1) : リボンの長さはA4サイズ約128枚分です。
(✱2) : 消費税改定に伴い、単価が変わる可能性があります。
　　消費税 : 2005年1月現在
(✱3) : 配送料は変わる可能性があります。
✱お振込みの場合は、ご入金確認後の商品発送となります。

振込先 : 口座名義 : ブラザー販売株式会社
　銀行 : 三井住友銀行 上前津 (カミマエヅ) 支店
　　　普通6428357
　郵便 : 振込番号 00860-1-27600

ブラザーファクスをご愛用頂きありがとうございます。
インターネットのブラザーダイレクトクラブのサイト
からも消耗品をご注文いただけます。
ぜひ一度下記URLをご覧ください。

(URL) http://www.brother.co.jp/direct/

リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合（「リモコンアクセス」☞ 88ページ）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、*、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
   リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、*、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
   リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、#、*、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。
   そのあと、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
   リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

暗 証 番 号

あなたの暗証番号を
記入してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

準備する 第1章
ご使用の前に 第2章
電話 第3章
ファクス 第4章
留守番機能 第5章
コピー 第6章
ナンバー・ディスプレイ 第7章
活用する 第8章
こんなときには 第9章
付録 第10章

リモコンアクセスカード

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容		ボタン操作	操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91	みるだけ受信の設定	する	956
戻し	再生中に	1		しない	957
送り		2	ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
中止		9			
音声メッセージを消去（※1）		93	受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
留守録転送,ファクス転送の設定変更	しない	951		音声メッセージ	972
	ファクス転送	952（※3）	受信モードの変更	留守	981
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##		在宅	982
			終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容		ボタン操作	操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91	みるだけ受信の設定	する	956
戻し	再生中に	1		しない	957
送り		2	ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
中止		9			
音声メッセージを消去（※1）		93	受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
留守録転送,ファクス転送の設定変更	しない	951		音声メッセージ	972
	ファクス転送	952（※3）	受信モードの変更	留守	981
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##		在宅	982
			終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容		ボタン操作	操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91	みるだけ受信の設定	する	956
戻し	再生中に	1		しない	957
送り		2	ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
中止		9			
音声メッセージを消去（※1）		93	受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
留守録転送,ファクス転送の設定変更	しない	951		音声メッセージ	972
	ファクス転送	952（※3）	受信モードの変更	留守	981
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##		在宅	982
			終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：転送番号が登録されていないときは、転送機能を「ON」にすることはできません。

索　引

索　引

お客様相談窓口（コールセンター）：0120-161-170

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口（コールセンター）にお気軽にお問い合わせください。

受付時間　月曜日～金曜日：午前9：00～午後8：00
　　　　　土曜日：午前9：00～午後5：00
営 業 日　月曜日～土曜日
（日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。）

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！
ファクス番号：052-825-0311
（ご注文シートは親機から印刷できます。）
本書123ページ、170ページ参照

● ブラザー純正品のリボンカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能･品質保証されます。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

- **お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

LF8463047①
Printed in Malaysia